第４　県内の特定事故の発生状況

１　死亡事故

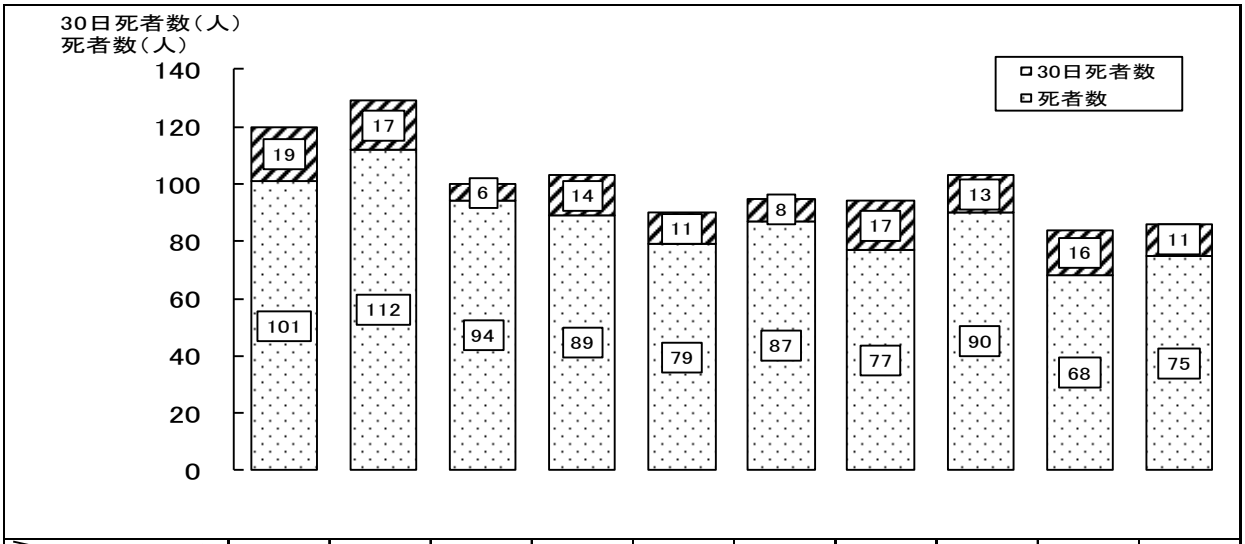
(1)　発生件数、死者数

平成 30 年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも増加した。

発生件数　　74件（前年比　　＋10件　　15.6%増）

死者数　　75人（前年比　　＋７人　　10.3%増）

過去 10 年間の推移をみると、死者は凹凸はあるものの減少傾向にあり、平成 30 年では平成 21 年の７割程度に減少している。　　（単位：件・人）



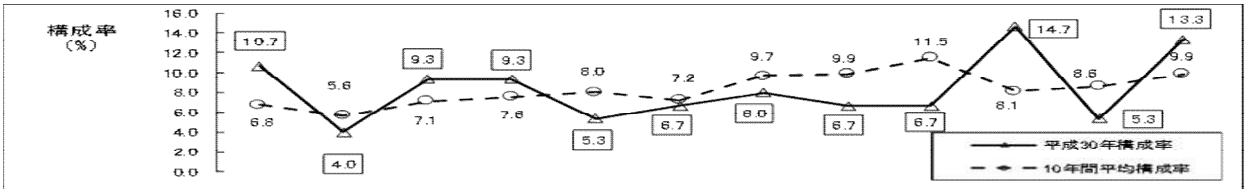
区分＼年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数	95	108	93	81	76	82	77	88	64	74
件数 指数	100	114	98	85	80	86	81	93	67	78
死者数	101	112	94	89	79	87	77	90	68	75
死者数 指数	100	111	93	88	78	86	76	89	67	74
人口10万人あたりの死者数	4.9	5.5	4.6	4.5	4.1	4.5	4.0	4.7	3.6	4.0
人口10万人あたりの死者数 指数	100	112	94	92	84	92	82	96	73	82
30日死者	19	17	6	14	11	8	17	13	16	11

(2)　死亡事故の特徴

ア　月　　別

死者は、10 月が最多の 11 人、次いで 12 月の 10 人、少なかったのは２月の３人となっている。

月間死者数の構成率が過去 10 年間の各月平均を下回ったのは、２月、５月、６月、７月、８月、９月、11 月であった。　　（単位：人・%）



区分＼年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年死者数	8	3	7	7	4	5	6	5	5	11	4	10
構成率（%）	10.7	4.0	9.3	9.3	5.3	6.7	8.0	6.7	6.7	14.7	5.3	13.3
10年間平均死者数	5.9	4.9	6.2	6.6	7.0	6.3	8.5	8.6	10.0	7.1	7.5	8.6
構成率（%）	6.8	5.6	7.1	7.6	8.0	7.2	9.7	9.9	11.5	8.1	8.6	9.9

イ　時間別・曜日別

時間別では、14 時～15 時の８人が最も多くなっている。

曜日別では水曜日が最多の 16 人、金曜日が最少の６人となっている。

（単位：人）

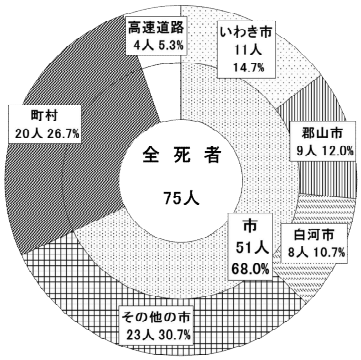
時間／曜日	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	合計
日	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	11
月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	9
火	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	7
水	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	5	1	1	0	1	1	0	1	0	0	16
木	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	2	0	3	0	2	0	1	0	1	15
金	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	6
土	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	1	0	1	1	0	0	0	11
合　計	0	2	3	3	1	1	4	3	1	6	4	2	2	1	8	6	6	5	4	5	2	2	1	3	75

ウ　市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市の11人で、次いで郡山市９人、白河市の８人の順に多い。

また、市部全体の死者数は51人で、全死者の68.0%を占めている。

市町村別



エ　道路別、道路線形別、形状別

(ｱ) 道路別

国道での死者が32人と多く、全死者の42.7%を占めている。次いで県道の20人（26.7%）となっている。

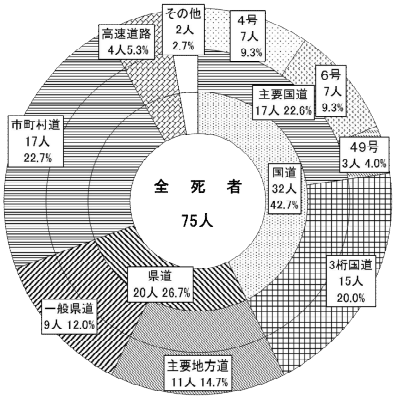
(ｲ) 道路線形別

直線道路での死者は54人で全死者の72.0%を占め、カーブでの死者は21人で、右カーブ６人、左カーブ15人となっている。

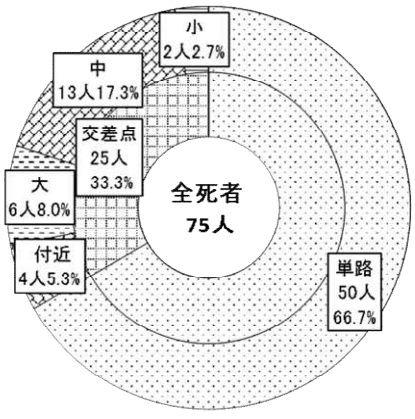
(ｳ) 道路形状別

単路での死者は50人で全死者の66.7%を占め、交差点での死者は25人で33.3%を占めている。

道路別

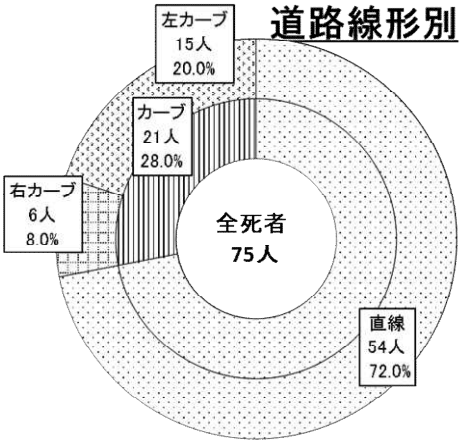


道路形状別



（注）
大交差点
　道路幅員13m以上
中交差点
　道路幅員
　　5.5m以上13m未満
小交差点
　道路幅員5.5m未満

道路線形別



オ　第１当事者別（74 件）

(ｱ) 車種別

普通乗用車の事故が 24 件で全死亡事故の 32.4%を占め最も多く、次いで軽乗用車 19 件、軽貨物車 11 件の順となっている。

(ｲ) 年齢別

高齢者による事故が 33 件で最も多く、次いで 50 歳代が 13 件、30 歳代・40 歳代が８件と多くなっている。

（単位：件）

当事者 ＼ 年齢		乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16 歳 未 満													1					1
16 ～ 19 歳													1					1
20歳代	20～24歳				2								1					3
	25～29歳				2													2
30歳代	30～34歳				1	2					1		1					5
	35～39歳				2		1											3
40歳代	40～44歳				1	1												2
	45～49歳				1	3	1		1									6
50歳代	50～54歳				3	3	1											7
	55～59歳				1	2			1		1					1		6
60歳代	60～64歳				1	2	1			1			1					6
	65～69歳				4	4		1			4							13
70歳代	70～74歳				4	1				1	4				2			12
	75～79歳				1								1					2
80 歳 以 上					1	1					1	1		2				6
その他（当事者不明）																		0
合 計		0	0	0	24	19	4	1	2	2	11	1	5	2	2	1	0	74
内訳	子ども 幼児																	0
	子ども 小学生																	0
	子ども 中学生																	0
	高校生																	0
	高齢者				10	6		1		1	9	1	1	2	2			33
	男性				20	8	4	1	2	2	11	1	5	1	1	1		57
	女性				4	11								1	1			17
	県外居住者				4	1	2		1		2							10

(ｳ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口１万人に対する死亡事故率は、全体の 0.5 に対して高齢者が 0.9 と高い。

（単位：件・人）

区分 ＼ 年齢		男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10 歳 代	8,190	1	1.2	6,722		0.0	14,912	1	0.7
青年	20 ～ 24 歳	39,561	2	0.5	35,122	1	0.3	74,683	3	0.4
計		47,751	3	0.6	41,844	1	0.2	89,595	4	0.4
25 ～ 29 歳		42,704	2	0.5	37,406		0.0	80,110	2	0.2
30 歳 代		103,578	7	0.7	94,191	1	0.1	197,769	8	0.4
40 歳 代		124,102	4	0.3	114,799	4	0.3	238,901	8	0.3
50 歳 代		119,443	7	0.6	113,250	5	0.4	232,693	12	0.5
60～64歳		66,756	5	0.7	60,447	1	0.2	127,203	6	0.5
高齢者		202,666	27	1.3	129,225	4	0.3	331,891	31	0.9
合 計		707,000	55	0.8	591,162	16	0.3	1,298,162	71	0.5

（注１）自転車・歩行者の第１当事者は含まない　　（注２）免許人口は平成 30 年 12 月末現在

(ｴ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第１当事者の死亡事故については、自転車が２件、歩行者が１件発生した。

運転免許を要する車両による死亡事故 71 件中、10 年以上経過した者による事故が 63 件で 88.7%を占めている。

（単位：件）

車種 ＼ 経過年数		乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
有資格	1年未満													2			2
	1～2年																0
	2～3年				1						1						2
	3～4年				1	1											2
	4～5年					1											1
	10年未満					1											1
	10年以上				22	16	4	1	2	2	10	1	3			2	63
免許外・無免許																	0
合計		0	0	0	24	19	4	1	2	2	11	1	3	2	0	2	71

(ｵ) 違反別

悪質違反による事故が 27 件となっており、全死亡事故件数の 36.5%を占めている。

違反別でみると前方不注意が 18 件と最も多い。

（単位：件）

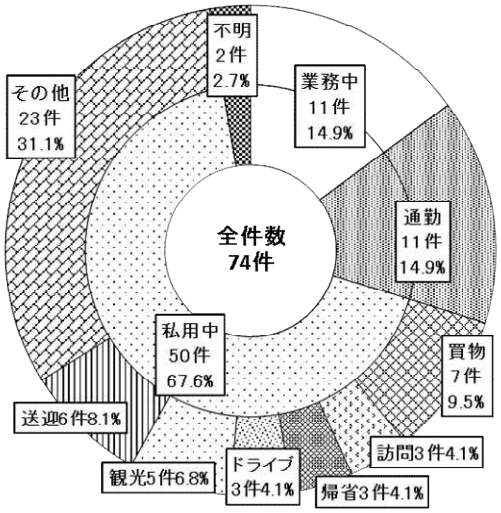
違反別			件数
車両の違反	悪質違反	信号無視	1
		最高速度	6
		通区・追越	8
		歩行者妨害	10
		一時不停止	2
		酒酔い運転	
		計	27
	横断等禁止		1
	車間距離不保持		
	進路変更禁止		
	右折違反		
	左折違反		
	優先通行妨害等		6
	交差点安全進行義務		3

違反別			件数
車両の違反	徐行違反		
	過労等運転		1
	安全運転義務	ハンドル操作不適	9
		ブレーキ操作不適	1
		前方不注意	18
		動静不注視	
		安全不確認	3
		安全速度	2
		予測不適	
		その他	
	違反計		33
	ドア開放等		
	その他		2
	計		73

違反別			件数
歩行者の違反	信号無視		
	横断	横断歩道外横断	1
		斜め横断	
		走行車両直前直	
		横断禁止場所	
	計		1
	飛び出し		
	その他		
	計		1
不明			
合計			74
内数（飲酒運転）			6

(ｶ) 通行目的別

私用中に発生した事故が50件と全事故の67.6%を占めており、その中でも買物の７件が最も多く、次いで送迎の６件となっている。



カ　事故類型別死者数

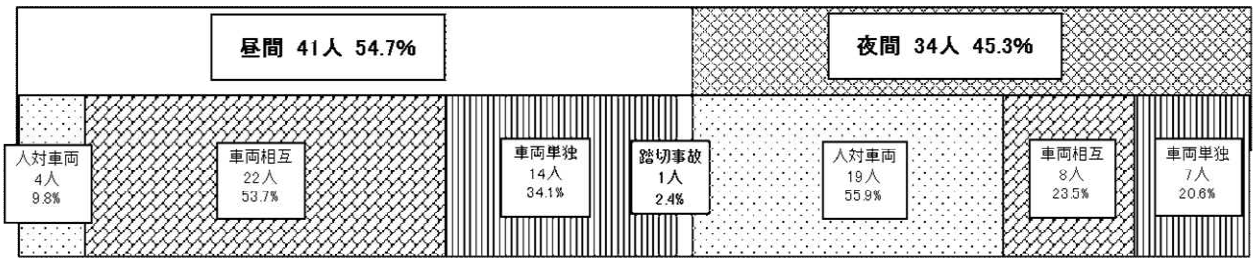
人対車両　　23 人（全死者の　　30.7 パーセント）

車両相互　　30 人（全死者の　　40.0 パーセント）

車両単独　　21 人（全死者の　　28.0 パーセント）

踏切事故　　１人（全死者の　　1.3 パーセント）

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互、車両単独の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。

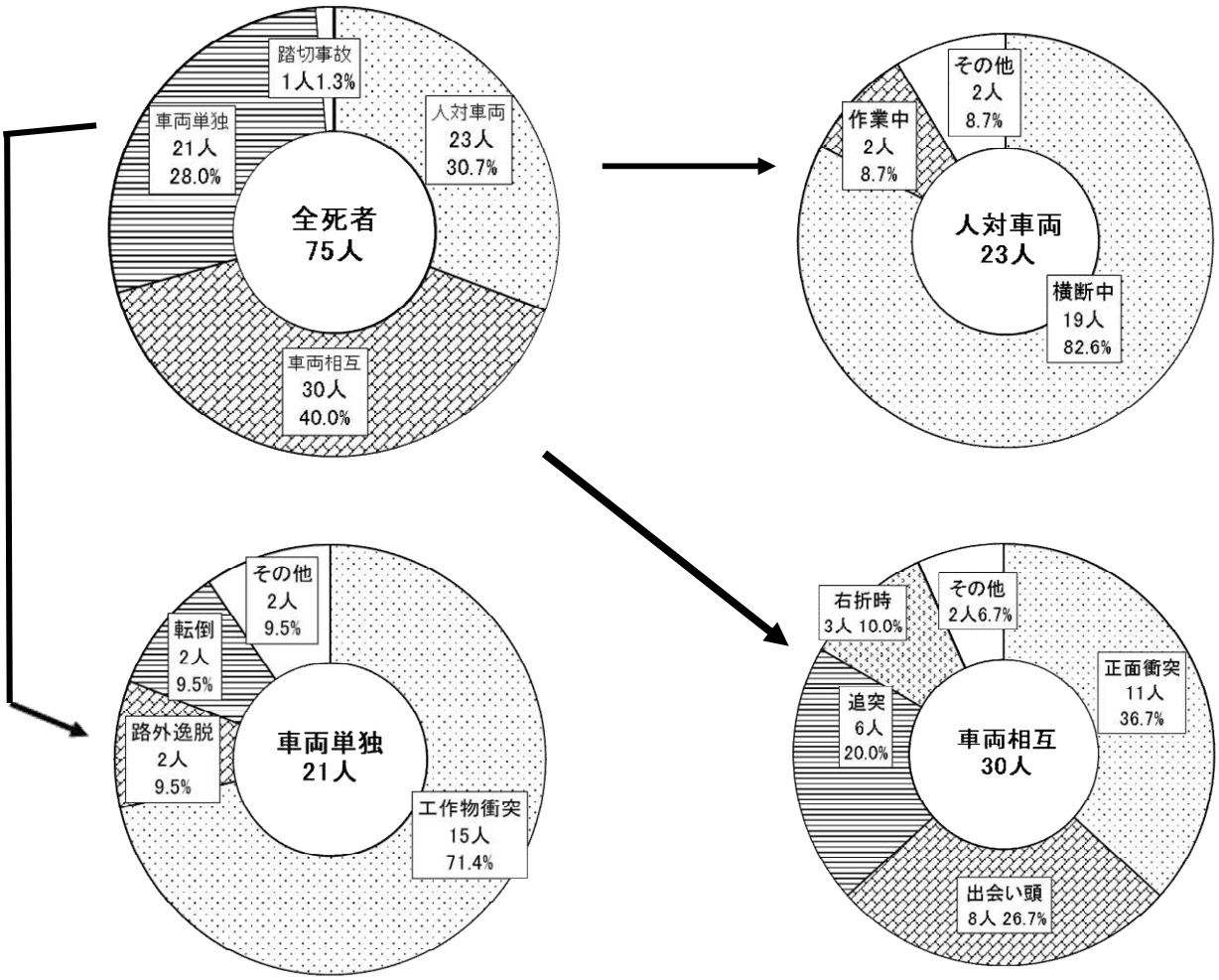


各、事故類型でみると

人対車両…横断中が 19 人と最も多く 82.6 パーセントを占めている。

車両相互…正面衝突が 11 人と最も多く 36.7 パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が 15 人と最も多く 71.4 パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転の死者は 31 人で全死者の 41.3 パーセントを占め一番多い。次いで歩行中の 24 人（32.0%）が続いている。

（単位：人・%）

区分＼状態	自動車 運転中 1当	自動車 運転中 2当	自動車 同乗	自動二輪 運転中 1当	自動二輪 運転中 2当	自動二輪 同乗	原付 乗車中 1当	原付 乗車中 2当	自転車 乗車中 1当	自転車 乗車中 2当	歩行中 1当	歩行中 2当	その他	合計
死者	27	4	6	5	1		2	1	2	3	1	23		75
構成率(%)	36.0	5.3	8.0	6.7	3.0	0.0	2.7	1.3	2.7	4.0	1.3	30.7	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は 46 人(全死者の 61.3%)で、うち歩行者の死者は 17 人と多く高齢死者の 37.0 パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は 24 人中 17 人（70.8%）と構成率が高くなっている。

（単位：人）

年齢＼状態		自動車 運転中 乗用車	自動車 運転中 貨物車	自動車 運転中 特殊車	自動車 同乗	自動二輪 運転	自動二輪 同乗	原乗車付中	自転車乗車中	歩行中	その他	合計
16歳未満										1		1
16～19歳					1	1						2
20歳代	20～24					1				1		2
	25～29	1			1					1		3
30歳代	30～34	2				1						3
	35～39	1										1
40歳代	40～44	1										1
	45～49	2	1									3
50歳代	50～54	1				1						2
	55～59	2	2							2		6
60歳代	60～64	2				1				2		5
	65～69	3	4							3		10
70歳代	70～74	2	2		1				2	4		11
	75～79	1				1		1	1	4		8
80歳以上		2	1	1	3			2	2	6		17
合計		20	10	1	6	6	0	3	5	24	0	75
内数 子ども	幼児									1		1
	小学生											0
	中学生											0
	高校生				1							1
	高齢者	8	7	1	4	1		3	5	17		46
	男性	15	10	1	1	6		2	3	9		47
	女性	5			5			1	2	15		28

ウ 職業別

無職が 30 人と最も多く全死者の 40.0 パーセントを占め、次いで建設業８人、農・林・漁業７人の順となっている。

（単位：人）

職業＼状態	自動車 運転中 乗用車	自動車 運転中 貨物車	自動車 運転中 特殊車	自動車 同乗	自動二輪 運転	自動二輪 同乗	原乗車付中	自転車乗車中	歩行中	その他	合計
職業運転者		2							1		3
公務員									1		1
農・林・漁業		3	1				3				7
鉱業											0
建設業	4				2				2		8
製造業	1				2						3
卸・小売業	2	1									3
運輸・郵便業		2			1						3
金融・保険業											0
電気･ガス･水道業					1						1
サービス業	1							1	3		5
子供									1		1
高校生				1							1
学生											0
主婦	1			2					2		5
無職	9	2		3				4	12		30
その他	2								2		4
合計	20	10	1	6	6	0	3	5	24	0	75

エ　状態別の違反

(ｱ)　歩行者

歩行者の死者24人のうち、14人(歩行者死者の58.3%)には何らかの違反があり、横断中の違反が８人と多く、違反のある歩行者死者の57.1パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等／区分	信号無視	通行区分	横断 横断歩道外	横断 斜め横断	横断 駐停車車両直前直後	横断 走行車両直前直後	横断 横断禁止場所	計	幼児のひとり歩き	はいかいめいてい	路上作業	飛び出し	その他	違反なし	合計
１　当			1					1							1
2当以下		1	5			2		7	1	1	2		1	10	23

(ｲ)　自転車

自転車乗用中の死者５人のうち４人に何らかの違反がありハンドル操作不適が２人と最も多い。

(単位：人)

違反／区分	信号無視	右側通行	横断等禁止	右折違反等	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	灯火違反	酒酔い運転	徐行場所違反	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	合計
１　当											2					2
2当以下					1								1		1	3

(ｳ)　原付

原付乗車中の死者３人のうち２人に優先通行妨害の違反が認められた。

(単位：人)

違反／区分	信号無視	最高速度	通行区分	横断等禁止	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	徐行	酒酔い運転	ハンドル操作不適	ブレーキ操作不適	前方不注意	その他	違反なし	合計
１　当							2									2
2当以下															1	1

(ｴ)　自動二輪

自動二輪車乗車中の死者６人のうち５人に何らかの違反があり、ハンドル操作不適が２人と多い。

(単位：人)

違反／区分	信号無視	最高速度	通行区分	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	酒酔い運転	徐行	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
１　当		1	1							2		1				5
2当以下															1	1
同　乗																0

(ｵ)　自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者 31 人、同乗中死者６人の合計 37 人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が 12 人で最も多く、運転中死者の 38.7 パーセントを占め、車両単独事故においても安全運転義務違反が７人と最も多い。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者 12 人、同乗中死者２人の合計 14 人で、自動車乗車中の死者全体の 37.8 パーセントを占めている。

（単位：人）

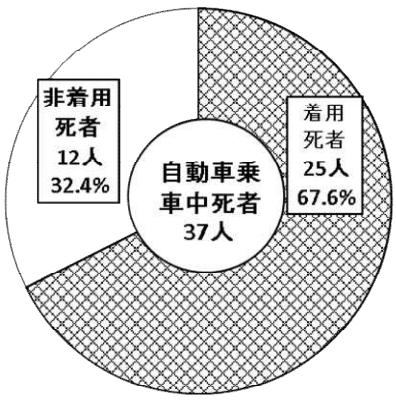
区分	違反	運転中																		同乗中	合計
		信号無視	最高速度	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安全運転義務 ハンドル・ブレーキ操作	安全運転義務 前方不注意	安全運転義務 動静不注視	安全運転義務 安全不確認	安全運転義務 安全速度	安全運転義務 その他	その他	違反なし	計		
当事者	１当	1	5	3	2		2		1		5	7					1		27		27
	２当							1										3	4		4
	3当以下																		0	6	6
事故類型 車両相互	正面衝突		1	3														2	6	2	8
	追突											5							5	1	6
	出会い頭	1			1		1												3		3
	追越・追抜																		0		0
	転回時								1										1		1
	右折時						1	1											2	1	3
	その他																	1	1		1
	計	1	1	3	1	0	2	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	3	18	4	22
事故類型 車両単独			4								5	2					1		12	2	14
事故類型 列車					1														1		1
合計		1	5	3	2	0	2	1	1	0	5	7	0	0	0	0	1	3	31	6	37

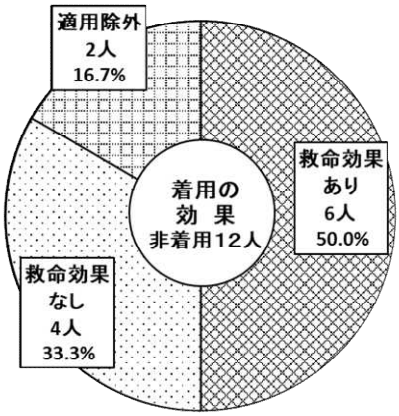
オ　シートベルト・チャイルドシート・ヘルメット着用状況

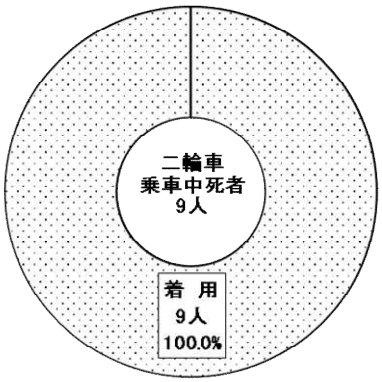
(ｱ)　シートベルト

自動車乗車中の死者37人中、シートベルトを着用していたのは25人で、着用率は67.6パーセントであった。

また、非着用死者12人中、６人（非着用で死亡した者の50.0%）はシートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。







(ｲ)　ヘルメット

二輪乗車中の死者は９人であったが、全員ヘルメットを着用していた。

2　歩行者の事故

(1)　概況

交通事故で死傷した歩行者は、

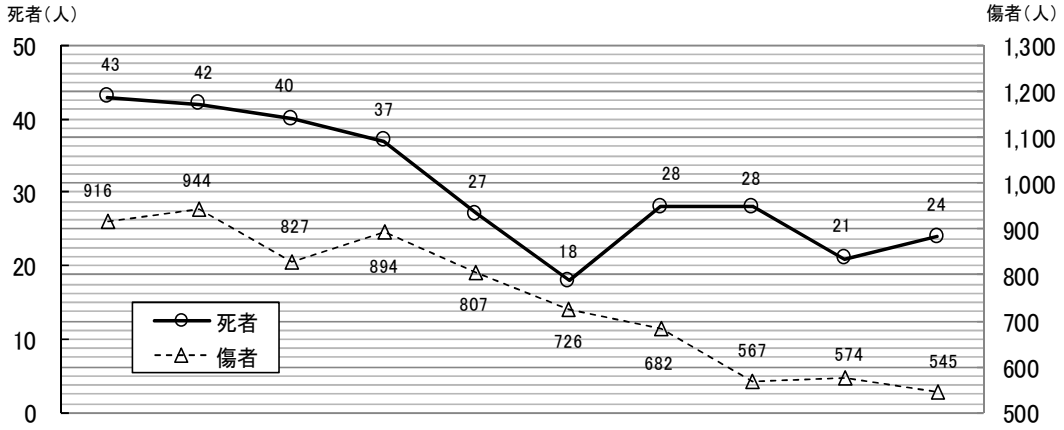
死者数　　24人　（前年比　＋ 3人　14.3%増）

傷者数　545人　（前年比　－29人　5.1%減）

で、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

全死者・全傷者に占める割合は、死者数は32.0パーセントで1.1ポイント増加し、傷者数も9.9パーセントで1.3ポイント増加した。

（単位：人・%）



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
死傷者	死　者	43	42	40	37	27	18	28	28	21	24
	指　数	100	98	93	86	63	42	70	65	49	56
	傷　者	916	944	827	894	807	726	682	567	574	545
	指　数	100	103	90	98	88	79	73	62	63	59
全死者・全傷者に占める割合	死　者	42.6	37.5	42.6	41.6	34.2	20.7	36.4	31.1	30.9	32.0
	傷　者	6.4	7.1	7.0	7.3	7.3	7.7	8.2	8.0	8.6	9.9

(2)　月別

死者は12月が７人で最も多く、下半期の死者は15人（62.5%）と過半数を占めている。

傷者数は12月が77人で最も多く、次いで４月の57人、10月の56人の順となっている。

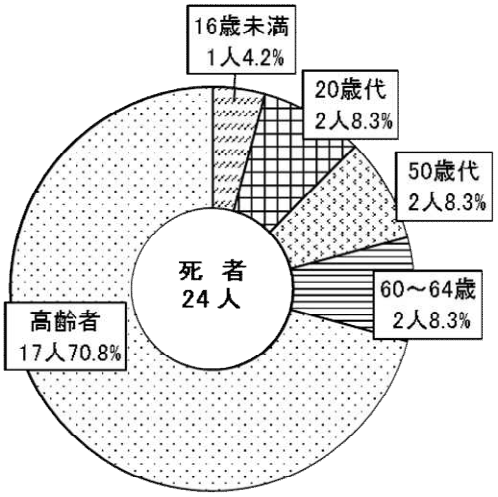
（単位：人・%）

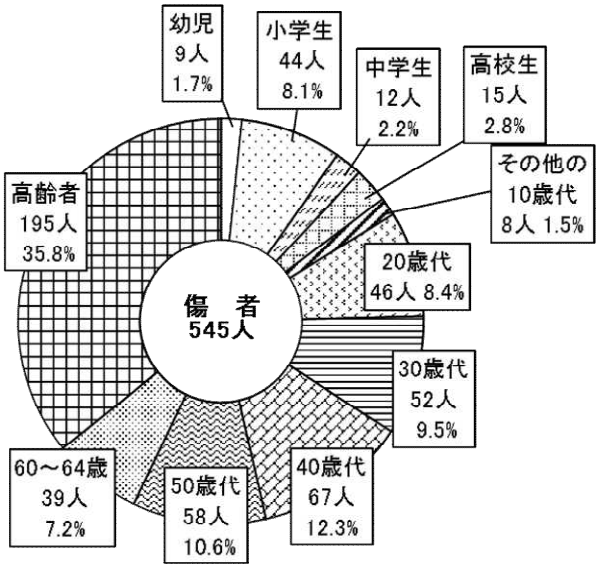
区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死　者	4		1	2	1	1	2	1	2	3		7	24
	傷　者	52	43	36	57	51	37	32	27	24	56	53	77	545
全死者・全傷者に占める割合	死　者	50.0	0.0	14.3	28.6	25.0	20.0	33.3	20.0	40.0	27.3	0.0	70.0	32.0
	傷　者	10.1	9.3	8.7	11.1	10.3	10.3	7.9	6.1	6.3	10.5	12.6	14.2	9.9

(3)　年齢別

ア　死者は高齢者が17人で最も多く、歩行者死者の70.8パーセントを占めている。

傷者も高齢者が195人と最も多く、歩行者傷者の35.8パーセントを占めている。





イ　歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は70.8パーセントであり、その他の高齢者死者の56.9パーセントの約1.2倍となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は35.8パーセントであり、その他の傷者の高齢者が占める割合14.4パーセントの約2.5倍となっている。

（単位：人・%）

区分 / 年齢			死者		傷者	
				構成率(%)		構成率(%)
歩行者の死傷者	16歳未満		1	4.2	67	12.3
	16～19歳			0.0	21	3.9
	20歳代		2	8.3	46	8.4
	30歳代			0.0	52	9.5
	40歳代			0.0	67	12.3
	50歳代		2	8.3	58	10.6
	60歳代	60～64	2	8.3	39	7.2
		65～69	3	12.5	35	6.4
	70歳代	70～74	4	16.7	46	8.4
		75～79	4	16.7	51	9.4
	80歳以上		6	25.0	63	11.6
	合計		24	100.0	545	100.0
	内訳	幼児	1	4.2	9	1.7
		小学生		0.0	44	8.1
		中学生		0.0	12	2.2
		高校生		0.0	15	2.8
		高齢者	17	70.8	195	35.8

区分 / 年齢			死者		傷者	
				構成率(%)		構成率(%)
その他の死傷者	16歳未満		0	0.0	220	4.5
	16～19歳		2	3.9	247	5.0
	20歳代		3	5.9	774	15.7
	30歳代		4	7.8	942	19.1
	40歳代		4	7.8	925	18.7
	50歳代		6	11.8	796	16.1
	60歳代	60～64	3	5.9	323	6.5
		65～69	7	13.7	286	5.8
	70歳代	70～74	7	13.7	195	3.9
		75～79	4	7.8	120	2.4
	80歳以上		11	21.6	109	2.2
	合計		51	100.0	4,937	100.0
	内訳	幼児	0	0.0	63	1.3
		小学生	0	0.0	77	1.6
		中学生	0	0.0	56	1.1
		高校生	1	2.0	166	3.4
		高齢者	29	56.9	710	14.4

(4)　時間別・昼夜別

ア　時間別

死者は18～20時の７人が歩行者死者の29.2パーセントを占め最も多く、次いで16～18時の４人となっている。

傷者については、16～18時と18～20時の107人がそれぞれ歩行者傷者の19.6パーセントを占め最も多く、次いで14～16時の59人となっている。　**（単位：人・%）**

区分＼時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死　者		3		2				3	4	7	2	3	24
構成率(%)	0.0	12.5	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5	16.7	29.2	8.3	12.5	100.0
傷　者	13	5	9	38	47	51	48	59	107	107	40	21	545
構成率(%)	2.4	0.9	1.7	7.0	8.6	9.4	8.8	10.8	19.6	19.6	7.3	3.9	100.0

イ　昼夜別

死者は夜間が20人と多く、歩行者死者の83.3パーセントを占めている。

傷者は昼間が291人と多く、歩行者傷者の53.4パーセントを占めている。　**（単位：人・%）**

区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死　者		4		4	4	15	1	20	24
構成率(%)	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	62.5	4.2	83.3	100.0
傷　者	7	265	19	291	74	173	7	254	545
構成率(%)	1.3	48.6	3.5	53.4	13.6	31.7	1.3	46.6	100.0

ウ　年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が14人と多く、歩行者死者の58.3パーセントを占めている。

傷者は昼間の高齢者、夜間の子ども・高齢者以外が多くなっている。　**（単位：人・%）**

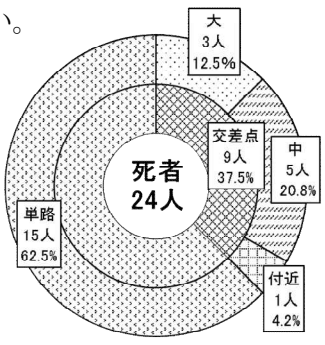
区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死　者		3	1	4	1	14	5	20	24
構成率(%)	0.0	12.5	4.2	16.7	4.2	58.3	20.8	83.3	100.0
傷　者	56	122	113	291	9	73	172	254	545
構成率(%)	10.3	22.4	20.7	53.4	1.7	13.4	31.6	46.6	100.0

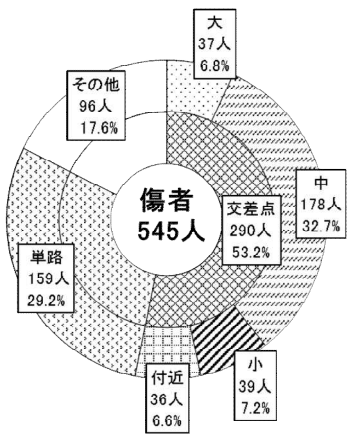
(5)　場所別

ア　道路形状別

歩行中の死者は単路が15人と多く、62.5パーセントを占めている。交差点での死者は９人で、「大交差点」は３人、「中交差点」は５人、「交差点付近」は１人であった。

傷者は交差点が290人と多く、53.2パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。





イ　道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は15人で、歩行者死者の62.5パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、23人と歩行者死者の95.8%を占め、傷者についても387人で歩行者傷者の71.0パーセントを占めている。　　(単位：人)

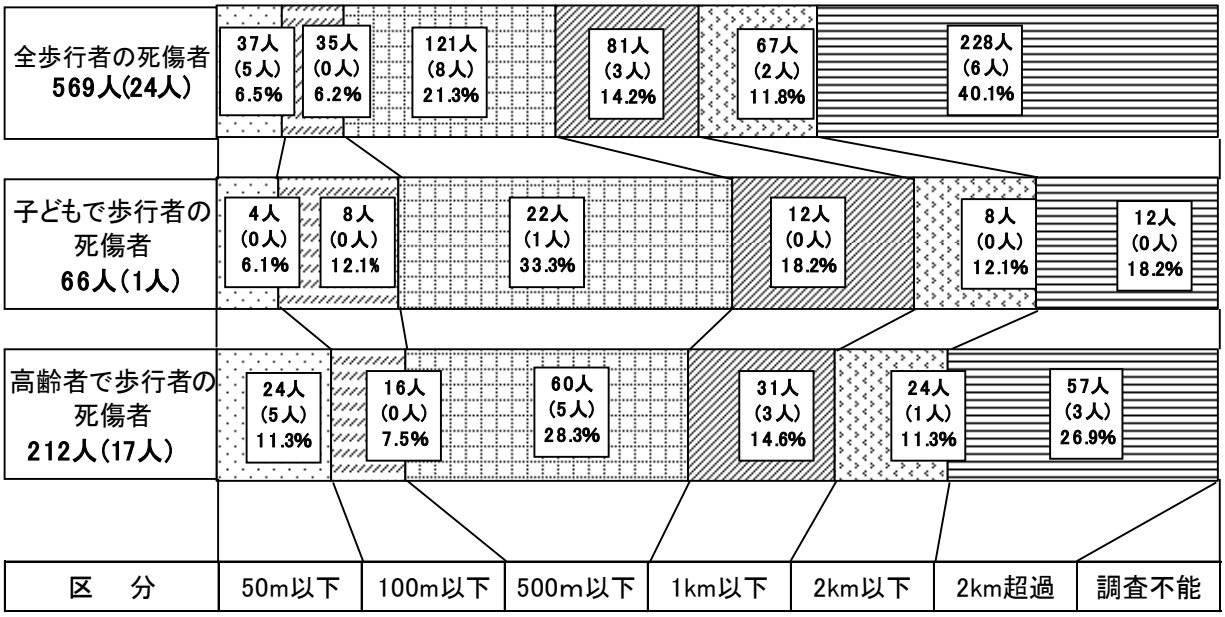
信号機、歩車道区別の有無 ＼ 道路形状			交差点 大	交差点 中	交差点 小	交差点 付近	計	単路	その他	合計
信号機	信号機あり	死者	3	1			4			4
		傷者	34	115	11	3	163	1		164
	信号機なし	死者		4		1	5	15		20
		傷者	3	63	28	33	127	158	96	381
合計		死者	3	5	0	1	9	15	0	24
		傷者	37	178	39	36	290	159	96	545

歩車道	区分あり	防護柵等	死者		1			1			1
			傷者	1	1			2	6		8
		縁石等	死者	3	4			7	12		19
			傷者	34	154	26	22	236	79	3	318
		路側帯	死者				1	1	2		3
			傷者	1	12	6	6	25	36		61
	区分なし		死者					0	1		1
			傷者	1	11	7	8	27	38	93	158
合計			死者	3	5	0	1	9	15	0	24
			傷者	37	178	39	36	290	159	96	545

ウ　自宅からの距離

自宅から２㎞超過の死傷者が228人で歩行者死傷者の40.1パーセントを占めている。

また、死者は６人で歩行者死者の25.0パーセントを占めている。

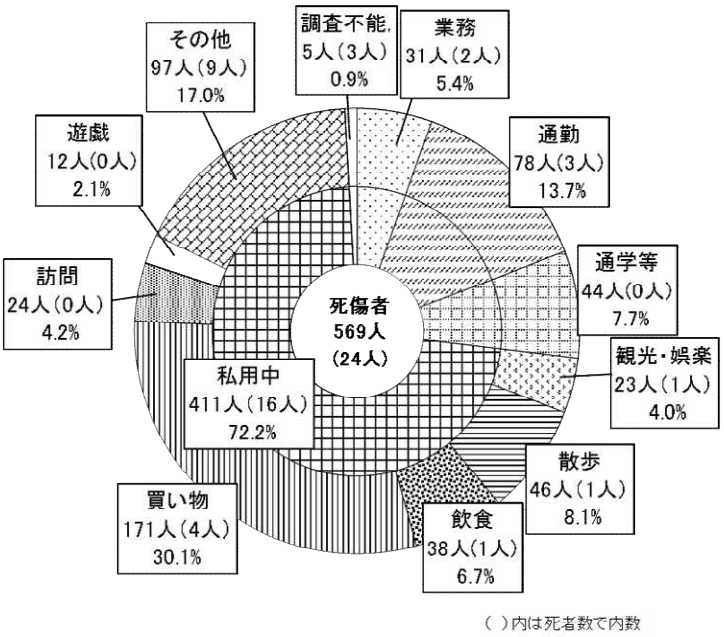


( )内は死者数で内数

(6)　通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が411人で72.2パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く171人で30.1パーセントとなっている。



(7)　状態別等

ア　状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は19人で歩行者死者の79.2パーセント、傷者は337人で歩行者傷者の61.8パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分＼状態	人対車両													人対車両以外	合計
	対面通行中	背面通行中	横断中 横断歩道	横断中 横断歩道付近	横断中 横断歩道橋付近	横断中 その他	横断中 計	路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	歩道通行中	路側帯通行中	その他		
死者	1	0	5	5	0	9	19	0	2	0	0	0	1	1	24
構成率(%)	4.2	0.0	20.8	20.8	0.0	37.5	79.2	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	100.0
傷者	20	48	182	23	1	131	337	1	6	16	14	2	96	5	545
構成率(%)	3.7	8.8	33.4	4.2	0.2	24.0	61.8	0.2	1.1	2.9	2.6	0.4	17.6	0.9	100.0

イ　横断場所・道路形状別

横断中の死者19人のうち、交差点での死者は８人で横断中死者の42.1パーセントを占め、交差点内の傷者241人のうち、174人（72.2%）が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は９人で横断中死者の47.4パーセントを占めている。

(単位：人・%)

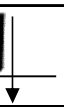
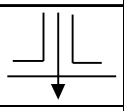
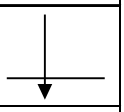
横断場所＼道路形状		交差点 交差点内 死者	交差点 交差点内 傷者	交差点 交差点付近 死者	交差点 交差点付近 傷者	計 死者	計 傷者	その他 死者	その他 傷者	合計 死者	合計 傷者	構成率(%) 死者	構成率(%) 傷者
横断中	横断歩道	5	174			5	174		8	5	182	26.3	54.0
	横断歩道付近	3	16		6	3	22	2	1	5	23	26.3	6.8
	横断歩道橋付近					0	0		1	0	1	0.0	0.3
	その他		51		17	0	68	9	63	9	131	47.4	38.9
合計		8	241	0	23	8	264	11	73	19	337	100	100

ウ　横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は17人(89.5%)、傷者は278人(85.0%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は22人で、うち９人(40.9%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

区分＼横断場所		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
子ども	死者							1
	傷者	1	7	1	3		2	30
高齢者	死者				1		1	13
	傷者		7		5	1	7	108
その他	死者							3
	傷者	2	2	2	3	1	5	140
合計	死者	0	0	0	1	0	1	17
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	89.5
	傷者	3	16	3	11	2	14	278
	構成率(%)	0.9	4.9	0.9	3.4	0.6	4.3	85.0

(8)　違反別

(単位：人・%)

ア　違反状況をみると、何らかの違反があった死者は13人で54.2%を占め、傷者は150人で27.5%となっている。

イ　死者の違反は、横断中が８人と多く、違反あり死者の61.5%を含め、次いで路上作業の２人（15.4%）が続いている。

横断中では、横断歩道外横断が６人で最も多く、横断中の違反あり死者の75.0パーセントを占めている。

傷者の違反も横断中が62人と多く、違反あり傷者の41.3パーセントを占めている。

違反＼死傷者		死者		傷者	
			構成率(%)		構成率(%)
信号無視			0.0	6	1.1
通行区分		1	4.2	28	5.1
横断中	横断歩道外	6	25.0	34	6.2
	斜め横断		0.0	1	0.2
	駐停車車両直前･直後		0.0	6	1.1
	走行車両直前･直後	2	8.3	19	3.5
	横断禁止場所		0.0	2	0.4
	計	8	33.3	62	11.4
酩酊・徘徊		1	4.2	4	0.7
路上遊戯			0.0	1	0.2
路上作業		2	8.3	3	0.6
飛び出し			0.0	26	4.8
その他の違反		1	4.2	20	3.7
違反なし		11	45.8	395	72.5
合計		24	100.0	545	100.0

3　自転車の事故

(1)　概況

交通事故で死傷した人は

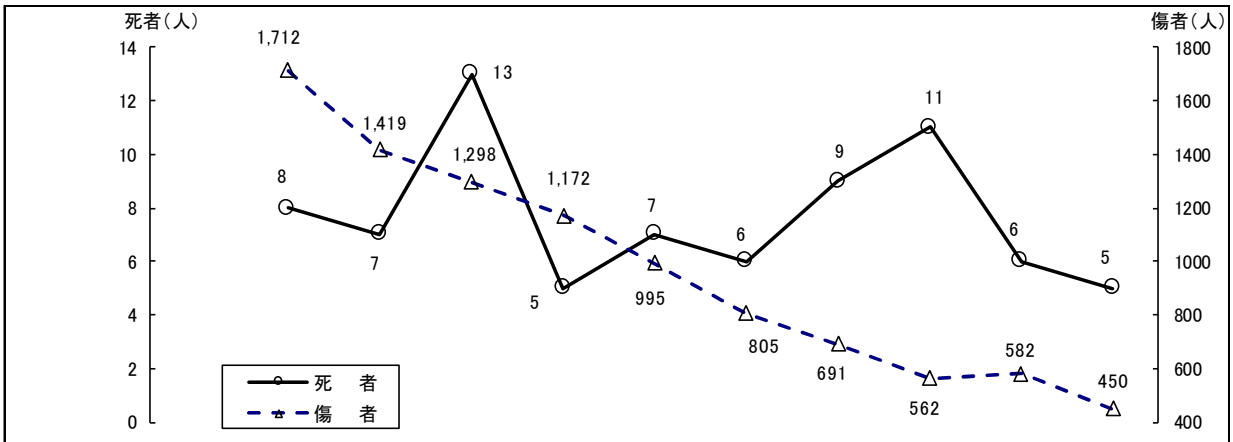
死者数　　５人　　(前年比　　－１人　　16.7%減)

傷者数　　450人　　(前年比　　－132人　　22.7%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

全死者数に占める割合は6.7パーセントで2.1ポイントの減少、全傷者数に占める割合は8.2パーセントで0.5ポイント減少した。

(単位：人・%)



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
死傷者	死　者	8	7	13	5	7	6	9	11	6	5
	指数	100	88	163	63	88	75	113	138	75	63
	傷　者	1,712	1,419	1,298	1,172	995	805	691	562	582	450
	指数	100	83	76	68	58	47	40	33	34	26
全死者・全傷者に占める割合	死者	7.9	6.3	13.8	5.6	8.9	6.9	11.7	12.2	8.8	6.7
	傷者	12.0	10.7	10.9	9.6	9.0	8.5	8.3	7.9	8.7	8.2

(2)　月別

死者数は８月に２人、３月、４月、６月に各１人となっている。傷者は、12月が52人と最も多く、次いで10月の48人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

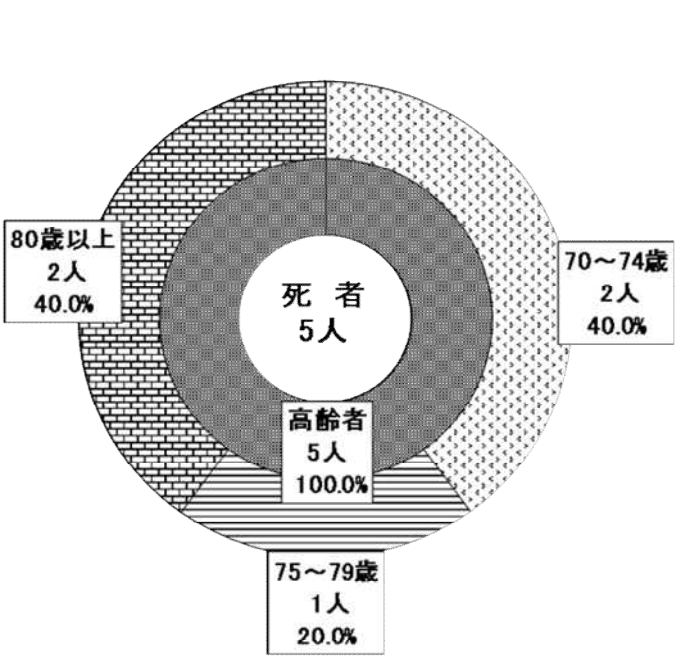
区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者			1	1		1		2					5
	傷者	23	27	27	41	46	35	44	41	28	48	38	52	450
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	傷者	4.5	5.9	6.5	8.0	9.3	9.7	10.8	9.3	7.3	9.0	9.0	9.6	8.2

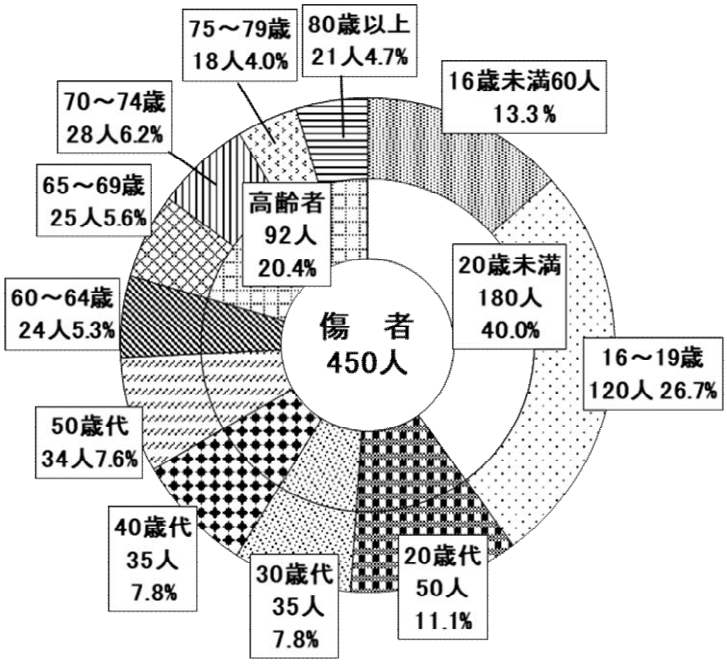
(3)　年齢別

ア　年齢別

自転車死者５人が全て高齢者であった。

傷者は20歳未満が180人と多く、自転車傷者の40.0パーセントを占めている。





イ　自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、20歳未満がその他の死傷者より、自転車の死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

区分 / 年齢			死者		傷者	
				構成率(%)		構成率(%)
自転車の死傷者	16歳未満			0.0	60	13.3
	16～19歳			0.0	120	26.7
	20歳代			0.0	50	11.1
	30歳代			0.0	35	7.8
	40歳代			0.0	35	7.8
	50歳代			0.0	34	7.6
	60歳代	60～64		0.0	24	5.3
		65～69		0.0	25	5.6
	70歳代	70～74	2	40.0	28	6.2
		75～79	1	20.0	18	4.0
	80歳以上		2	40.0	21	4.7
	合計		5	100.0	450	100.0
	内訳	幼児		0.0	3	0.7
		小学生		0.0	8	1.8
		中学生		0.0	29	6.4
		高校生		0.0	122	27.1
		高齢者	5	100.0	92	20.4

(単位：人・%)

区分 / 年齢			死者		傷者	
				構成率(%)		構成率(%)
その他の死傷者	16歳未満		1	1.4	227	4.5
	16～19歳		2	2.9	148	2.9
	20歳代		5	7.1	770	15.3
	30歳代		4	5.7	959	19.1
	40歳代		4	5.7	957	19.0
	50歳代		8	11.4	820	16.3
	60歳代	60～64	5	7.1	338	6.7
		65～69	10	14.3	296	5.9
	70歳代	70～74	9	12.9	213	4.2
		75～79	7	10.0	153	3.0
	80歳以上		15	21.4	151	3.0
	合計		70	100.0	5,032	100.0
	内訳	幼児	1	1.4	69	1.4
		小学生	0	0.0	113	2.2
		中学生	0	0.0	39	0.8
		高校生	1	1.4	59	1.2
		高齢者	41	58.6	813	16.2

(4)　時間別・昼夜別

ア　時間別

死者は６～12時の間に３人で、自転車死者の60.0パーセンを占め、次いで14～16時、20～22時に各１人となっている。

傷者は16～18時が79人で、自転車傷者の17.6パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の71人の順となっている。

（単位：人・%）

区分＼時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死　者					1	1	1		1			1		5
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0
傷　者			1	4	67	69	46	32	53	79	71	21	7	450
	構成率(%)	0.0	0.2	0.9	14.9	15.3	10.2	7.1	11.8	17.6	15.8	4.7	1.6	100.0

イ　昼夜別

昼間の死者は４人、傷者は334人と死者、傷者ともに昼間が多い。

（単位:人・%）

区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死　者		4		4		1		1	5
構成率(%)	0.0	80.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	20.0	100.0
傷　者	12	290	32	334	41	68	7	116	450
構成率(%)	2.7	64.4	7.1	74.2	9.1	15.1	1.6	25.8	100.0

ウ　年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が４人で80.0パーセント、夜間の高齢者が１人で20.0パーセントを占めている。

傷者は、昼間のその他が223人と多く、自転車傷者の49.6パーセントを占めている。

（単位:人・%）

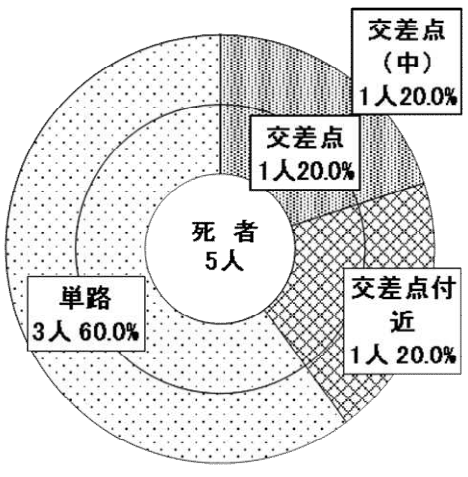
区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死　者		4		4		1		1	5
構成率(%)	0.0	80.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	20.0	100.0
傷　者	37	74	223	334	3	18	95	116	450
構成率(%)	8.2	16.4	49.6	74.2	0.7	4.0	21.1	25.8	100.0

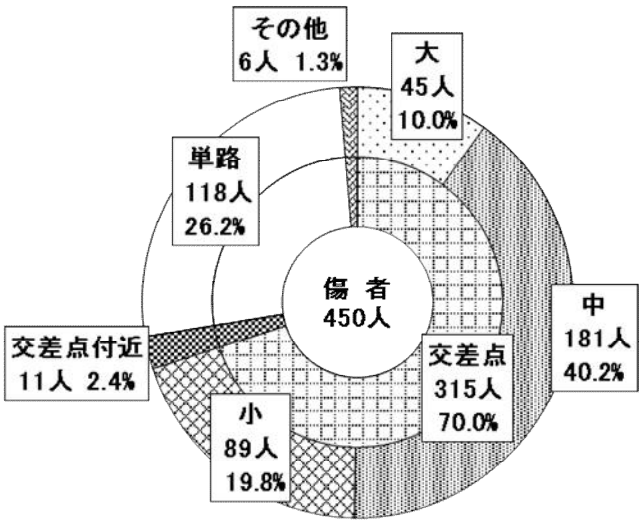
(5)　場所別

ア　道路形状別

死者は、単路が３人で自転車死者の60.0パーセントを占め、傷者は交差点が315人で自転車傷者の70.0パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、傷者は「中」交差点での発生が多い。





イ　道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は、信号機の無い交差点で２人、単路で３人となっている。　　(単位：人)

信号機の有無＼道路形状			交差点 大	交差点 中	交差点 小	交差点 付近	計	単路	その他	合計
信号機	信号機あり	死者					0			0
		傷者	39	70	4	1	114	1		115
	信号機なし	死者		1		1	2	3		5
		傷者	6	111	85	10	212	117	6	335
合計		死者	0	1	0	1	2	3	0	5
		傷者	45	181	89	11	326	118	6	450

(6)　道路形状別・事故類型別

死者は交差点で２人、その他で３人となっており、傷者は交差点で326人(72.4%)と交差点が多くなっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が３人(60.0%)と多く、傷者も出会い頭252人(56.0%)となっている。　　(単位：人・%)

事故類型＼道路形状		交差点内 死者	交差点内 傷者	交差点付近 死者	交差点付近 傷者	計 死者	計 傷者	その他 死者	その他 傷者	合計 死者	合計 傷者	構成率(%) 死者	構成率(%) 傷者
人対車両						0	0			0	0	0.0	0.0
車両相互	正面衝突				1	0	1		5	0	6	0.0	1.3
	追突				1	0	1		11	0	12	0.0	2.7
	出会い頭	1	183	1	4	2	187	1	65	3	252	60.0	56.0
	追越・追抜		1			0	1		11	0	12	0.0	2.7
	転回・後退時				3	0	3		4	0	7	0.0	1.6
	進路変更時					0	0		1	0	1	0.0	0.2
	すれ違い時				1	0	1		3	0	4	0.0	0.9
	左折時		62			0	62		15	0	77	0.0	17.1
	右折時		68			0	68		7	0	75	0.0	16.7
	その他		1		1	0	2		2	0	4	0.0	0.9
計		1	315	1	11	2	326	1	124	3	450	60.0	100.0
車両単独						0	0	2		2	0	40.0	0.0
列車						0	0			0	0	0.0	0.0
合計		1	315	1	11	2	326	3	124	5	450	100.0	100.0

(7)　自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は高齢者の500m以内が多く、傷者は子供の101ｍ～１ｋｍ、高齢者の501m～２ｋｍ、２ｋｍ超過、その他の２ｋｍ超過が多い。　　(単位：人・%)

区分＼距離		50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合計
子供		2	1	10	10	9	7		39
	構成率(%)	5.1	2.6	25.6	25.6	23.1	17.9	0.0	100.0
高齢者		① 4	4	② 20	25	① 19	① 25		⑤ 97
	構成率(%)	4.1	4.1	20.6	25.8	19.6	25.8	0.0	100.0
その他		2	6	27	59	74	149		317
	構成率(%)	0.6	1.9	8.5	18.6	23.3	47.0	0.0	100.0
合計		① 8	11	② 57	94	① 102	① 181		⑤ 453
	構成率(%)	1.8	2.4	12.6	20.8	22.5	40.0	0.0	100.0

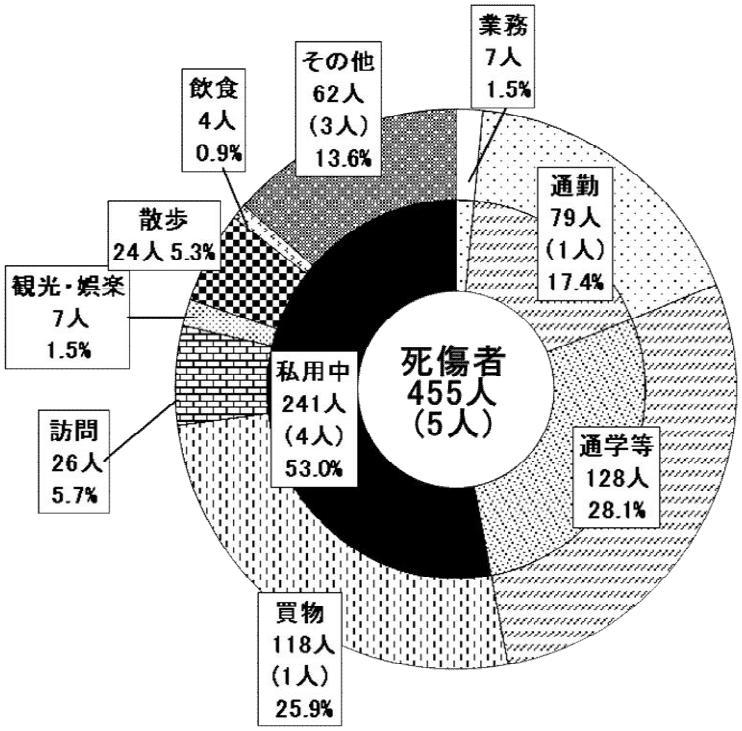
〇は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8)　通行目的別

通行目的は、私用中が241人で、53.0パーセントを占めている。

なかでも買物が118人で、25.9パーセントを占めている。

通学等が128人（28.1%）、通勤が79人（17.4%）と多い。



( )内は死者数で内数

(9)　違反別

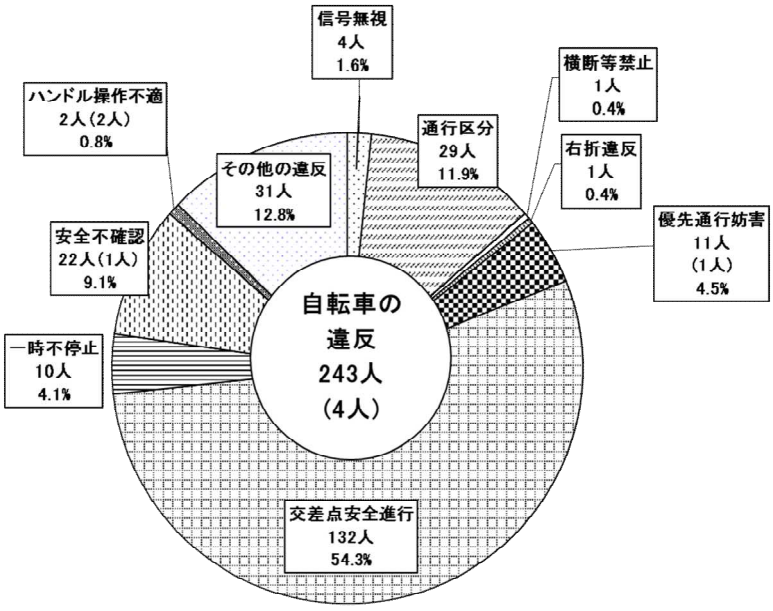
死者のうち何らかの違反があったのは４人（80.0%）、同じく傷者では239人（53.3%）となっている。

（単位：人・%）

区分 / 違反	死者	構成率	傷者	構成率
信号無視		0.0%	4	0.9%
通行区分		0.0%	29	6.5%
横断等禁止		0.0%	1	0.2%
右折違反		0.0%	1	0.2%
優先通行妨害	1	20.0%	10	2.2%
交差点安全進行		0.0%	132	29.5%
徐行違反		0.0%		0.0%
一時不停止		0.0%	10	2.2%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	20.0%	21	4.7%
ハンドル操作不適	2	40.0%		0.0%
その他の違反		0.0%	31	6.9%
違反なし	1	20.0%	209	46.7%
合　計	5	100.0%	448	100.0%

内数					
	夜間事故	1	20.0%	116	25.9%
	うち無灯火		0.0%	18	15.5%

※同乗者は含まない



( )内は死者数で内数

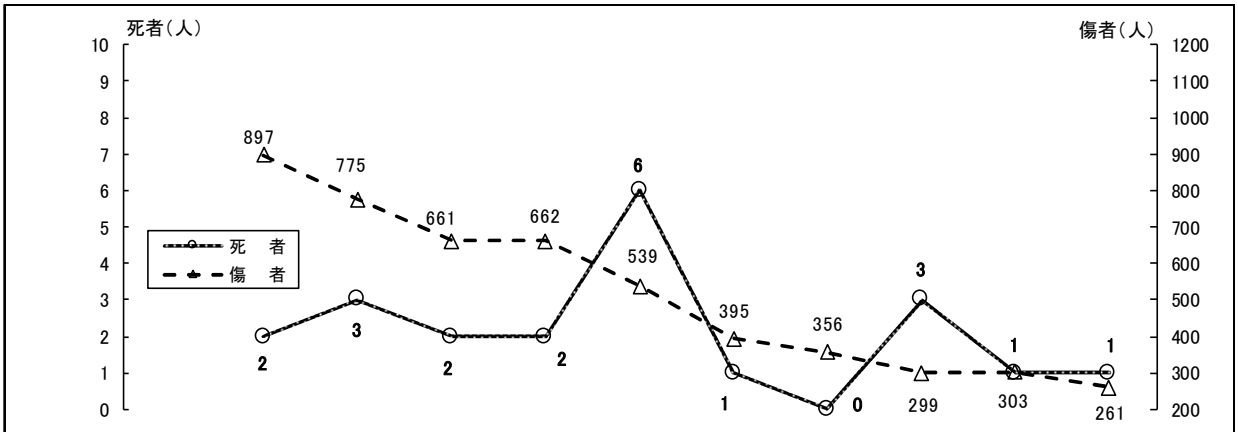
4　子供の事故

(1)　概況

交通事故により死傷した子供は、
　死者数　　１人（前年比　　±０人　増減なし）
　傷者数　　261人（前年比　　－42人　13.9%減）
で、死者数は増減なく、傷者数は減少した。

全死者に占める割合は1.3パーセントで、0.2ポイント減少し、全傷者に占める割合は4.8パーセントで0.3ポイント増加した。

(単位：人・%)



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
死傷者	死　者	2	3	2	2	6	1	0	3	1	1
	指数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	傷　者	897	775	661	662	539	395	356	299	303	261
	指数	100	86	74	74	60	44	40	33	34	29
全死者・全傷者に占める割合	死者	2.0	2.7	2.1	6.7	7.6	1.1	0.0	3.3	1.5	1.3
	傷者	6.7	6.3	5.8	5.6	4.9	4.2	4.3	4.2	4.5	4.8

(2)　月別

死者は10月に１人で、傷者数は４月の35人が最も多く、次いで８月の28人の順となっている。

(単位：人・%)

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者										1			1
	傷者	26	10	24	35	24	21	17	28	17	21	17	21	261
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	1.3
	傷者	5.1	2.2	5.8	6.8	4.9	5.8	4.2	6.3	4.5	3.9	4.0	3.9	4.8

(3)　状態別

死者は歩行者１名で、傷者は自動車同乗中の154人（59.0%）が最も多く、次いで歩行者の65人（24.9%）の順となっている。

（単位：人・%）

区分＼状態	自動車同乗中	自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者								1		1
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
傷者	154	1				39	1	65	1	261
構成率(%)	59.0	0.4	0.0	0.0	0.0	14.9	0.4	24.9	0.4	100.0

(4)　状態別・学齢別

（単位：人）

死傷者は、幼稚園児の43人が最も多く、次いで未就園児30人、中学３年生28人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学１年生の10人が最も多く、次いで小学２年生の９人、小学５年生の８人の順となっている。

自転車の傷者は、中学生３年生の13人が最も多く、次いで中学１年生、中学２年生の８人の順となっている。

学齢＼状態		歩行者		自転車		その他		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼児	未就園児	1	2		1		26	1	29
	幼稚園児		7		2		34	0	43
	計	1	9	0	3	0	60	1	72
小学生	1年		10				14	0	24
	2年		9		1		11	0	21
	3年		7		2		8	0	17
	4年		6				8	0	14
	5年		8		2		12	0	22
	6年		4		3		16	0	23
	計	0	44	0	8	0	69	0	121
中学生	1年		6		8		7	0	21
	2年		5		8		6	0	19
	3年		1		13		14	0	28
	計	0	12	0	29	0	27	0	68
合計		1	65	0	40	0	156	1	261

(5)　時間別・昼夜別

（単位：人・%）

傷者は昼間が多く80.8パーセントを占めている。

時間別で、傷者は、下校時間帯及び放課後となる16～18時の58人が最も多く、次いで14～16時の54人の順となっている。

区分＼昼夜	昼間		夜間		合計	
		薄暮		薄暮		薄暮
死者			1	1	1	1
構成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
傷者	211	17	50	18	261	35
構成率(%)	80.8	6.5	19.2	6.9	100.0	13.4

＊薄暮時は内数

（単位：人・%）

区分＼時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者									1				1
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷者		1	1	28	25	22	31	54	58	30	8	3	261
構成率(%)	0.0	0.4	0.4	10.7	9.6	8.4	11.9	20.7	22.2	11.5	3.1	1.1	100

(6)　学齢別・通行目的別

学齢でみると、幼児、小学生は、買物での被害が多く、中学生は登下校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が8.2パーセント、小学生は20.8パーセント、中学生は39.7パーセントとなっている。

（単位：人・%）

通行目的＼学齢		幼児	構成率(%)	小学生	構成率(%)	中学生	構成率(%)	合計	構成率(%)
通学等	登校	5	6.8	9	7.5	15	22.1	29	11.1
	学業中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下校	1	1.4	16	13.3	12	17.6	29	11.1
私用	観光・娯楽	4	5.5	6	5.0	2	2.9	12	4.6
	ドライブ	2	2.7	1	0.8	3	4.4	6	2.3
	散歩	1	1.4	4	3.3	3	4.4	8	3.1
	飲食	4	5.5	5	4.2		0.0	9	3.4
	買物	20	27.4	22	18.3	14	20.6	56	21.5
	訪問	6	8.2	15	12.5	5	7.4	26	10.0
	帰省	4	5.5	3	2.5	1	1.5	8	3.1
	遊戯（路上）		0.0	8	6.7	2	2.9	10	3.8
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	① 26	35.6	31	25.8	11	16.2	① 68	26.1
調査不能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計		① 73	100.0	120	100.0	68	100.0	① 261	100.0

〇は死者で内数、通行目的が道路外の人等は除く

(7)　場所別等

ア　道路形状別等

子供の死傷者のうち58.4パーセントが、交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状でみると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生歩行者の交差点事故が26人と多い。

（単位：人・%）

形状＼区分		歩行者	自転車	その他	合計
交差点		① 37	28	88	① 153
	構成率(%)	24.2	18.3	57.5	
単路		21	11	63	95
	構成率(%)	22.1	11.6	66.3	
駐車場等		8	1	5	14
	構成率(%)	57.1	7.1	35.7	
合計		① 66	40	156	① 262
	構成率(%)	25.2	15.3	59.5	

〇は死者で内数

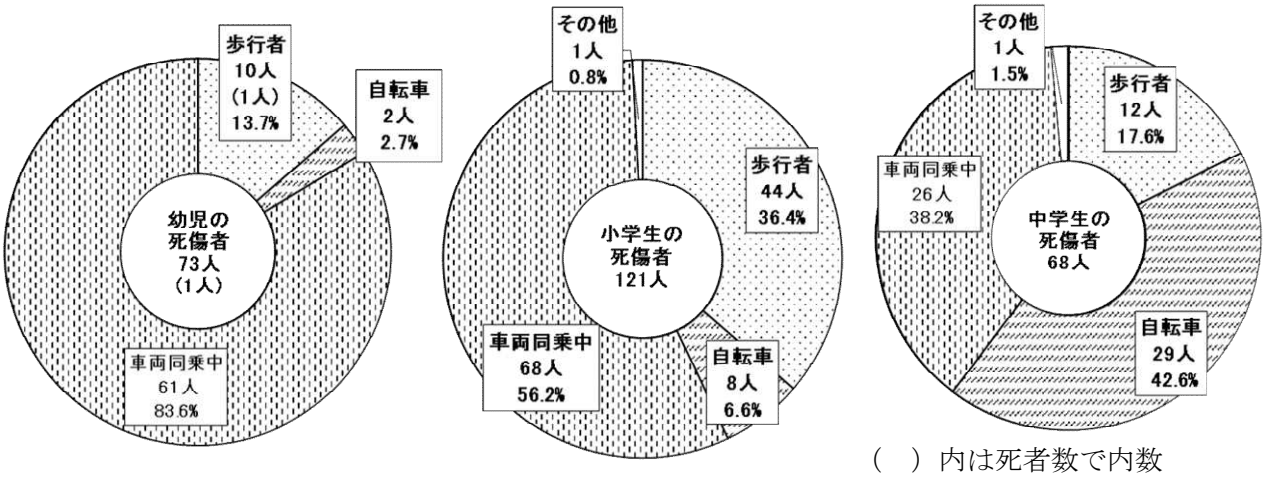
（単位：人）

学齢＼区分	交差点 歩行者	交差点 自転車	交差点 その他	交差点 計	単路 歩行者	単路 自転車	単路 その他	単路 計	駐車場等 歩行者	駐車場等 自転車	駐車場等 その他	駐車場等 計
幼児	① 4	3	35	① 42	2		23	25	4		2	6
小学生	26	6	38	70	15	2	28	45	3		3	6
中学生	7	19	15	41	4	9	12	25	1	1		2
合計	① 37	28	88	① 153	21	11	63	95	8	1	5	14

〇は死者で内数

イ　死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況をみると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く83.6パーセントを占め、小学生についても半数を超えるなど比率が高くなっている。



（　）内は死者数で内数

ウ　自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から500メートル以内での事故が51.5パーセントを占め、自転車乗車中についても自宅から500メートル 以内での事故が32.5パーセントを占めている。　　**(単位：人・%)**

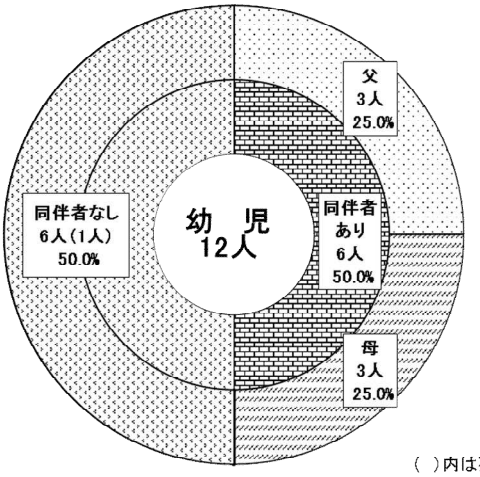
区分 / 距離	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計			
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)
50ｍ以下	1	10.0	2	4.5	1	8.3	4	6.1		0.0	1	12.5	1	3.4	2	5.0	6	5.7
100ｍ以下		0.0	8	18.2		0.0	8	12.1	1	33.3		0.0		0.0	1	2.5	9	8.5
500m以下	① 3	30.0	15	34.1	4	33.3	① 22	33.3	1	33.3	2	25.0	7	24.1	10	25.0	① 32	30.2
1ｋｍ以下	1	10.0	9	20.5	2	16.7	12	18.2		0.0	3	37.5	7	24.1	10	25.0	22	20.8
2ｋｍ以下	1	10.0	4	9.1	3	25.0	8	12.1		0.0	1	12.5	8	27.6	9	22.5	17	16.0
2ｋｍ超過	4	40.0	6	13.6	2	16.7	12	18.2		0.0	1	12.5	6	20.7	7	17.5	19	17.9
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	1	33.3		0.0		0.0	1	2.5	1	0.9
合計	① 10	100.0	44	100.0	12	100.0	① 66	100.0	3	100.0	8	100.0	29	100.0	40	100.0	①106	100.0

○は死者で内数

エ　幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者12人のうち、「同伴者あり」と「同伴者なし」は半数ずつとなっている。

同伴者は父親と母親が各３人となっている。



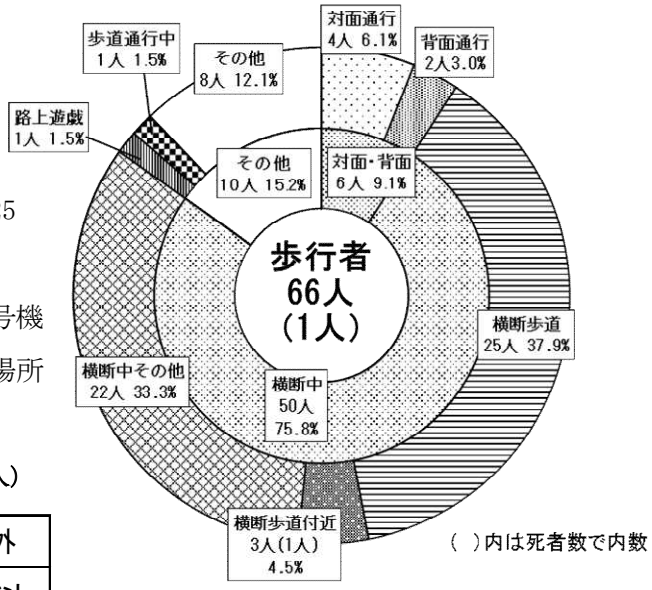
( )内は死者数で内数
自転車同乗者は除く

(8)　事故類型

ア　歩行者

事故類型別では横断中が50人と多く歩行者被害の75.8パーセントを占め、中でも横断歩道での傷者が25人と多く横断中傷者の半数を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、横断歩道以外の信号機のない場所で小学生の傷者が目立っている。



(単位：人)

横断場所 ＼ 学齢	横断歩道		横断歩道以外	
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児	1	1		① 4
小学生	6	10	1	18
中学生	6	1		2

○は死者で内数

イ　自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が27人で、自転車乗用中の67.5パーセントを占め最も多く、次いで左折時の８人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が28人と多く、自転車乗用中傷者の70.0パーセントを占めている。

(単位：人・%)

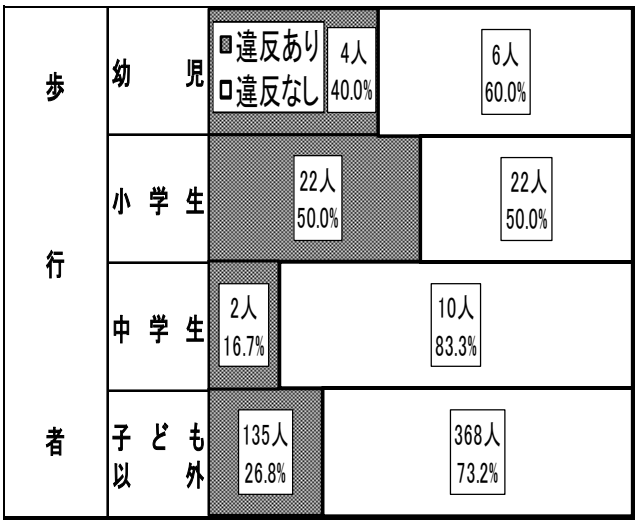
事故類型 ＼ 道路形状等		交差点		計	その他	合計		幼児		小学生		中学生	
		交差点内	交差点付近				構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人対車両				0		0	0.0						
車両相互	正面衝突			0		0	0.0						
	追突			0		0	0.0						
	出会い頭	20		20	7	27	67.5	2		5	2	13	5
	追越・追抜	1		1	1	2	5.0					1	1
	転回・後退時			0		0	0.0						
	進路変更・すれ違い時			0		0	0.0						
	右折時	3		3		3	7.5					3	
	左折時	4		4	4	8	20.0	1		1		2	
	その他			0		0	0.0					4	
計		28	0	28	12	40	100.0	3	0	6	2	23	6
車両単独				0		0	0.0						
列車				0		0	0.0						
合計		28	0	28	12	40	100.0	3	0	6	2	23	6

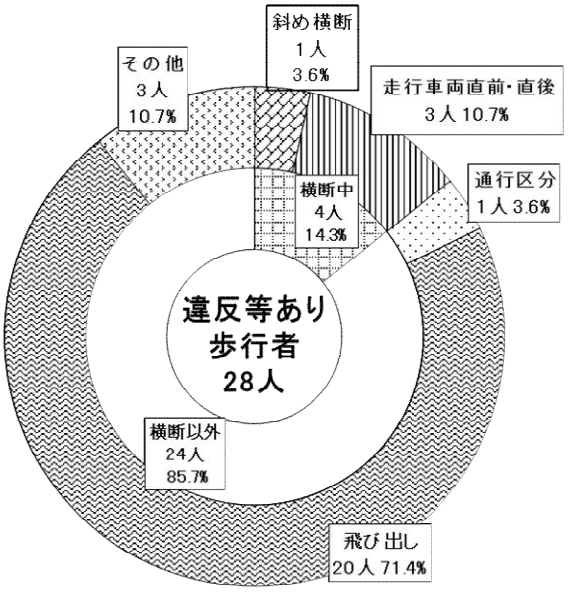
(9)　違反別

ア　歩行者

歩行者の死傷者66人のうち、何らかの違反が認められた者は28人で、子供の歩行中事故の42.4パーセントを占めている。

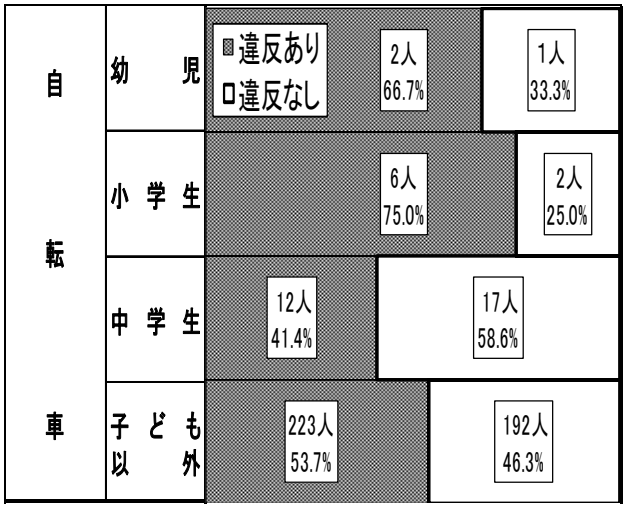
違反の内容をみると、飛び出しが20人と最も多く、違反のあった歩行者の71.4パーセントを占めている。

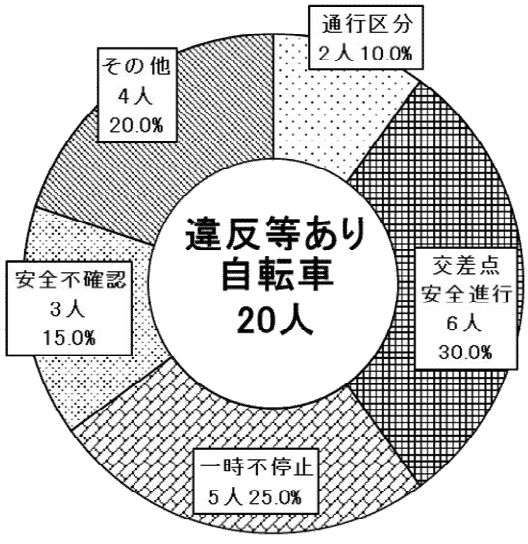




イ　自転車

自転車の傷者40人のうち、何らかの違反が認められたのは20人で自転車傷者数の50.0パーセントを占めている。違反の内容をみると交差点安全進行義務違反が６人（30.0%）で最も多く、次いで一時不停止の５人(25.0%)が続いている。





5　高校生の事故

(1)　高校生の事故

ア　概　　況

高校生が第１当事者となった事故は、

発生件数　　８件　（前年比　　±０件　　増減なし）

死者数　　０人　（前年比　　±０人　　増減なし）

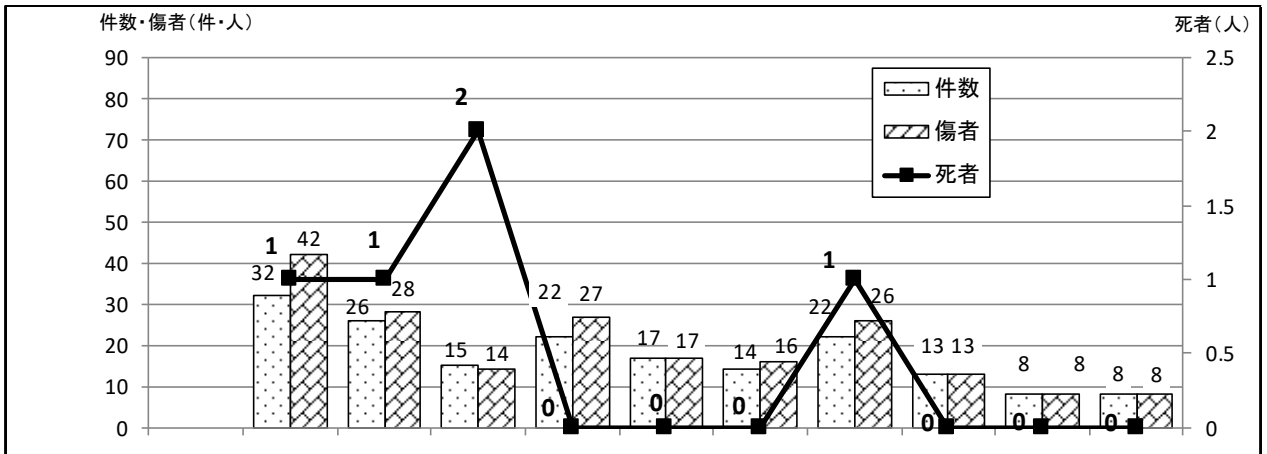
傷者数　　８人　（前年比　　±０人　　増減なし）

で、発生件数、死傷者ともに同数であった。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成21年の32件で、平成30年の８件は平成21年と比べると75.0%減少している。

死者は、平成23年の2人が最も多く、平成21、22、27年は1人、他は0人となっている。

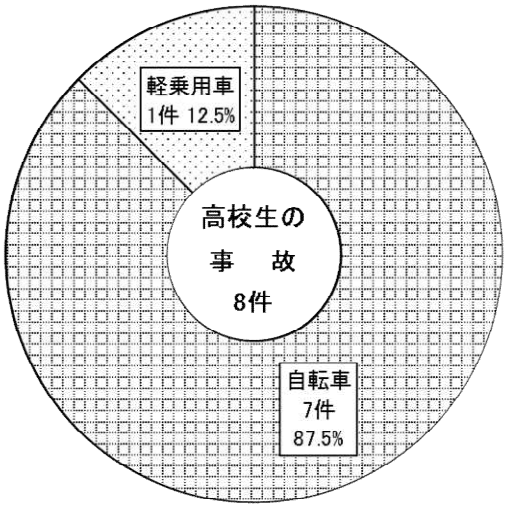
（単位：件・人・%）



区分＼年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数	32	26	15	22	17	14	22	13	8	8
死者	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0
傷者	42	28	14	27	17	16	26	13	8	8
全事故に占める割合（%） 件数	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
全事故に占める割合（%） 死者	1.0	0.9	2.1	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
全事故に占める割合（%） 傷者	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1

イ　当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が７件で87.5%を占め、次いで、軽乗用車の1件（12.5%）となっている。



ウ　違反別

悪質違反による事故は５件で62.5%を占め、一時不停止３件、信号無視２件となっている。

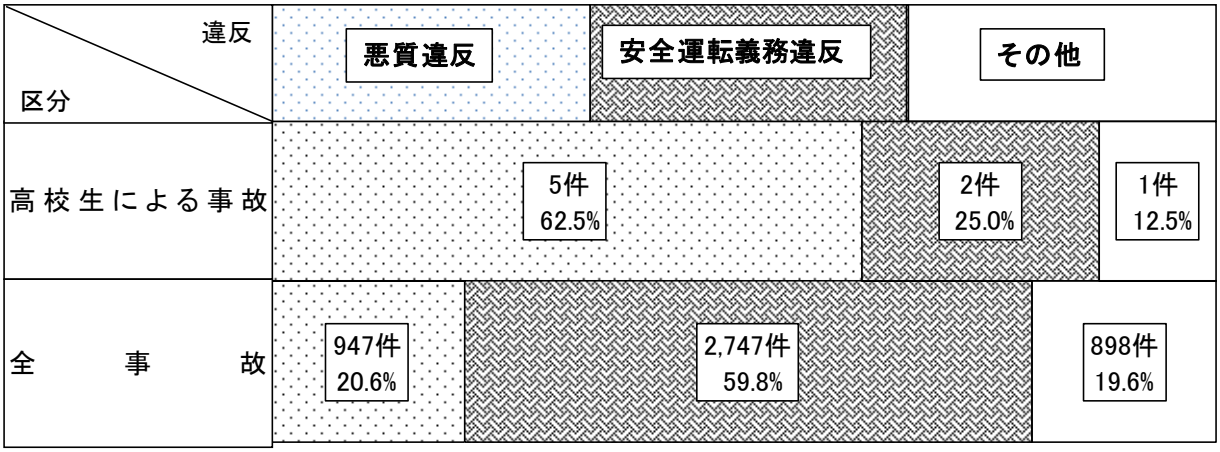
安全運転義務違反による事故は２件で、前方不注意が２件となっている。

（単位：件・%）

違反＼区分		高校生事故	構成率(%)	全事故	構成率(%)
悪質違反	信号無視	2	25.0	215	4.7
	最高速度		0.0	12	0.3
	通区・追越		0.0	113	2.5
	歩行者妨害等		0.0	347	7.6
	一時不停止	3	37.5	253	5.5
	酒酔い運転		0.0	7	0.2
	計	5	62.5	947	20.6
横断禁止等			0.0	106	2.3
右・左折違反			0.0	35	0.8
優先通行妨害等			0.0	435	9.5
交差点安全進行			0.0	226	4.9

違反＼区分		高校生事故	構成率(%)	全事故	構成率(%)
徐行違反			0.0	21	0.5
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		0.0	326	7.1
	前方不注意	2	25.0	1,054	23.0
	動静不注視		0.0	706	15.4
	安全不確認		0.0	571	12.4
	安全速度		0.0	60	1.3
	その他		0.0	30	0.7
	計	2	25.0	2,747	59.8
その他		1	12.5	75	1.6
合計		8	100.0	4,592	100.0
無免許（内数）			0.0	19	0.4

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が62.5パーセントで約３倍となっている。



エ　道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は自転車による事故が６件交差点で発生し、全事故の75.0パーセントを占めている。

（単位：件）

当事者＼道路形状		交差点	付近（内数）	その他	合計	カーブ（内数）右	カーブ（内数）左
自動車				1	1		
二輪車	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
	計	0	0	0	0	0	0
自転車		6	0	1	7		
歩行者					0		
合計		6	0	2	8	0	0

(2)　高校生の被害

ア　概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数　　１人（前年比　＋１人）

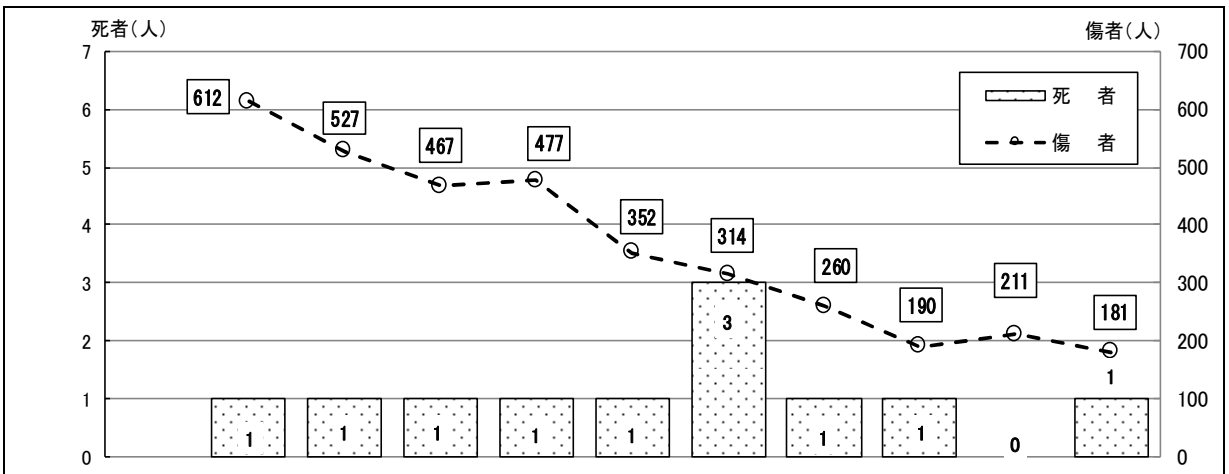
傷者数　181人（前年比　－30人　　14.2%減）

で、傷者数は減少したが死者数は増加した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の３人で、その他は平成29年を除き１人が亡くなっている。

傷者が最も多いのは平成21年の612人で、最も少ないのは平成30年の181人となっている。

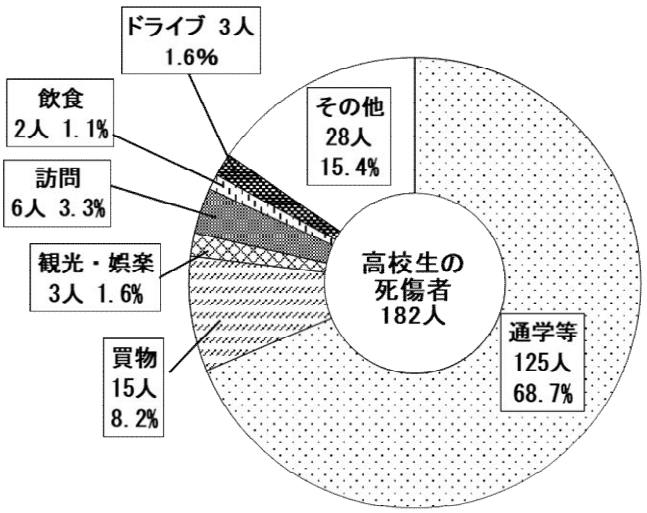
（単位：人・%）



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
被害	死　者	1	1	1	1	1	3	1	1	0	1
	傷　者	612	527	467	477	352	314	260	190	211	181
全被害に占める割合	死者	1.0	0.9	1.1	1.1	1.3	3.4	1.3	1.1	0.0	1.3
	傷者	4.3	4.0	3.9	3.9	3.2	3.3	3.1	2.7	3.1	3.3

イ　通行目的

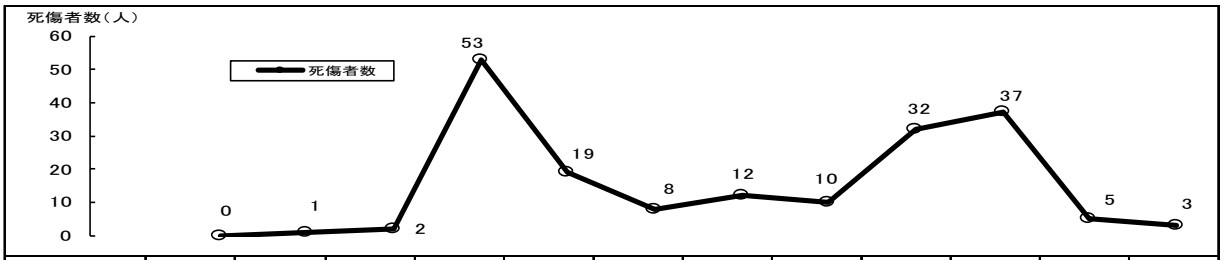
通学等の死傷者は125人で高校生死傷者の68.7パーセントを占め最も多く、次いで買物の15人となっている。



ウ　時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に６～８時が53人、18～20時が37人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の49.5パーセントを占めている。

（単位：人）



時　　間	0−2	2−4	4−6	6−8	8−10	10−12	12−14	14−16	16−18	18−20	20−22	22−24
死傷者数	0	1	2	53	19	8	12	① 10	32	37	5	3

（注）〇は死者数で内数

エ　状態別

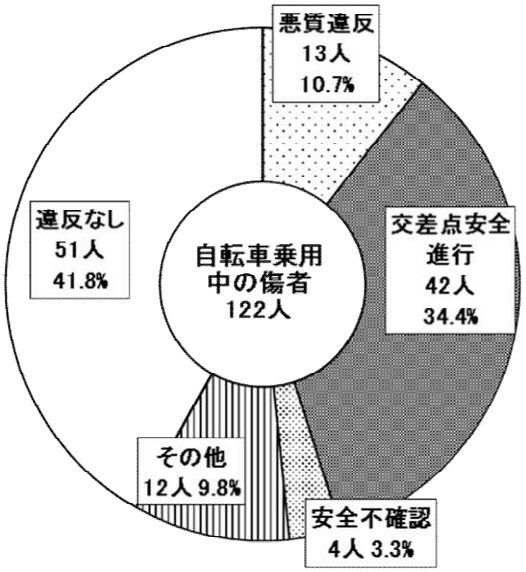
高校生の傷者は自転車乗用中が122人と最も多く高校生傷者の67.4パーセントを占め、次いで自動車同乗中の38人(21.0%)、歩行中の15人(8.3%)の順となっている。

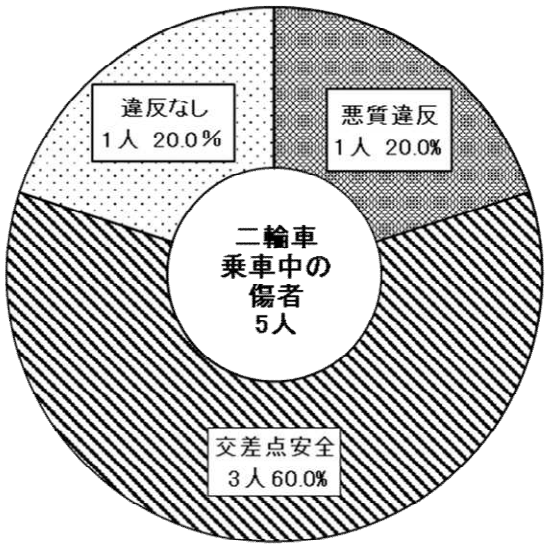
（単位：人・%）

区分＼状態	自動車 運転中	自動車 同乗中	自動二輪車 運転中	自動二輪車 同乗中	原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	合計
死者	0	1	0	0	0	0	0	0	1
構成率(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷者	1	38	4	0	1	122	15	0	181
構成率(%)	0.6	21.0	2.2	0.0	0.6	67.4	8.3	0.0	100.0

自転車の違反状況をみると、58.2%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は悪質違反１人、交差点安全進行義務違反３人である。



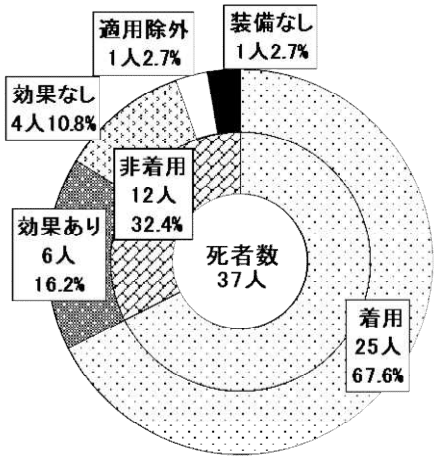


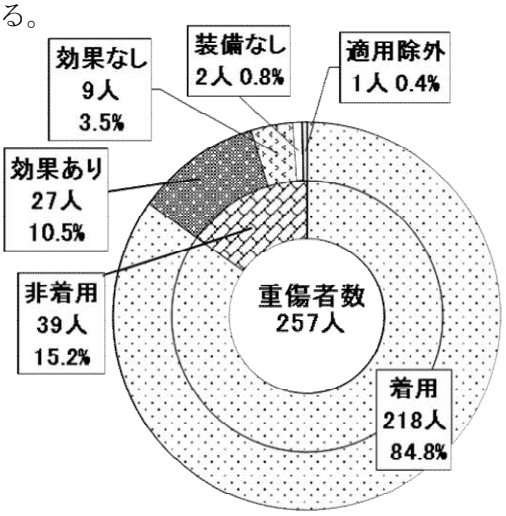
6　自動車のシートベルト着用状況

(1)　死傷者のシートベルト着用状況

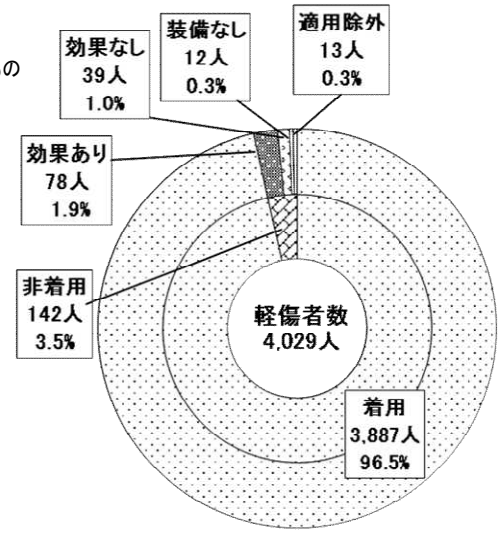
死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者12人中６人(50.0%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。





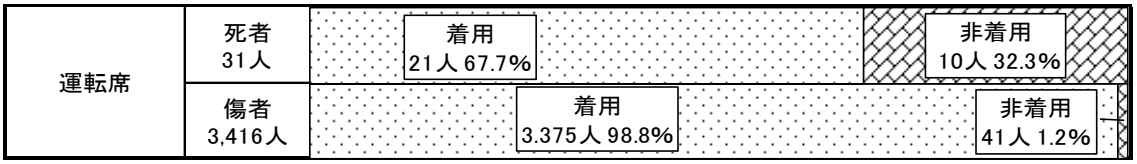
（注）効果あり……シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

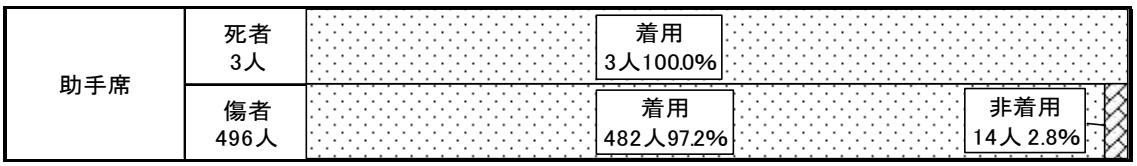


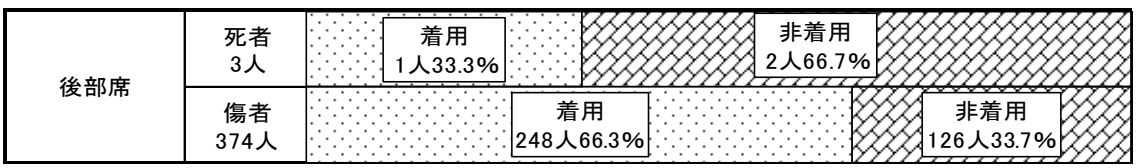
(2)　座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.8パーセント、助手席が97.2パーセント、後部席が66.3パーセントである。

死者の着用率は、運転席が67.7パーセント、助手席が100.0パーセント、後部席は33.3パーセントであった。







※　後部座席等には、降車しようとしていた人１人(傷者)も含む

(3)　年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、20歳未満が0.0パーセントと最も低く、次いで30歳代が33.3パーセントとなっている。

傷者の着用率は、20歳未満が83.7パーセントと最も低く、65～69歳が99.6パーセントと最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運転席 総数	運転席 着用者	運転席 着用率	助手席 総数	助手席 着用者	助手席 着用率	後部席 総数	後部席 着用者	後部席 着用率	合計 総数	合計 着用者	合計 着用率
20歳未満	死者			－			－	1		0.0	1	0	0.0
	傷者	52	52	100.0	74	70	94.6	144	104	72.2	270	226	83.7
20～24歳	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	246	244	99.2	47	45	95.7	28	14	50.0	321	303	94.4
25～29歳	死者	1	1	100.0			－	1		0.0	2	1	50.0
	傷者	315	312	99.0	31	31	100.0	21	13	61.9	367	356	97.0
30歳代	死者	3	1	33.3			－			－	3	1	33.3
	傷者	758	750	98.9	84	84	100.0	37	26	70.3	879	860	97.8
40歳代	死者	4	3	75.0			－			－	4	3	75.0
	傷者	752	741	98.5	78	76	97.4	26	13	50.0	856	830	97.0
50歳代	死者	5	4	80.0			－			－	5	4	80.0
	傷者	630	620	98.4	67	64	95.5	32	21	65.6	729	705	96.7
60～64歳	死者	2	2	100.0			－			－	2	2	100.0
	傷者	229	225	98.3	33	32	97.0	24	16	66.7	286	273	95.5
65～69歳	死者	7	4	57.1			－			－	7	4	57.1
	傷者	205	204	99.5	24	24	100.0	17	17	100.0	246	245	99.6
70歳以上	死者	9	6	66.7	3	3	100.0	1	1	100.0	13	10	76.9
	傷者	229	227	99.1	57	55	96.5	45	25	55.6	331	307	92.7
合計	死者	31	21	67.7	3	3	100.0	3	1	33.3	37	25	67.6
	傷者	3,416	3,375	98.8	495	481	97.2	374	249	66.6	4,285	4,105	95.8

※　降車しようとしていた人１人(傷者)は含まない

(4)　時間別

時間別に死者の着用率をみると、12～14時が33.3パーセントと最も低く、16～18時、18～20時、20～22時、22～24時が100.0パーセントと最も高い。

傷者は6～8時が97.8パーセントと最も高く、2～4時が82.9パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運転席 総数	運転席 着用者	運転席 着用率	助手席 総数	助手席 着用者	助手席 着用率	後部席 総数	後部席 着用者	後部席 着用率	合計 総数	合計 着用者	合計 着用率
0～2	死者	2	1	50.0			－			－	2	1	50.0
	傷者	40	40	100.0	13	12	92.3	9	5	55.6	62	57	91.9
2～4	死者	3	2	66.7			－			－	3	2	66.7
	傷者	27	27	100.0	7	6	85.7	7	1	14.3	41	34	82.9
4～6	死者	2	1	50.0			－			－	2	1	50.0
	傷者	39	38	97.4	5	4	80.0	4	1	25.0	48	43	89.6
6～8	死者	4	3	75.0			－			－	4	3	75.0
	傷者	424	422	99.5	40	39	97.5	37	29	78.4	501	490	97.8
8～10	死者	4	2	50.0			－			－	4	2	50.0
	傷者	540	532	98.5	65	65	100.0	43	29	67.4	648	626	96.6
10～12	死者	3	2	66.7			－			－	3	2	66.7
	傷者	452	446	98.7	81	81	100.0	47	31	66.0	580	558	96.2
12～14	死者	3	1	33.3			－			－	3	1	33.3
	傷者	368	364	98.9	49	48	98.0	47	26	55.3	464	438	94.4
14～16	死者	6	5	83.3	1	1	100.0	2		0.0	9	6	66.7
	傷者	431	426	98.8	81	80	98.8	68	50	73.5	580	556	95.9
16～18	死者	1	1	100.0	2	2	100.0	1	1	100.0	4	4	100.0
	傷者	518	512	98.8	72	72	100.0	51	42	82.4	641	626	97.7
18～20	死者	1	1	100.0			－			－	1	1	100.0
	傷者	384	380	99.0	48	43	89.6	34	23	67.6	466	446	95.7
20～22	死者	1	1	100.0			－			－	1	1	100.0
	傷者	127	124	97.6	21	18	85.7	22	10	45.5	170	152	89.4
22～24	死者	1	1	100.0			－			－	1	1	100.0
	傷者	66	64	97.0	13	13	100.0	5	2	40.0	84	79	94.0
合計	死者	31	21	67.7	3	3	100.0	3	1	33.3	37	25	67.6
	傷者	3,416	3,375	98.8	495	481	97.2	374	249	66.6	4,285	4,105	95.8

※　降車しようとしていた人１人(傷者)は含まない

(5)　６歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した６歳未満の幼児は

死者数　　０人（前年比　　±０人）

傷者数　　53人（前年比　　＋８人　　17.8%増）

で、死者は昨年に続いて０人であり、傷者数は増加した。

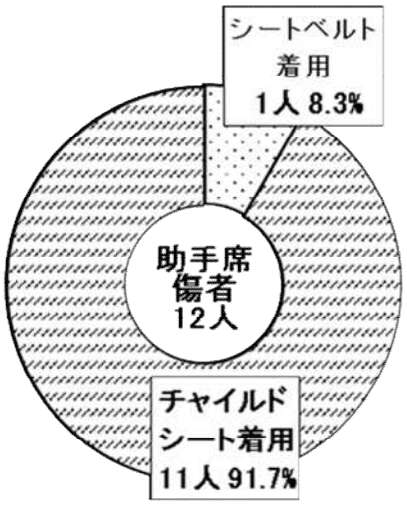
乗車位置別死傷者数は、助手席が12人（うち死亡０人）、後部座席が41人（うち死亡０人）となっている。

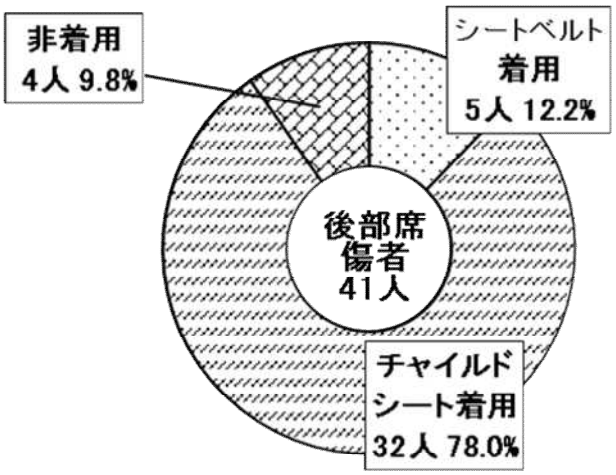
【助手席】　（単位：人）

着用の有無等＼助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	11		
	計	12	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等				
合計		12	0	0

【後部座席】　（単位：人）

着用の有無等＼後部席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	5		
	チャイルドシート	32		
	計	37	0	0
非着用	効果あり	4		1
	効果なし			
	計	4	0	1
装備なし等				
合計		41	0	1





非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	0人

助手席乗車中のうち	
死　亡	0人
重　傷	0人

非着用のうち	
効果あり	4人
効果なし	0人

後部席乗車中のうち	
死　亡	0人
重　傷	1人

7　青年運転者の事故

(1)　概況

青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数　　627件（前年比　　－189件　　23.2%減）

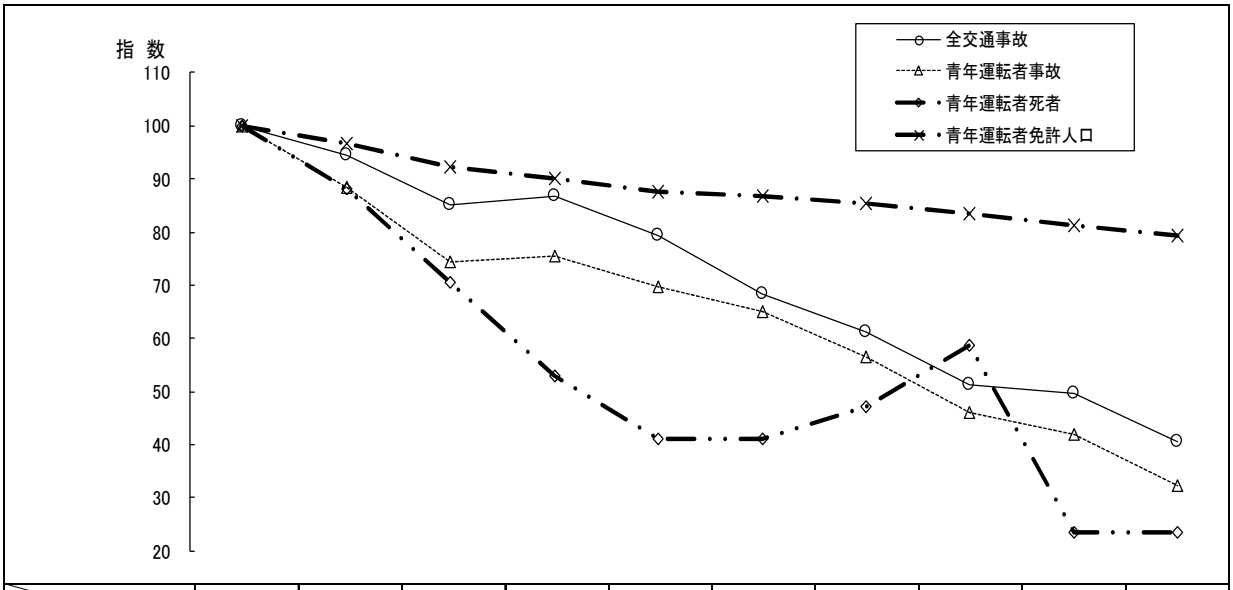
死者数　　4人（前年比　　±　0人　　増減なし）

傷者数　　786人（前年比　　－230人　　22.6%減）

で、発生件数、傷者数は減少し、死者数は同数であった。

全事故に占める割合は、件数が13.7パーセント、死者数5.3パーセント、傷者数14.3パーセントとなっている。

(単位：件・人・%)



区分＼年			平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
全交通事故			11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592
		指数	100	94	85	87	79	68	61	51	50	41
青年運転者	件数		1,945	1,717	1,446	1,470	1,357	1,266	1,099	895	816	627
		指数	100	88	74	76	70	65	57	46	42	32
	死者		17	15	12	9	7	7	8	10	4	4
		指数	100	88	71	53	41	41	47	59	24	24
	傷者		2,522	2,222	1,842	1,874	1,737	1,619	1,366	1,150	1,016	786
		指数	100	88	73	74	69	64	54	46	40	31
	免許人口		113,062	109,351	104,191	101,690	99,104	98,009	96,548	94,397	91,898	89,595
		指数	100	97	92	90	88	87	85	83	81	79
	全事故に占める割合(%)	件数	17.2	16.1	15.0	15.0	15.2	16.4	15.9	15.4	14.6	13.7
		死者	16.8	13.4	12.8	10.1	8.9	8.0	10.4	11.1	5.9	5.3
		傷者	17.7	16.8	15.5	15.4	15.7	17.1	16.4	16.2	15.1	14.3

(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が312件で最も多く、青年運転者の49.8パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が184件で最も多く29.3パーセントを占めている。

悪質違反による事故は110件で青年運転者の17.5パーセントを占め、うち信号無視が36件と最も多い。

(単位：件)

違反＼車種		自動車							二輪車				合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特殊	小二	軽二	原二	原付	
悪質違反	信号無視		17	18		1							36
	最高速度		1	1									2
	通区・追越		7	12		1				1			21
	歩行者妨害等		9	11			1						21
	一時不停止		14	15					1				30
	酒酔い運転												0
計		0	48	57	0	2	1	0	1	1	0	0	110
横断禁止等			7	7			2						16
右折違反			2										2
左折違反													0
優先通行妨害等			22	24	1	1					1		49
交差点安全進行			16	3		2							21
徐行違反			1	1									2
過労運転			4				1						5
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		24	24	1	2				1			52
	前方不注意		97	69	3	8	5			1	1		184
	動静不注視		56	48	3	8	9					1	125
	安全不確認	1	24	19		1	1						46
	安全速度		7	1			1						9
	その他		3						1				4
	計	1	211	161	7	19	16	0	1	2	1	1	420
その他			1	1									2
合計		1	312	254	8	24	20	0	2	3	2	1	627

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20時が112件と最も多く、次いで6～8時の98件、16～18時の91件となっている。

道路別では、市町村道が227件と最も多く、次いで国道が198件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の67.8パーセントを占めている。

(単位：件)

区分＼時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
国道	4号	1			8	4	8	4	9	11	10	5		60
	6号				14	3	1	3	3	2	6	5	1	38
	13号					1				1	1			3
	49号				4	3	3	4	5	1	8	2	2	32
	三桁			1	11	4	4	7	7	12	13	2	4	65
計		1	0	1	37	15	16	18	24	27	38	14	7	198
県道		5	2	5	26	24	10	15	8	28	32	10	5	170
市町村道		6	4	3	30	36	24	15	15	32	38	15	9	227
高速道		1			3	1	2		2	2	1	1		13
その他					2	5	3	1	2	2	3		1	19
合計		13	6	9	98	81	55	49	51	91	112	40	22	627

(4)　事故類型別

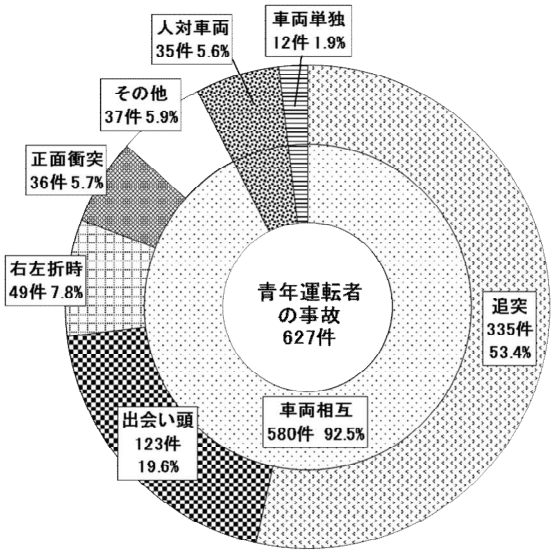
車両相互が580件で青年運転者事故の92.5パーセントを占めている。

特に、

追　　突：　335件（53.4%）

出会い頭：　123件（19.6%）

が多く、両事故類型を合わせると458件で車両相互の73.0パーセントを占めている。

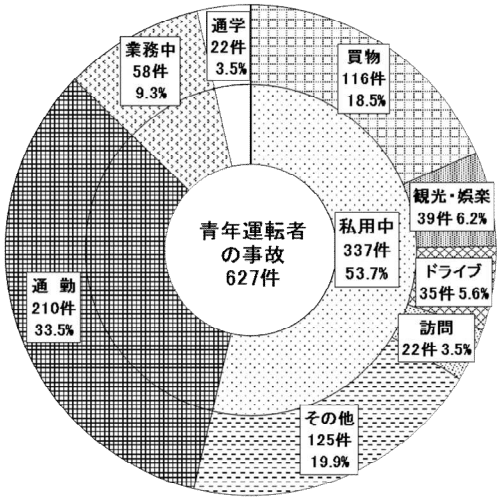


(5)　通行目的別

私用中が337件で青年運転者事故の53.7パーセントを占めている。

特に、買物が116件と多く、私用中事故の34.4パーセントを占め、次いで観光・娯楽の39件の順となっている。

また通勤時の事故も210件発生し、青年運転者事故の33.5パーセントを占めている。



(6)　車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が554件で最も多く、青年運転者事故の88.4パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

（単位：件）

速度＼車種	自動車											二輪車				合計
	大乗	中乗	準中型	普乗	軽乗	大貨	中貨	準中型	普貨	軽貨	特殊	小二	軽二	原二	原付	
停止中																0
50 km/h 以下		1		275	231		1	6	18	17		1	1	2	1	554
60 km/h 以下				27	16				4	3			1			51
70 km/h 以下				4	6				1			1	1			13
80 km/h 以下				3												3
90 km/h 以下								1								1
100 km/h 以下				2	1				1							4
101 km/h 以上				1												1
調査不能																0
合計	0	1	0	312	254	0	1	7	24	20	0	2	3	2	1	627

(7)　人的原因別

発見の遅れが409件と多く、青年運転者による事故の65.2パーセントを占めている。

中でも脇見等と安全不確認が各154件で多く、合わせると発見の遅れ全体の75.3パーセントを占めている。

交通事故の人的原因（第１当）	（単位：件・人）	
合　　計	件　数	627
	死　者	4
	傷　者	786
発見の遅れ　　計	件　数	409
	死　者	1
	傷　者	526
前方不注意　　計	件　数	255
	死　者	1
	傷　者	340
内在的（漫然等）　計	件　数	101
	死　者	1
	傷　者	149
居眠り運転	件　数	9
	死　者	0
	傷　者	18
ラジオ・ステレオを聴いていた	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
雑談や携帯電話等で話していた	件　数	2
	死　者	0
	傷　者	2
その他、考え事等の漫然運転	件　数	90
	死　者	1
	傷　者	129
外在的（脇見等）　計	件　数	154
	死　者	0
	傷　者	191
物を落とした、物を取ろうとした	件　数	17
	死　者	0
	傷　者	20
同乗者、同乗の動物等に脇見	件　数	9
	死　者	0
	傷　者	13
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件　数	9
	死　者	0
	傷　者	13
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件　数	4
	死　者	0
	傷　者	5
雑誌、地図帳等を見ていた	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
道、案内標識等を探して脇見	件　数	9
	死　者	0
	傷　者	10
風景、地物等に脇見	件　数	46
	死　者	0
	傷　者	62
他の車、歩行者に脇見	件　数	16
	死　者	0
	傷　者	19
バックミラーやドアミラーを見ていた	件　数	4
	死　者	0
	傷　者	4
その他脇見	件　数	40
	死　者	0
	傷　者	45
安全不確認　　計	件　数	154
	死　者	0
	傷　者	186
安全確認をしなかった	件　数	59
	死　者	0
	傷　者	68
安全確認が不十分だった	件　数	95
	死　者	0
	傷　者	118

交通事故の人的原因（第１当）	（単位：件・人）	
判断の誤り等　　計	件　数	162
	死　者	2
	傷　者	190
動静不注視　　計	件　数	141
	死　者	0
	傷　者	165
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件　数	9
	死　者	0
	傷　者	9
他の危険を避けようとして注視を怠った	件　数	1
	死　者	0
	傷　者	1
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件　数	131
	死　者	0
	傷　者	155
予測不適　　計	件　数	8
	死　者	0
	傷　者	11
運転感覚（速度、車幅、距離等）を誤った	件　数	5
	死　者	0
	傷　者	5
相手がルールを守ると思った	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
他の事故（危険）を避けようと思った	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件　数	3
	死　者	0
	傷　者	6
交通環境　　計	件　数	13
	死　者	2
	傷　者	14
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件　数	2
	死　者	1
	傷　者	1
道路環境（路面凍結や霧など）に対する認識を誤った	件　数	6
	死　者	0
	傷　者	8
交通規制に対する認識を誤った	件　数	2
	死　者	0
	傷　者	2
交通安全施設に対する認識を誤った	件　数	1
	死　者	0
	傷　者	1
障害物等に対する認識を誤った	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
その他の交通環境に対する認識を誤った	件　数	2
	死　者	1
	傷　者	2
操作上の誤り（操作不適）　計	件　数	55
	死　者	1
	傷　者	68
ブレーキとアクセルの踏み違い	件　数	8
	死　者	0
	傷　者	13
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件　数	22
	死　者	0
	傷　者	23
急ブレーキをかけた	件　数	10
	死　者	0
	傷　者	14
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
ハンドルの操作不適	件　数	4
	死　者	0
	傷　者	6
ギヤの入れ違い	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
ブレーキをかけながらハンドル操作	件　数	1
	死　者	0
	傷　者	1
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件　数	0
	死　者	0
	傷　者	0
その他の操作不適	件　数	10
	死　者	1
	傷　者	11
調　査　不　能	件　数	1
	死　者	0
	傷　者	2

8　高齢者の事故（65歳以上）

(1)　高齢運転者による事故

ア　概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

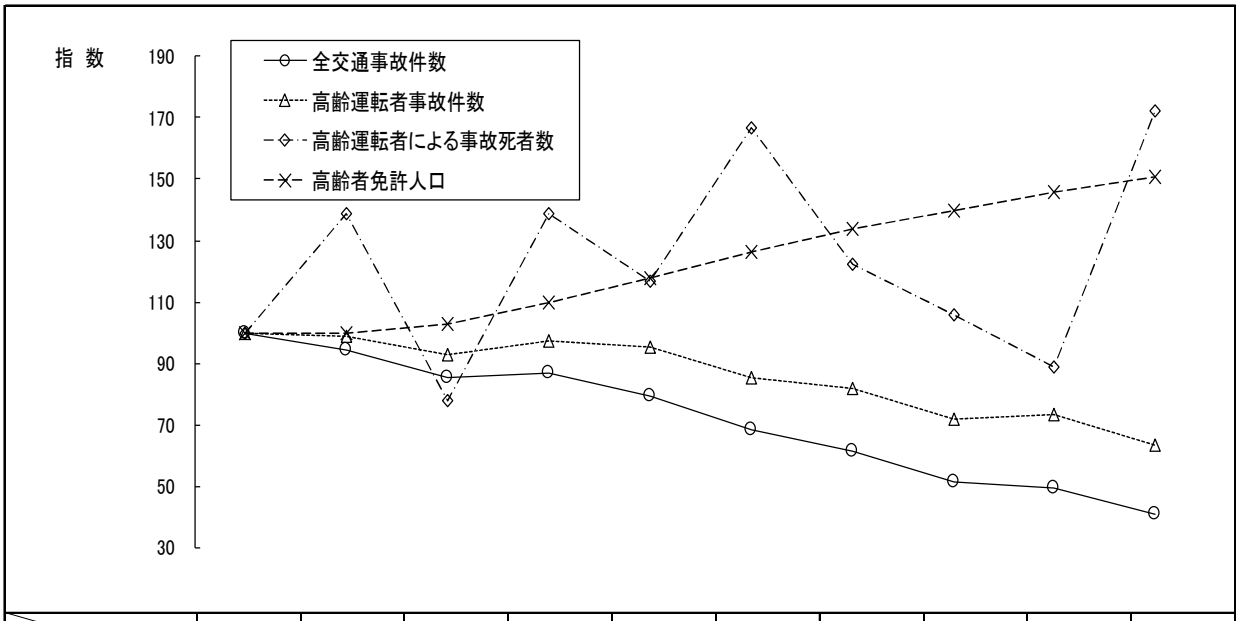
発生件数　　1,064件（前年比　　－174件　　14.1%減）

死者数　　31人（前年比　　＋ 15人　　93.8%増）

傷者数　　1,247人（前年比　　－222人　　15.1%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

（単位：件・人・%）



区分＼年			平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
全交通事故			11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592
		指数	100	94	85	87	79	68	61	51	50	41
高齢運転者	件数		1,684	1,660	1,563	1,636	1,601	1,439	1,379	1,207	1,238	1,064
		指数	100	99	93	97	95	85	82	72	74	63
	死者		18	25	14	25	21	30	22	19	16	31
		指数	100	139	78	139	117	167	122	106	89	172
	傷者		2,197	2,035	1,932	2,002	1,930	1,756	1,659	1,429	1,469	1,247
		指数	100	93	88	91	88	80	76	65	67	57
	免許人口		219,968	219,989	226,253	241,648	259,319	277,955	293,866	307,407	320,917	331,891
		指数	100	100	103	110	118	126	134	140	146	151
	全事故に占める割合(%)	件数	14.9	15.6	16.3	16.7	17.9	18.7	20.0	20.8	22.2	23.2
		死者	17.8	22.3	14.9	28.1	26.6	34.5	28.6	21.1	23.5	41.3
		傷者	15.4	15.4	16.3	16.4	17.4	18.6	19.9	20.1	21.9	22.7

イ　時間別・道路別

時間別では10～12時が211件と最も多く、次いで14～16時の188件、８～10時の183件の順となっている。

８時～18時までの発生は870件と高齢運転者事故の81.8パーセントを占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、730件と高齢運転者事故の68.6パーセントを占めている。

（単位：件）

区分＼時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
国道	4号		1	1		9	5	7	5	3	2	2	2	37	28	9
	6号		1	1	4	7	9	2	11	7		1		43	39	4
	13号					1	3	2	1	1	2			10	7	3
	49号				2	5	5	6	3	7	2			30	27	3
	三桁	2	1	2	9	23	29	14	16	10	12	1		119	98	21
	計	2	3	4	15	45	51	31	36	28	18	4	2	239	199	40
県道		1	1	2	20	48	48	41	51	34	25	5	2	278	234	44
市町村道			1	4	27	78	81	62	87	64	37	7	4	452	387	65
生活道路　計		1	2	6	47	126	129	103	138	98	62	12	6	730	621	109
高速道						1	3	1		1	1			7	6	1
その他					2	11	28	13	14	13	4	1	2	88	77	11
合　計		3	5	10	64	183	211	148	188	140	85	17	10	1,064	903	161

ウ　車種別

車種別では普通乗用車が494件で、高齢運転者事故の46.4パーセントを占め、次いで軽乗用車の342件、軽貨物車の164件と続いている。

また、二輪車による事故は７件で高齢運転者事故の0.7パーセントを占めている。

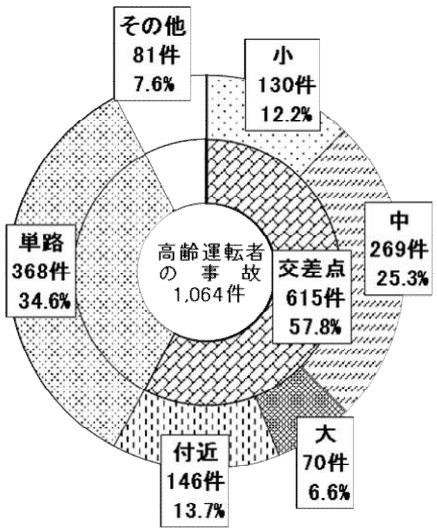
（単位：件）

年齢＼車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
	大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65 ～ 69 歳	3	184	136	14	16	48				1	402
70 歳 代	1	214	143	5	11	73		1	1	2	451
80 歳 以 上		96	63		6	43	1			2	211
合 計	4	494	342	19	33	164	1	1	1	5	1,064

エ　道路形状別

交差点での事故は615件で、高齢運転者事故の57.8パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の43.7パーセントを占めている。



オ　違反別

前方不注意による事故が180件と最も多く、高齢運転者事故の16.9パーセントを占め、次いで安全不確認163件の順となっている。

悪質違反は256件で、歩行者妨害が84件と最も多く、次いで一時不停止の65件となっている。

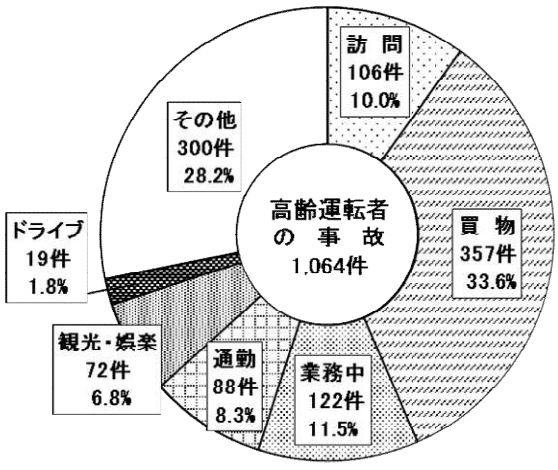
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は24.1パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合20.6パーセントと比較すると3.5ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

（単位：件・％）

違反／区分	悪質違反							横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反							その他	合計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転	計							ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他	計		
件数	62	5	39	84	65	1	256	28	7	7	131	69	9	81	180	106	163	8	8	546	11	1,064
構成率(%)	5.8	0.5	3.7	7.9	6.1	0.1	24.1	2.6	0.7	0.7	12.3	6.5	0.8	7.6	16.9	10.0	15.3	0.8	0.8	51.3	1.0	100.0

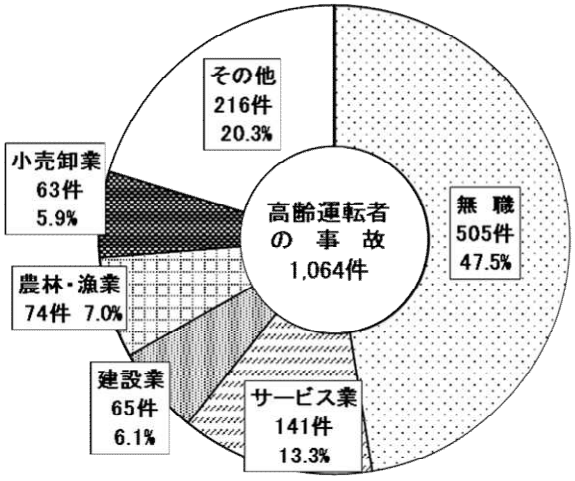
カ　通行目的別

買物が357件と多く、高齢運転者事故の33.6パーセントを占めている。



キ　職業別

無職が505件と最も多く、高齢運転者の47.5パーセントを占めている。



ク　免許人口に占める事故率（年齢別交通事故発生状況）

（単位：人・件・％）

区分＼年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
免許人口	89,595	876,676	331,891	1,298,162
構成率(%)	6.9	67.5	25.6	100
件数	627	2,847	1,064	4,538
構成率(%)	13.8	62.7	23.4	100
死者	4	37	31	72
構成率(%)	5.6	51.4	43.1	100
傷者	786	3,393	1,247	5,426
構成率(%)	14.5	62.5	23.0	100

※　原付以上の運転者が対象（不明除く）

（免許人口は平成30年12月末現在）

(2) 高齢者の死傷者

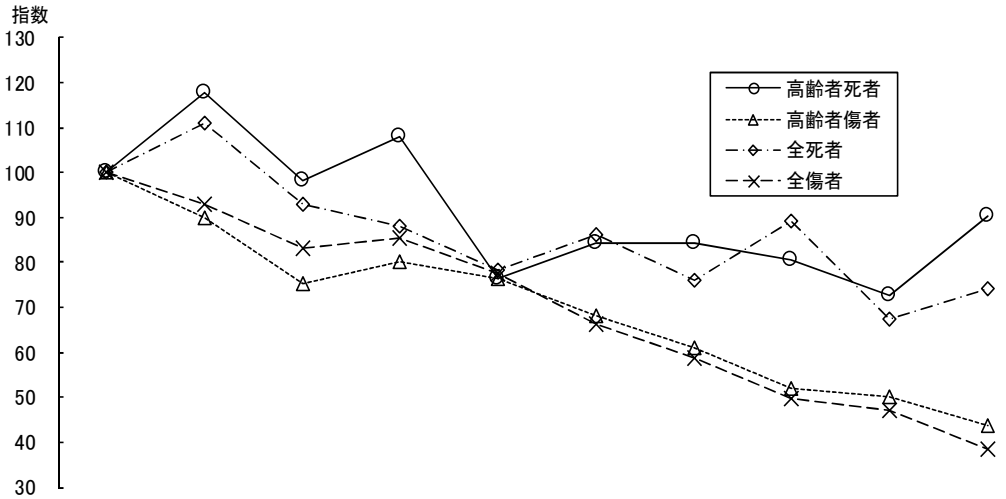
ア 概況

交通事故で死傷した高齢者は、

死者数　　46人（前年比　＋ 9人　　24.3%増）

傷者数　　905人（前年比　－138人　　13.2%減）

で、死者数、傷者数ともに減少した。　　（単位：人）



死傷者 ＼ 年			平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
高齢者死傷者	死者		51	60	50	55	39	43	43	41	37	46
		指数	100	118	98	108	76	84	84	80	73	90
	傷者		2,073	1,868	1,563	1,666	1,587	1,411	1,266	1,075	1,043	905
		指数	100	90	75	80	77	68	61	52	50	44
全死傷者	死者		101	112	94	89	79	87	77	90	68	75
		指数	100	111	93	88	78	86	76	89	67	74
	傷者		14,242	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482
		指数	100	93	83	86	78	66	59	50	47	38

イ 道路別

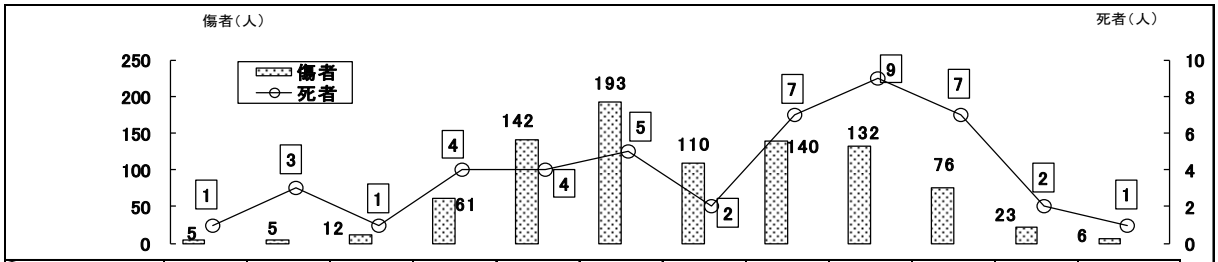
生活道路での死傷者が多く、死者は28名で高齢者死者の60.9パーセント、傷者は592人で高齢者傷者の65.4パーセントを占めている。　　（単位：人・%）

区分 ＼ 道路		国				道	計	生活道路		計	高速	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		県道	市町村道				
死者		3	3		1	9	16	14	14	28	1	1	46
	構成率(%)	6.5	6.5	0.0	2.2	19.6	34.8	30.4	30.4	60.9	2.2	2.2	100.0
傷者		40	51	4	32	112	239	236	356	592	15	59	905
	構成率(%)	4.4	5.6	0.4	3.5	12.4	26.4	26.1	39.3	65.4	1.7	6.5	100.0

ウ　時間別

死者は16～18時の９人が最も多く、高齢者死者の19.6パーセントを占め、次いで14～16時と18～20時の７人の順となっている。

傷者は10～12時の193人が最も多く、高齢者傷者の21.3パーセントを占め、次いで８～10時の142人の順となっている。　（単位：人・％）



区分＼時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24
死者	1	3	1	4	4	5	2	7	9	7	2	1
構成率(%)	2.2	6.5	2.2	8.7	8.7	10.9	4.3	15.2	19.6	15.2	4.3	2.2
傷者	5	5	12	61	142	193	110	140	132	76	23	6
構成率(%)	0.6	0.6	1.3	6.7	15.7	21.3	12.2	15.5	14.6	8.4	2.5	0.7

エ　年齢別・状態別

死者は歩行者の17人が最も多く、高齢死者の37.0パーセントを占め、次いで四輪運転の16人、自転車の５人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。　（単位：人）

状態＼年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者	3	35	8	97	6	63	17	195
自転車		25	3	46	2	21	5	92
原付		11	1	13	2	9	3	33
自二		3	1	1		1	1	5
四輪運転	7	205	5	189	4	40	16	434
四輪同乗		41	1	65	3	37	4	143
その他		1		1		1	0	3
合計	10	321	19	412	17	172	46	905

オ　違反別

(ｱ) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは８人で47.1パーセントを占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは55人で28.2パーセントを占め、横断に関する違反が多い。　（単位：人）

区分＼違反	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	左側通行	横断					酩酊・徘徊	その他		
			横断歩道外	斜め横断	駐車停車両	走行車両直前直後	横断禁止場所				
死者			4			2		1	1	9	17
傷者	3	4	19		3	12		1	13	140	195

(ｲ) 自転車

死者の違反については、優先通行妨害、安全不確認の各１人、その他の２人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは42人で45.7パーセントを占め、うち交差点安全進行義務違反が17人と最も多い。

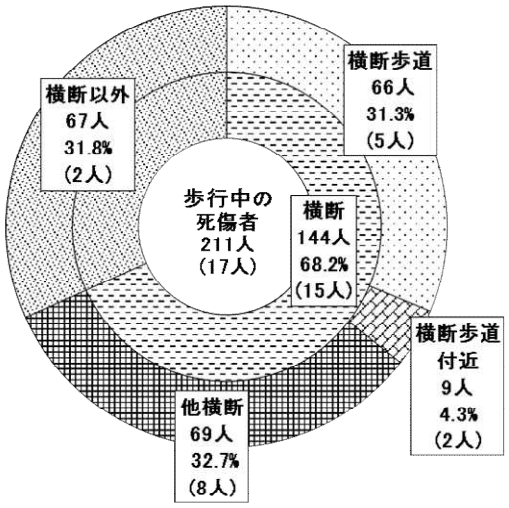
（単位：人）

区分＼違反	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	酒酔い	安全不確認	その他		
死者				1				1	2	1	5
傷者	1	2	1	5	17	1		10	5	50	92

カ　事故類型別

(ｱ) 歩行者

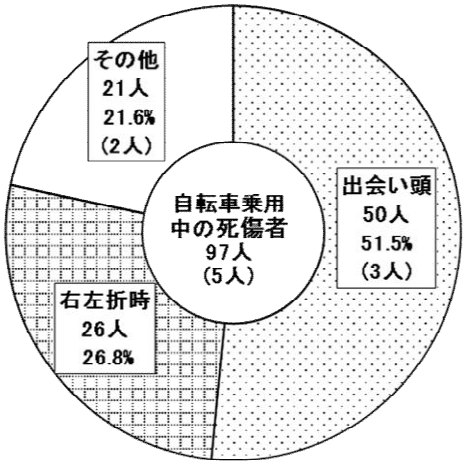
横断が144人と多く、歩行中死傷者の68.2パーセントを占めている。



＊1　(　)内は死者で内数
＊2　人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

(ｲ)　自転車

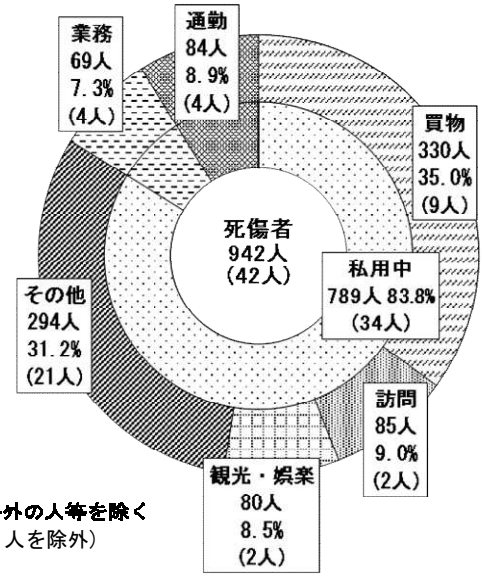
出会い頭事故が50人と多く、自転車事故死傷者の51.5パーセントを占めている。



＊　(　)内は死者で内数

キ　通行目的別

買物が330人と最も多く、高齢者死傷者全体の35.0パーセントを占め、次いで訪問、通勤と続いている。



＊1　(　)内は死者で内数
＊2　通行目的が調査不能、道路外の人等を除く
（死傷者から９人 うち死者４人を除外）

9　初心運転者の事故

(1)　概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

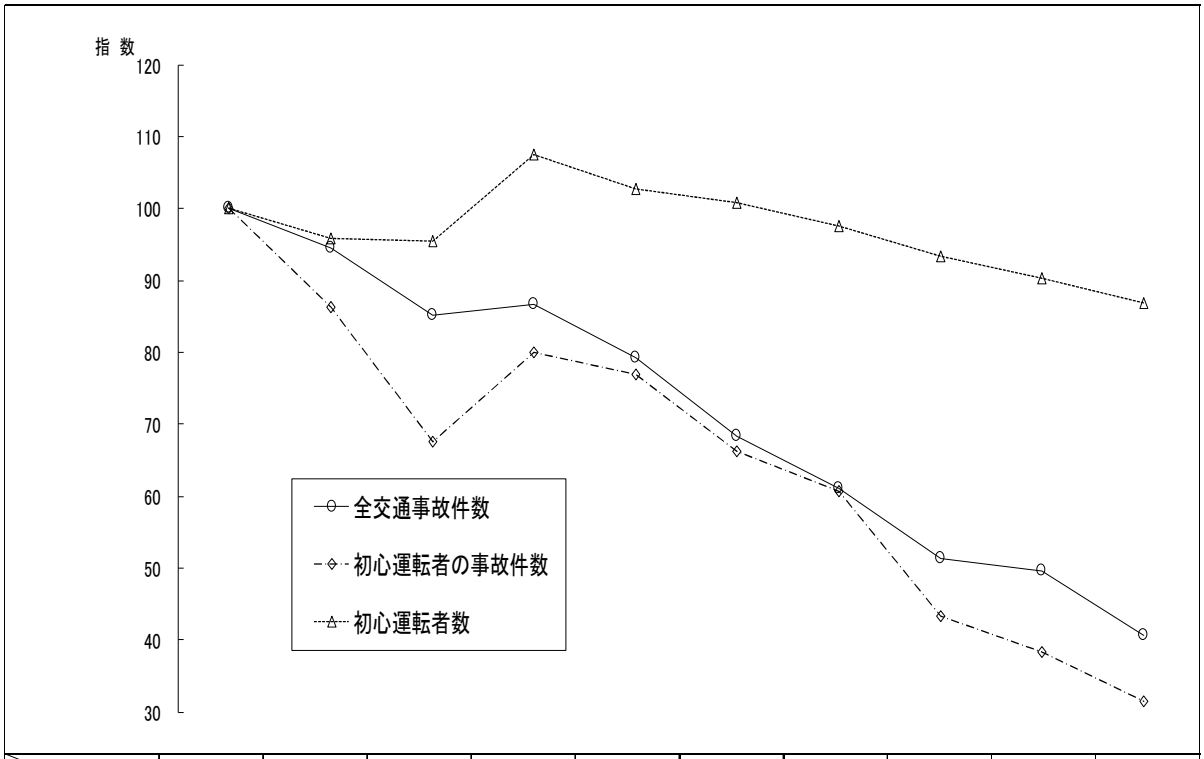
発生件数　　164件（前年比　　－36件　　18.0％減）

死者数　　２人（前年比　　±０人　）

傷者数　　205人（前年比　　－43人　　17.3％減）

で、死者は前年同数で発生件数、傷者数はともに減少した。

過去10年間の推移をみると、総括的には、初心運転者数は減少し、全事故に占める初心運転者の事故割合は、横ばい状態である。　　**（単位：件・人・％）**

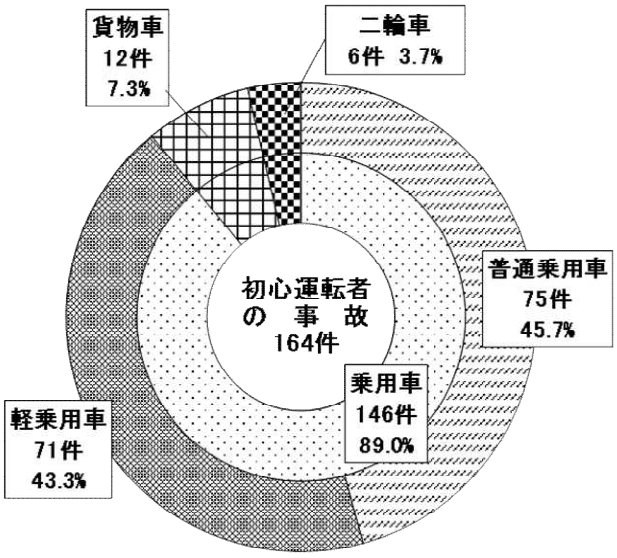


区分＼年			平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
全交通事故			11,287	10,665	9,618	9,789	8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592
		指数	100	94	85	87	79	68	61	51	50	41
初心運転者事故	件数		522	450	353	418	402	346	317	226	200	164
		指数	100	86	68	80	77	66	61	43	38	31
	死者		2	5	6	5	5	4	5	2	2	2
		指数	100	250	300	250	250	200	250	100	100	100
	傷者		700	598	460	534	519	450	395	285	248	205
		指数	100	85	66	76	74	64	56	41	35	29
	全免許人口		1,321,188	1,322,334	1,310,410	1,305,412	1,306,025	1,308,015	1,308,583	1,307,658	1,303,412	1,298,162
		指数	100	100	99	99	99	99	99	99	99	98
初心運転者数			29,681	28,441	28,352	31,899	30,489	29,928	28,979	27,687	26,788	25,803
		指数	100	96	96	107	103	101	98	93	90	87
全事故に占める割合			4.6	4.2	3.7	4.3	4.5	4.5	4.6	3.9	3.6	3.6

(2)　車種別

乗用車が146件で初心運転者事故の89.0パーセントを占め、普通乗用車の占める割合が45.7パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、軽二輪車が75.0パーセントと高くなっている。



（単位：件・%）

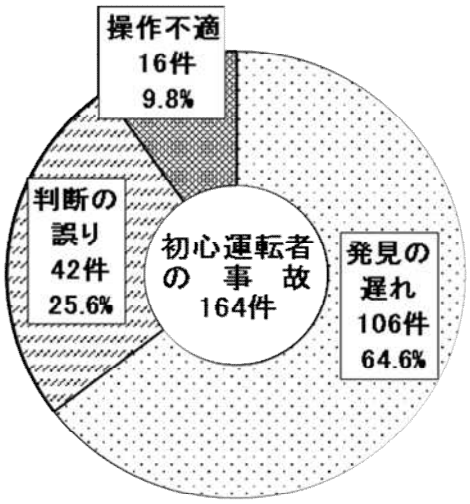
車　種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合
大型・中型・準中乗用車	0	0.0
普通乗用車	75	3.3
軽乗用車	71	5.1
普通貨物車	7	3.3
軽貨物車	5	1.5
大型・中型・準中貨物車	0	0.0
特殊車	0	0.0
小型二輪車	2	16.7
軽二輪車	3	75.0
二種原付	0	0.0
原付	1	11.1

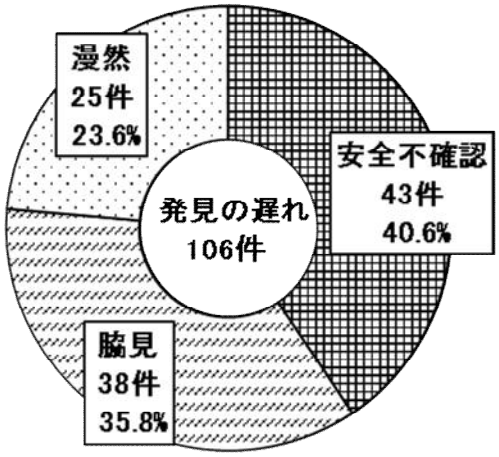
0.0　10.0　20.0　30.0　40.0　50.0　60.0　70.0　80.0(%)

(3)　人的原因

発見の遅れが106件で最も多く、初心運転者事故の64.6パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が43件と最多で、脇見が38件で続いている。





(4)　違反別

前方不注意が44件で初心運転者事故の26.8パーセントを占め最も多く、次いで動静不注視の29件となっている。

悪質違反は35件で同事故の21.3パーセントを占め、うち信号無視が12件で最も多く、次いで一時不停止の11件となっている。両違反を合わせると23件となり、悪質違反の65.7パーセントを占めている。

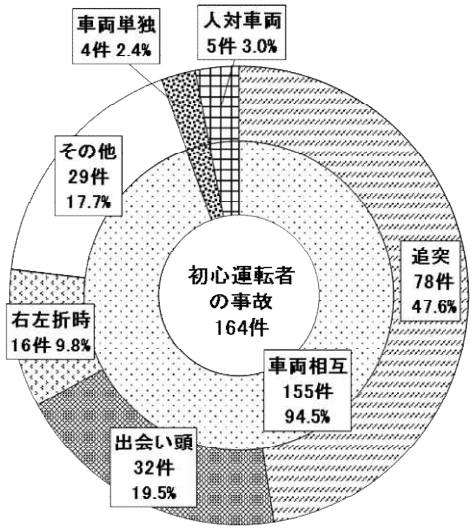
（単位：件・%）

違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	12	7.3
	最高速度		0.0
	通区・追越	10	6.1
	歩行者妨害等	2	1.2
	一時不停止	11	6.7
	酒酔い運転		0.0
	計	35	21.3
横断禁止等		3	1.8
車間距離不保持			0.0
進路変更禁止		1	0.6
右・左折違反		1	0.6
優先通行妨害等		15	9.1
交差点安全進行		5	3.0
徐行違反			0.0
過労運転			0.0
安全運転義務違反	ハンドル操作	3	1.8
	ブレーキ操作	12	7.3
	前方不注意	44	26.8
	動静不注視	29	17.7
	安全不確認	12	7.3
	安全速度	1	0.6
	予測不適		0.0
	その他	2	1.2
	計	103	62.8
その他		1	0.6
合計		164	100.0

(5)　事故類型別

車両相互の事故が155件で初心運転者事故の94.5パーセントを占めている。

その中でも追突が78件と多く、次いで出会い頭が32件と続いており、両事故で67.1パーセントを占めている。



(6)　通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く105件で初心運転者事故の64.0パーセントを占め、年齢別では、25歳未満の事故が151件（92.1%）となっている。

（単位：件・%）

通行目的＼区分		件数	構成率(%)
業務	職業運転	1	0.6
	業務目的	9	5.5
通勤等	出勤	19	11.6
	退社	20	12.2
	通学	10	6.1
私用	観光・娯楽	8	4.9
	ドライブ	17	10.4
	散歩		0.0
	飲食	7	4.3
	買物	30	18.3
	訪問	8	4.9
	帰省	2	1.2
	その他	33	20.1
調査不能			0.0
合計		164	100.0

年齢別＼区分			件数	構成率(%)
年齢別	青年	16～19歳	124	75.6
		20～24歳	27	16.5
		計	151	92.1
	25～29歳		5	3.0
	30歳代		3	1.8
	40歳代		1	0.6
	50歳代		2	1.2
	60～64歳		1	0.6
	計		12	7.3
	高齢者	65～69歳	1	0.6
		70歳代		0.0
		80歳以上		0.0
		計	1	0.6
合計			164	100.0
（内数）高校生			1	0.6

10　飲酒運転の事故

(注)各表の○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

(1)　概況

第１当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

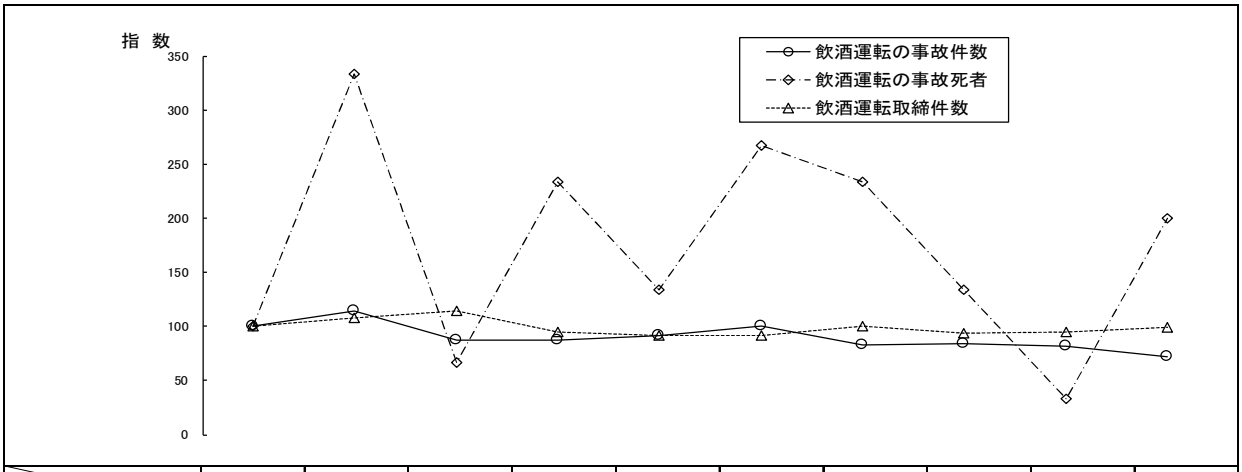
発生件数　　74件（前年比　　－10件　　11.9%減）　　うち酒酔い　７件　前年比－１件

死者数　　６人（前年比　　＋５人　　500.0%増）　　うち酒酔い　０人　前年同数

傷者数　　93人（前年比　　－19人　　17.0%減）　　うち酒酔い 11人　前年比－４人

で、発生件数、傷者数は減少したが死者数は増加した。

（単位：件・人・%）



区分＼年			平21	平22	平23	平25	平25	平26	平27	平28	平29	平30
飲酒運転の事故	件数		103	118	90	90	94	103	85	87	84	74
		指数	100	115	87	87	91	100	83	84	82	72
	死者		3	10	2	7	4	8	7	4	1	6
		指数	100	333	67	233	133	267	233	133	33	200
	傷者		138	143	121	139	129	132	109	116	112	93
	酒酔い運転（内数）	件数	13	20	13	9	12	13	9	10	8	7
		死者	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0
		傷者	16	22	13	11	21	22	11	12	15	11
全事故に占める割合(%)		件数	0.9	1.1	0.9	0.9	1.1	1.3	1.2	1.5	1.5	1.6
		死者	3.0	8.9	2.1	7.9	5.1	9.2	9.1	4.4	1.5	8.0
		傷者	1.0	1.1	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.6	1.7	1.7
取締り件数	酒酔い		57	69	56	41	35	47	49	46	36	26
	酒気帯び		395	418	462	390	379	367	405	377	394	423
	合計		452	487	518	431	414	414	454	423	430	449
		指数	100	108	115	95	92	92	100	94	95	99

(2)　月別

飲酒運転が最も多いのは10月と12月の各10件で、次いで４月の９件となっている。

（単位：件・人）

区分＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	① 4	① 8	6	9	① 4	① 4	3	5	① 6	① 10	① 5	10	⑦ 74
全事故に占める割合	0.9	2.0	1.7	2.2	1.0	1.3	0.9	1.4	1.8	2.3	1.4	2.2	1.6
死者			2	2				1				1	6
傷者	③ 6	① 9	7	13	② 6	① 4	3	4	① 7	① 14	② 10	10	⑪ 93

(3) 曜日・時間別

日曜日が26件と最も多く、次いで土曜日の15件の順となっている。

時間別では、６～８時が11件と多く、次に０～２時、２～４時が９件と多い。

（単位：件・％）

時間＼曜日	日		月		火		水		木		金		土		合計		全事故に占める割合
0 ～ 2	①	3				1		1				2		2	①	9	15.3
2 ～ 4		4						1		2				2		9	20.5
4 ～ 6		2		1								1	①	1	①	5	8.3
6 ～ 8		2		3		1	①	1		3				1	①	11	2.1
8 ～ 10		4		1				1						2		8	1.2
10 ～ 12		1						1						1		3	0.5
12 ～ 14																0	0.0
14 ～ 16		2		1				1		1				1		6	1.0
16 ～ 18	①	4										1		1	①	6	0.8
18 ～ 20		1				2	①	2							①	5	0.9
20 ～ 22		1						3				1	①	3	①	8	4.3
22 ～ 24		2				1							①	1	①	4	3.8
合計	②	26		6		5	②	11		6		5	③	15	⑦	74	1.6
全事故に占める割合		5.4		0.9		0.7		1.5		0.9		0.7		2.5		1.6	

(4) 発生地別

市部で65件発生し、飲酒運転の87.8パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市が多く、二市の合計は38件で、市部の58.5パーセントを占めている。

（単位：件・人）

区分＼発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	12	2	2	1	19	1	2		① 3		⑤ 19	2	2	① 9	⑦ 74
死者	1				1	1					1			2	6
傷者	14	2	2	2	26		3		① 3		⑨ 26	4	3	① 8	⑪ 93

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、国道が27件で飲酒運転の36.5パーセントを占めている。死者も国道が５人で飲酒運転の全死者の83.3パーセントを占めている。

（単位：件・人）

区分＼道路	国道 4号	6号	13号	49号	三桁	計	県道 主要地方道	一般県道	計	市町村道	その他	合計
件数	4	5	1	① 3	③ 14	④ 27	11	① 10	① 21	② 24	2	⑦ 74
死者	1			1	3	5			0	1		6
傷者	4	5	1	② 3	③ 13	⑤ 26	18	② 12	② 30	④ 34	3	⑪ 93

(6) 事故類型別

（単位：件・人）

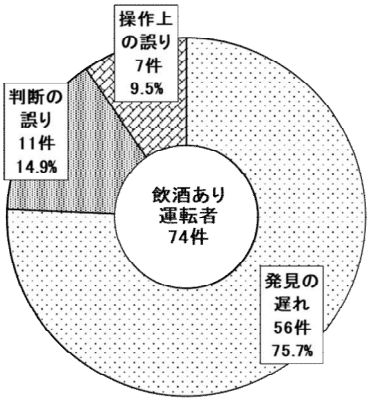
追突が最も多く、29件（39.2%）となっており、次いで正面衝突と出会い頭が13件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の９割を超える高い割合を占めている。

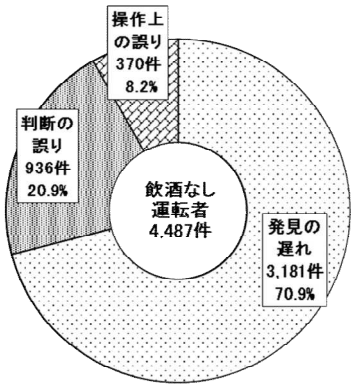
事故類型＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
人対車両	対面・背面歩行中		0.0			0.0
	横断中		0.0			0.0
	その他		0.0			0.0
	計	0	0.0	0	0	0.0
車両相互	正面衝突	② 13	17.6	2	③ 16	6.8
	追突	③ 29	39.2		⑥ 41	1.6
	出会い頭	13	17.6		16	1.2
	転回時		0.0			0.0
	右・左折時	3	4.1		6	0.7
	その他	① 9	12.2		① 11	2.6
	計	⑥ 67	90.5	2	⑩ 90	1.7
車両単独	工作物衝突	① 6	8.1	3	① 3	10.2
	路外逸脱	1	1.4	1		33.3
	駐車車両衝突		0.0			0.0
	転倒		0.0			0.0
	その他		0.0			0.0
	計	① 7	9.5	4	① 3	8.0
列車			0.0			0.0
合計		⑦ 74	100.0	6	⑪ 93	1.6

(7)　人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で4.8ポイント高くなっている。



※　当事者不明を除く



※　第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8)　飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「他に乗り物がなかった」が17件、次いで「酔いをさました」が10件と多く、両項目で飲酒運転事故の36.5パーセントを占めている。　（単位：件・人）

区分＼動機		他に乗り物がなかった	翌日の出勤に困る	少ししか飲まない	酔いをさました	車を置いていくのが不安	運転代行がなかった	深夜なので大丈夫と思った	交通量が少なかった	その他不明	合計	飲酒運転のうち 酒酔い運転	飲酒運転のうち 酒気帯び運転
件数		17	4	3	10	2	6	9	5	18	74	7	56
	構成率(%)	23.0	5.4	4.1	13.5	2.7	8.1	12.2	6.8	24.3	100.0	9.5	75.7
死者					2			1		3	6		4
傷者		24	5	6	11	3	6	9	7	22	93	11	69

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く27件で36.5パーセントを占めている。

飲酒場所は「キャバレー・スナック」が30件で40.5パーセントを占めている。　（単位：件・人）

飲酒場所＼飲酒理由		忘新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等とのつきあい	晩酌好き等	その他不明	合計	件数の構成率（%）
自宅	件数								20	2	22	29.7
	死者								1		1	
	傷者								24	2	26	
知人・友人宅	件数			1			1	2			4	5.4
	死者										0	
	傷者			2			2	2			6	
取引・勤務先	件数										0	0.0
	死者										0	
	傷者										0	
料理店・キャバレー・バー・スナック	件数	2	2			3		17	4	2	30	40.5
	死者							2			2	
	傷者	4	2			3		24	5	4	42	
その他の料理店	件数					2		1	1		4	5.4
	死者										0	
	傷者					2		1	1		4	
旅館・ホテル等の宿泊施設	件数					2				1	3	4.1
	死者					1					1	
	傷者					1				1	2	
ドライブイン・酒類販売店等	件数										0	0.0
	死者										0	
	傷者										0	
自動販売機付近	件数										0	0.0
	死者										0	
	傷者										0	
その他（不明）	件数			2		1			2	6	11	14.9
	死者					1				1	2	
	傷者			2					2	9	13	
合計	件数	2	2	3	0	8	1	20	27	11	74	100.0
	死者	0	0	0	0	2	0	2	1	1	6	
	傷者	4	2	4	0	6	2	27	32	16	93	
件数の構成率(%)		2.7	2.7	4.1	0.0	10.8	1.4	27.0	36.5	14.9	100.0	

11　無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

(1)　概況

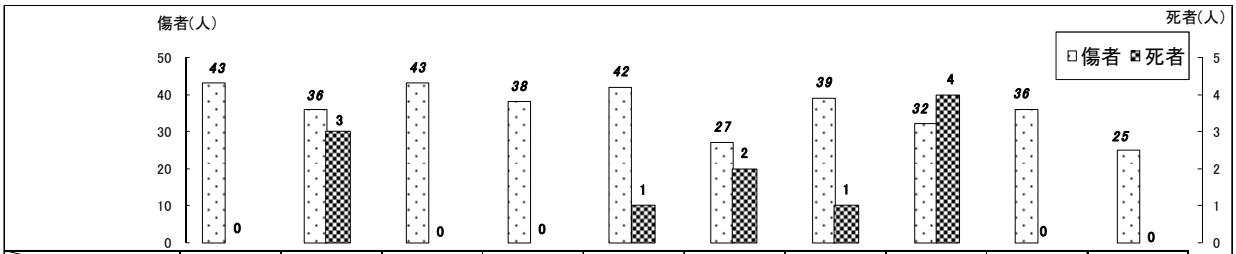
第１当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数　　19件（前年比　　－６件　　24.0%減）

死者数　　０人（前年比　　±０人　　増減なし）

傷者数　　25人（前年比　　－11人　　30.6%減）

で、死者は前年に引き続きなく、発生件数、傷者数は減少した。　　**（単位：件・人・%）**



区分＼年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数	36	33	33	23	29	23	30	26	25	19
全事故に占める割合	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
死者	0	3	0	0	1	2	1	4	0	0
全事故に占める割合	0.0	2.7	0.0	0.0	1.3	2.3	1.3	4.4	0.0	0.0
傷者	43	36	43	38	42	27	39	32	36	25
全事故に占める割合	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5	0.4	0.5	0.5

(2)　月別

無免許運転が最も多いのは、９月の５件、次いで４月、８月、11月の３件となっている。

（単位：件・人）

区分＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数			2	3		2		3	5		3	1	19
死者													0
傷者			4	4		2		4	7		3	1	25

(3)　発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、最も多いいわき市は、無免許運転事故の42.1パーセントを占めている。　　**（単位：件・人）**

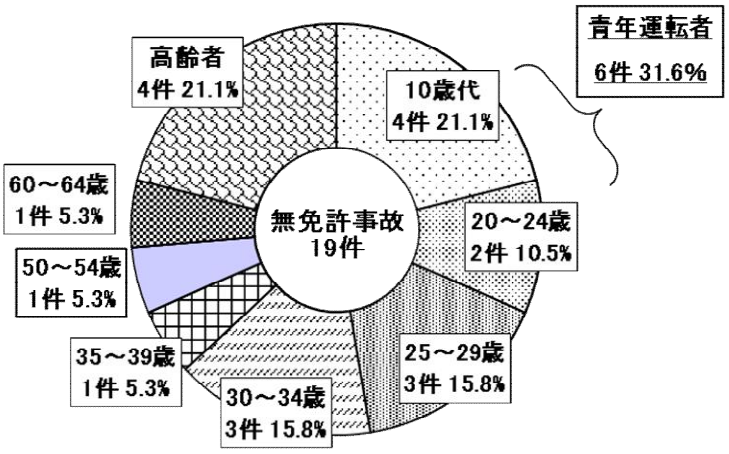
区分＼発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	2			4			1		4		8				19
死者															0
傷者	3			4			2		5		11				25

(4) 年齢別

青年運転者が６件で31.6パーセントを占め、次いで高齢者が４件と続いている。

（単位：件）

区分 / 年齢		件数	区分 / 年齢	件数
10歳代	16歳未満	1	35 ～ 39 歳	1
	16 歳	1	40 ～ 44 歳	
	17 歳	2	45 ～ 49 歳	
	18 歳		50 ～ 54 歳	1
	19 歳		55 ～ 59 歳	
計		4	60 ～ 64 歳	1
20～24歳		2	高齢者	4
25～29歳		3	合計	19
30～34歳		3		



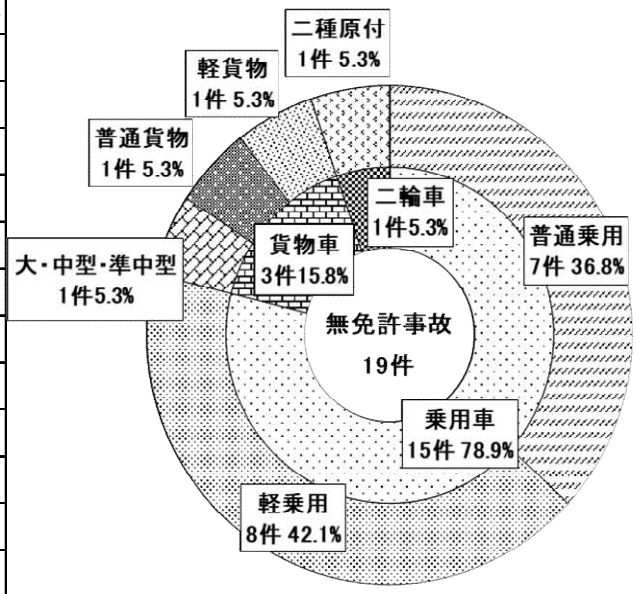
(5) 車種別

車種別では、軽乗用車の事故が８件、次いで普通乗用車の事故が７件の順となっており、両車種による事故の合計は15件となり、全体の78.9パーセントを占めている。

（単位：件・％）

区分 / 車種		件数	構成率(%)	全事故	無免許の割合
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	17	0.0
	普通	7	36.8	2,303	0.3
	軽（ミニカーを含む）	8	42.1	1,394	0.6
	計	15	78.9	3,714	0.4
貨物車	大型・中型・準中型	1	5.3	237	0.4
	普通	1	5.3	211	0.5
	軽	1	5.3	342	0.3
	計	3	15.8	790	0.4
特殊車（大型・小型）			0.0	4	0.0
二輪車	小型二輪		0.0	12	0.0
	軽二輪		0.0	4	0.0
	二種原付	1	5.3	5	20.0
	原付		0.0	9	0.0
	計	1	5.3	30	3.3
合計		19	100.0	4,538	0.4

＊全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など54件を除く



(6) 職業別

建設業が７件（36.8%）と多く、次いで無職が６件となっている。

（単位：件）

区分＼職業		職業運転手	官公署	農林漁業	建設業	製造業	卸小売業	運輸業	サービス業	主婦	無職	その他	合計
件数					7		1		4		6	1	19
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	36.8	0.0	5.3	0.0	21.1	0.0	31.6	5.3	100

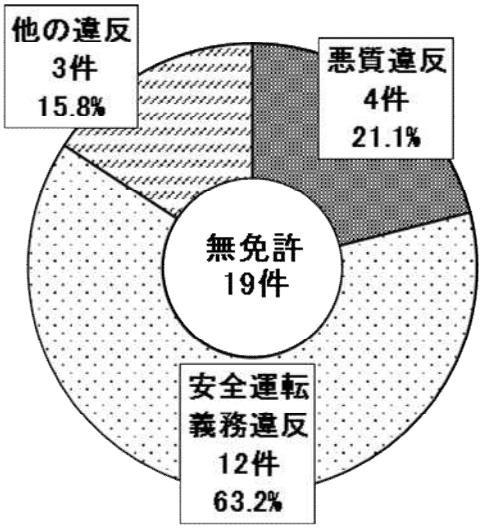
(7) 違反別・原因別

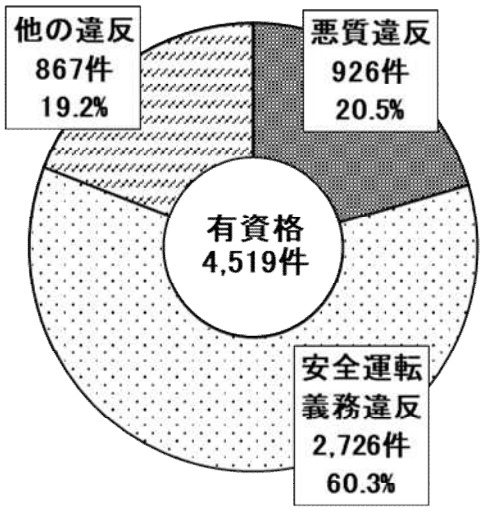
前方不注意、動静不注視が最も多く各４件（各21.1%）、安全運転義務違反は12件で無免許運転全体の63.2%を占めている。

有資格者と無免許における悪質違反による事故の構成率は、それぞれ20.7%、21.1%とほぼ同じ割合となっている。

（単位：件）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	過労運転			0.0
	最高速度	1	5.3	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	5.3
	通区・追越	1	5.3		前方不注意	4	21.1
	歩行者妨害等	1	5.3		動静不注視	4	21.1
	一時不停止	1	5.3		安全不確認	3	15.8
	酒酔い運転		0.0		安全速度		0.0
計		4	21.1		その他		0.0
車間距離不保持			0.0	計		12	63.2
優先通行妨害等		1	5.3	その他		1	5.3
交差点安全進行		1	5.3	合計		19	100.0
左折違反			0.0	飲酒運転（内数）			0.0





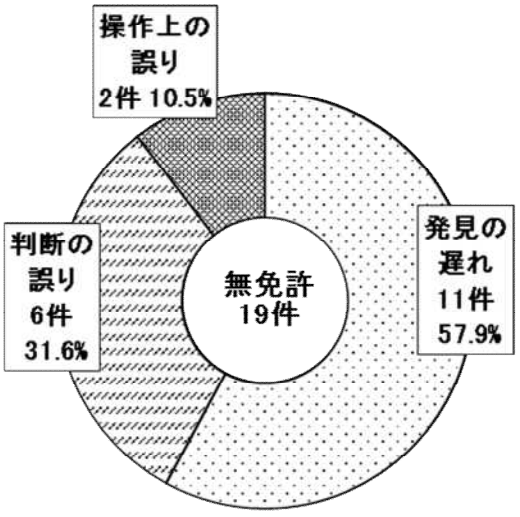
(8)　人的原因別

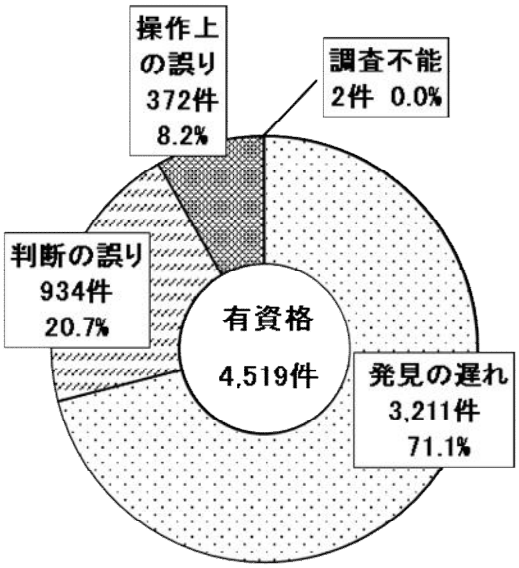
発見の遅れが11件で、無免許運転事故の57.9パーセントを占め最も多い。安全不確認が６件、前方不注意が５件となっている。

（単位：件）

人的原因	件数
合計	19
発見の遅れ 計	11
前方不注意 計	5
内在的（漫然等） 計	1
居眠り運転	
ラジオ・ステレオを聴いていた	
雑談や携帯電話等で話していた	
その他、考え事等の漫然運転	1
外在的（脇見等） 計	4
物を落とした、物を取ろうとした	
同乗者、同乗の動物等に脇見	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	1
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	1
雑誌、地図帳等を見ていた	
道、案内標識等を探して脇見	
風景、地物等に脇見	
他の車、歩行者に脇見	
バックミラーやドアミラーを見ていた	
その他脇見	2
安全不確認 計	6
安全確認をしなかった	2
安全確認が不十分だった	4
判断の誤り等 計	6
動静不注視 計	5
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	
他の危険を避けようとして注視を怠った	
危険性がないとして注視を怠った	5
予測不適 計	1
運転感覚（速度、車幅、距離等）を誤った	
相手がルールを守ると思った	
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
他の事故（危険）を避けようと思った	
その他相手の行動予見等の判断を誤った	1
交通環境 計	0
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
道路環境（路面凍結や霧など）に対する認識を誤った	
交通規制に対する認識を誤った	
交通安全施設に対する認識を誤った	
障害物等に対する認識を誤った	
その他の交通環境に対する認識を誤った	
操作上の誤り（操作不適） 計	2
ブレーキとアクセルの踏み違い	
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	1
急ブレーキをかけた	
エンジン・ブレーキを使用しなかった	
ハンドルの操作不適	
ギヤの入れ違い	
ブレーキをかけながらハンドル操作	
オートスピードコントロール装置等の操作不適	
その他の操作不適	1
調査不能	

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では判断の誤りの構成率が10.9ポイント高くなっている。





12　二輪車の事故

(1)　二輪車による事故

ア　概況

二輪車が第１当事者になった事故は、

発生件数　　30件（前年比　　－12件　28.6%減）

死者数　　７人（前年比　　－２人　22.2%減）

傷者数　　33人（前年比　　－６人　15.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数とも小型二輪が多く、二輪車事故の40.0パーセントを占めている。

（単位：件・人）

区分／車種	本年 件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	増減数 件数	死者	傷者	増減率(%) 件数	死者	傷者
小型二輪	12	40.0	3	42.9	16	48.5	−9	−2	−5	−42.9	−40.0	−23.8
軽二輪	4	13.3	2	28.6	2	6.1	2	1	0	100.0	100.0	0.0
二種原付	5	16.7		0.0	7	21.2	2	0	4	66.7	−	133.3
原付	9	30.0	2	28.6	8	24.2	−7	−1	−5	−43.8	−33.3	−38.5
合計	30	100.0	7	100.0	33	100.0	−12	−2	−6	−28.6	−22.2	−15.4

死亡事故率をみると軽二輪が高くなっている。

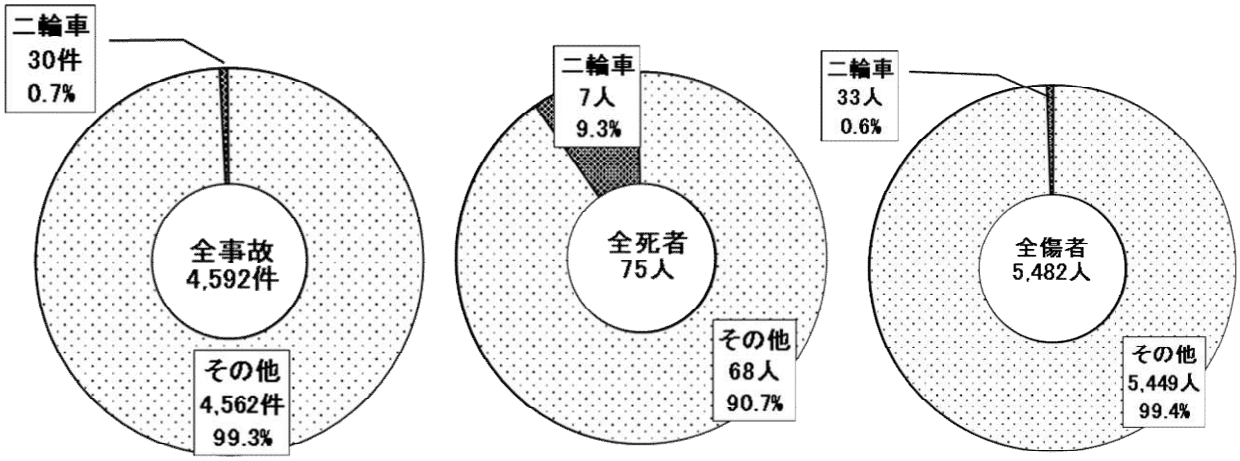
（単位：件・%）

区分＼車種	普通乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四輪その他	二輪車 小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	合計
車種別事故件数	2,303	1,394	237	211	342	21	12	4	5	9	30	4,538
死亡事故件数	24	19	7	2	11	1	3	2	0	2	7	71
死亡事故率	1.0	1.4	3.0	0.9	3.2	4.8	25.0	50.0	0.0	22.2	23.3	1.6

（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$\text{(注)死亡事故率} = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.7パーセントであるのに対し、死者の構成率は9.3パーセントと高くなっている。

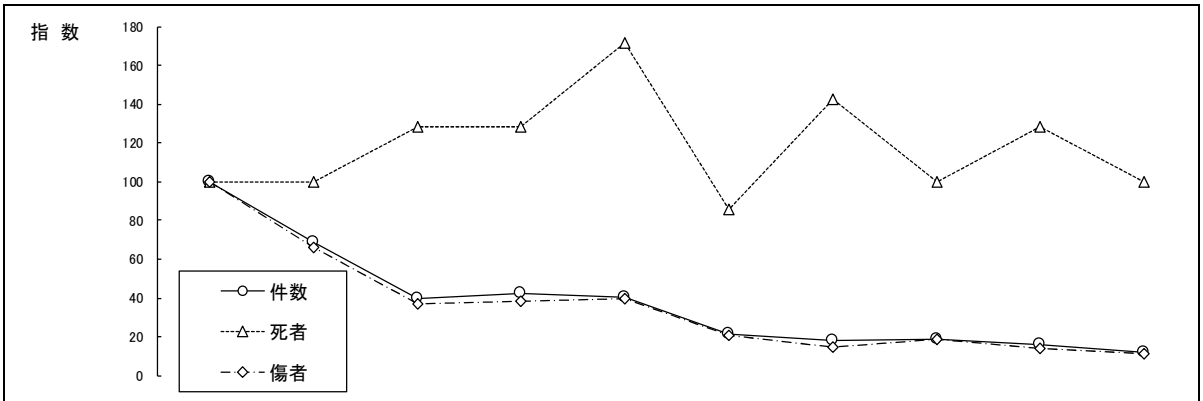


イ　年別推移

(ｱ) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は増減があるが、発生件数、傷者数は減少傾向である。

（単位：件・人）

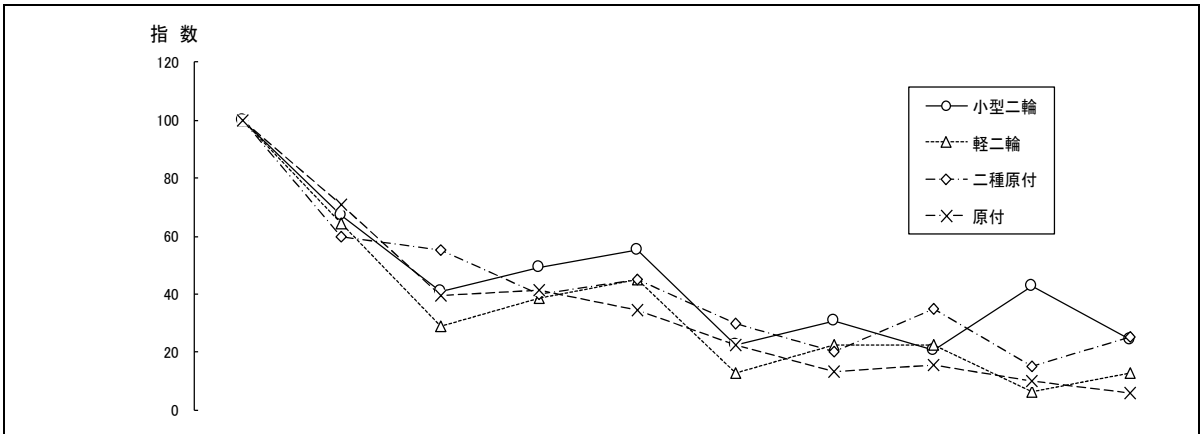


区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件	数	257	176	102	109	104	56	47	48	42	30
	指　数	100	68	40	42	40	22	18	19	16	12
死	者	7	7	9	9	12	6	10	7	9	7
	指　数	100	100	129	129	171	86	143	100	129	100
傷	者	285	189	105	109	114	59	41	53	39	33
	指　数	100	66	37	38	40	21	14	19	14	12

(ｲ) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向で推移している。

（単位：件）



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
小型二輪		49	33	20	24	27	11	15	10	21	12
	指　数	100	67	41	49	55	22	31	20	43	24
軽二輪		31	20	9	12	14	4	7	7	2	4
	指　数	100	65	29	39	45	13	23	23	6	13
二種原付		20	12	11	8	9	6	4	7	3	5
	指　数	100	60	55	40	45	30	20	35	15	25
原付		157	111	62	65	54	35	21	24	16	9
	指　数	100	71	39	41	34	22	13	15	10	6

ウ　年齢別

二輪車の事故は、青年運転者が８件（26.7%）と多く、次いで高齢者が７件と多い。

（単位：件・%）

区分＼年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故	1	1	174	451	627	363	690	732	707	355	1,064	4,538
構成率(%)	0.0	0.0	3.8	9.9	13.8	8.0	15.2	16.1	15.6	7.8	23.4	100.0
二輪車事故	1		4	3	8		3	6	5	1	7	30
構成率(%)	3.3	0.0	13.3	10.0	26.7	0.0	10.0	20.0	16.7	3.3	23.3	100.0
全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	2.3	0.7	1.3	0.0	0.4	0.8	0.7	0.3	0.7	0.7

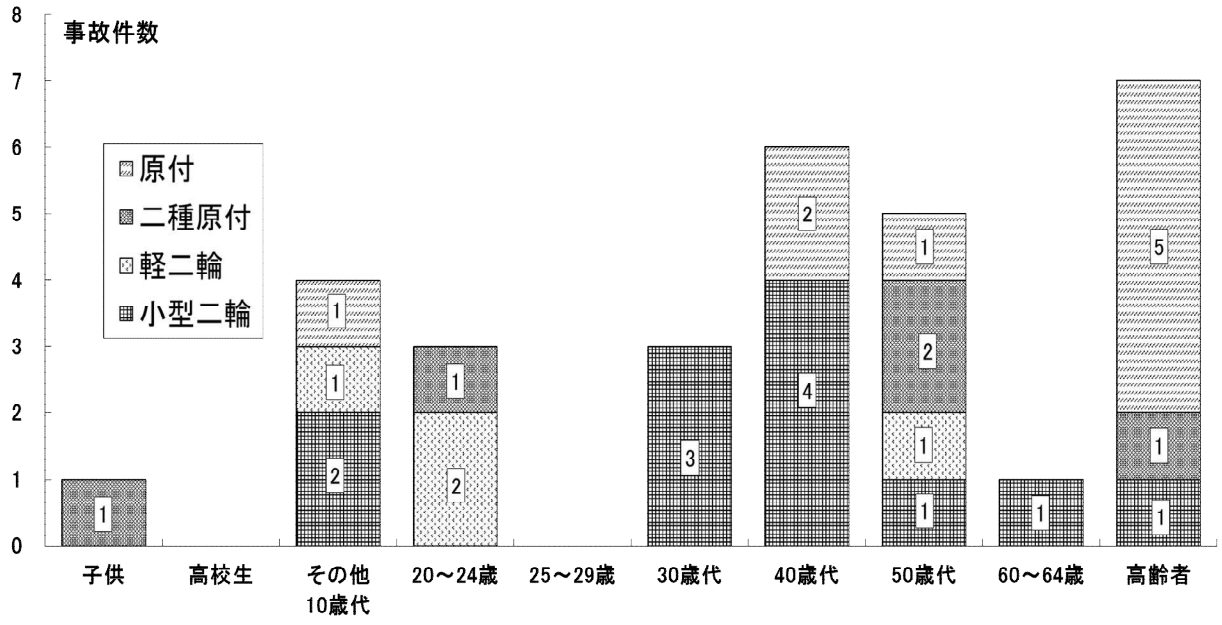
＊軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ　年齢別・車種別

軽二輪の年齢別構成率では、青年運転者が75.0パーセントを占め、原付の年齢別構成率では、高齢者が55.6パーセントを占めている。

（単位：件）

区分＼年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪			2		2		3	4	1	1	1	12
構成率(%)	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	25.0	33.3	8.3	8.3	8.3	100.0
軽二輪			1	2	3				1			4
構成率(%)	0.0	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0
二種原付	1			1	2				2		1	5
構成率(%)	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	100.0
原付			1		1			2	1		5	9
構成率(%)	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	55.6	100.0



オ　車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は63.3パーセントを占めている。

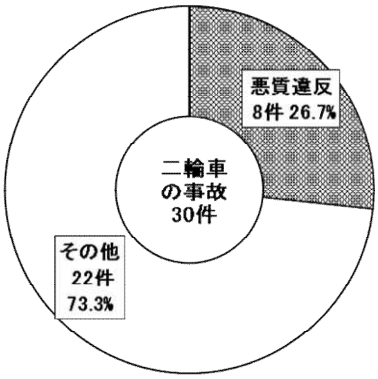
（単位：件）

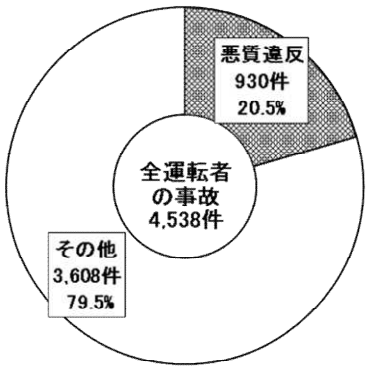
経験年数＼車種	小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)	合計	構成率(%)
1年未満	2	16.7	3	75.0		0.0	1	11.1	6	20.0
1～2年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
2～3年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
3～4年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
4～5年	2	16.7		0.0		0.0		0.0	2	6.7
10年未満		0.0		0.0	1	20.0	1	11.1	2	6.7
10年以上	8	66.7	1	25.0	3	60.0	7	77.8	19	63.3
無免許		0.0		0.0	1	20.0		0.0	1	3.3
合計	12	100.0	4	100.0	5	100.0	9	100.0	30	100.0

カ　車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、26.7パーセントとなっており、全運転者の事故と比較して6.2ポイント高くなっている。

車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、軽二輪で50.0パーセントとなっている。

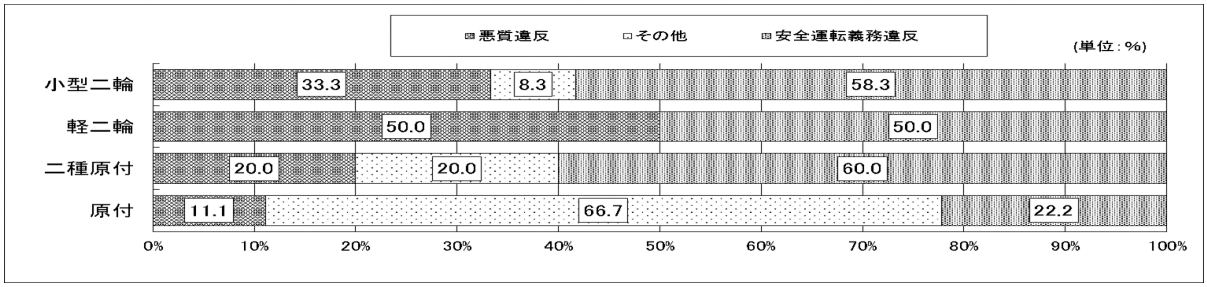




二輪車の車種別違反割合では、原付以外で安全運転義務違反が高くなっている。

（単位：件）

違反＼車種		小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)	合計	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	1	25.0		0.0		0.0	1	3.3
	最高速度	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	3.3
	通区・追越	2	16.7	1	25.0	1	20.0		0.0	4	13.3
	歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	一時不停止	1	8.3		0.0		0.0	1	11.1	2	6.7
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	計	4	33.3	2	50.0	1	20.0	1	11.1	8	26.7
横断禁止等			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
右・左折違反			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優先通行妨害等			0.0		0.0	1	20.0	4	44.4	5	16.7
交差点安全進行			0.0		0.0		0.0	2	22.2	2	6.7
徐行違反			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	8.3	1	25.0		0.0		0.0	2	6.7
	前方不注意	1	8.3	1	25.0	1	20.0		0.0	3	10.0
	動静不注視	1	8.3		0.0		0.0	2	22.2	3	10.0
	安全不確認		0.0		0.0	2	40.0		0.0	2	6.7
	安全速度	2	16.7		0.0		0.0		0.0	2	6.7
	その他	2	16.7		0.0		0.0		0.0	2	6.7
	計	7	58.3	2	50.0	3	60.0	2	22.2	14	46.7
その他		1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	3.3
合計		12	100.0	4	100.0	5	100.0	9	100.0	30	100.0



キ　車種別・事故類型別

（単位：件・％）

類型＼車種		全事故	構成率(%)	二輪合計	構成率(%)	小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)
人対車両	横断中	347	7.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	対面・背面	64	1.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	136	3.0	2	6.7	1	8.3		0.0	1	20.0		0.0
	計	547	11.9	2	6.7	1	8.3	0	0.0	1	20.0	0	0.0
車両相互	正面衝突	191	4.2	3	10.0	1	8.3	1	25.0	1	20.0		0.0
	追突 進行中	219	4.8	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	追突 駐・停止中	1,627	35.4	5	16.7	3	25.0	1	25.0		0.0	1	11.1
	出会い頭	1,129	24.6	12	40.0	1	8.3	1	25.0	2	40.0	8	88.9
	追越・追抜	39	0.8	1	3.3	1	8.3		0.0		0.0		0.0
	右折時	322	7.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左折時	109	2.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	320	7.0	2	6.7	2	16.7		0.0		0.0		0.0
	計	3,956	86.1	23	76.7	8	66.7	3	75.0	3	60.0	9	100.0
車両単独	工作物衝突	59	1.3	4	13.3	2	16.7	1	25.0	1	20.0		0.0
	路外逸脱	3	0.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	転倒	2	0.0	1	3.3	1	8.3		0.0		0.0		0.0
	駐車車両衝突	13	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	11	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	計	88	1.9	5	16.7	3	25.0	1	25.0	1	20.0	0	0.0
踏切		1	0.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
合計		4,592	100.0	30	100.0	12	100.0	4	100.0	5	100.0	9	100.0

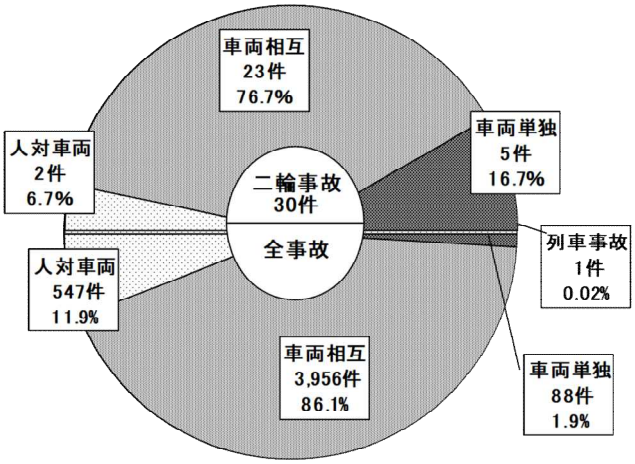
全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、

・人対車両・・・・ 5.2ポイント低い

・車両相互・・・・ 9.4ポイント低い

・車両単独・・・・14.8ポイント高い

特に車両単独では、工作物衝突が高い等の特徴がみられる。



ク　昼夜別・道路別

二輪車事故の86.7パーセント（26件）が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が13件と最も多く43.3パーセントを占める。

夜間の発生は国道と県道のみで発生（４件）している。

（単位：件・％）

昼夜＼道		国道 4号	6号	13号	49号	三桁	計	県道 主要	一般県道	計	市町村道	高速道	その他	合計
昼間			1		1	4	6	3	2	5	13	1	1	26
	構成率(%)	0.0	3.8	0.0	3.8	15.4	23.1	11.5	7.7	19.2	50.0	3.8	3.8	100.0
夜間		1			1	1	3		1	1				4
	構成率(%)	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
薄暮(内数)							0			0	2			2
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
合計		1	1	0	2	5	9	3	3	6	13	1	1	30
	構成率(%)	3.3	3.3	0.0	6.7	16.7	30.0	10.0	10.0	20.0	43.3	3.3	3.3	100.0

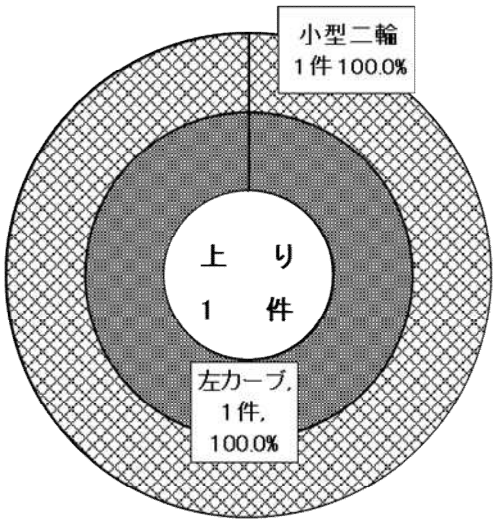
ケ　道路線形別

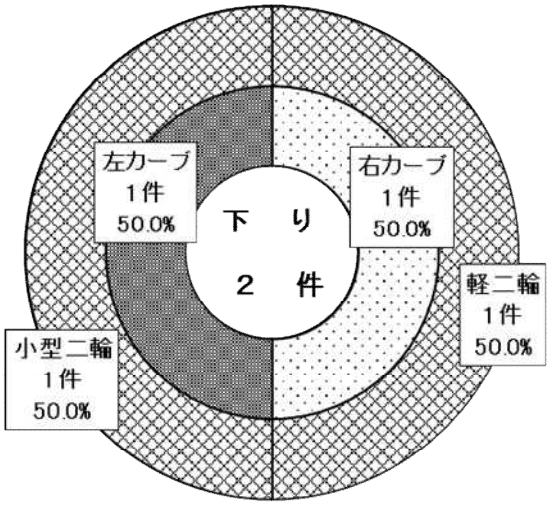
全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが3.4パーセント、左カーブが10.3パーセントを占めている。

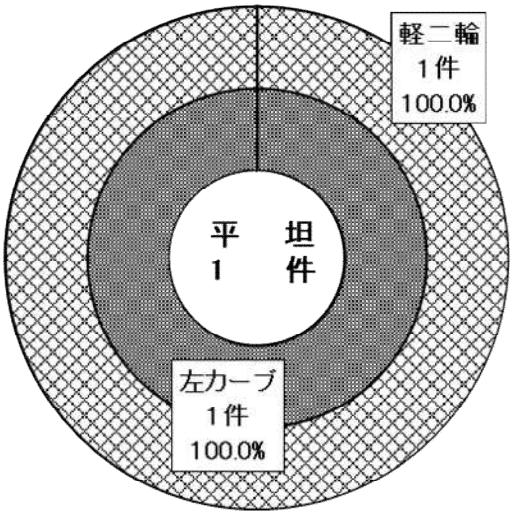
（単位：件）

線形＼車種		全事故	構成率(%)	二輪合計	構成率(%)	小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)
上り	右カーブ	16	0.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	22	0.5	1	3.4	1	8.3		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	22	0.5	1	3.4		0.0	1	25.0		0.0		0.0
	左カーブ	36	0.8	1	3.4	1	8.3		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	71	1.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	98	2.3	1	3.4		0.0	1	25.0		0.0		0.0
直線	上り	99	2.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	下り	161	3.7	5	17.2	3	25.0		0.0	1	25.0	1	11.1
	平坦	3,783	87.8	20	69.0	7	58.3	2	50.0	3	75.0	8	88.9
合計	右カーブ	109	2.5	1	3.4	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
	左カーブ	156	3.6	3	10.3	2	16.7	1	25.0	0	0.0	0	0.0
＊一般交通の場所（駐車場等）は除く。													
全事故件数		4,308	100	29	100	12	100	4	100	4	100	9	100

＊全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。







(2)　二輪車の死傷者

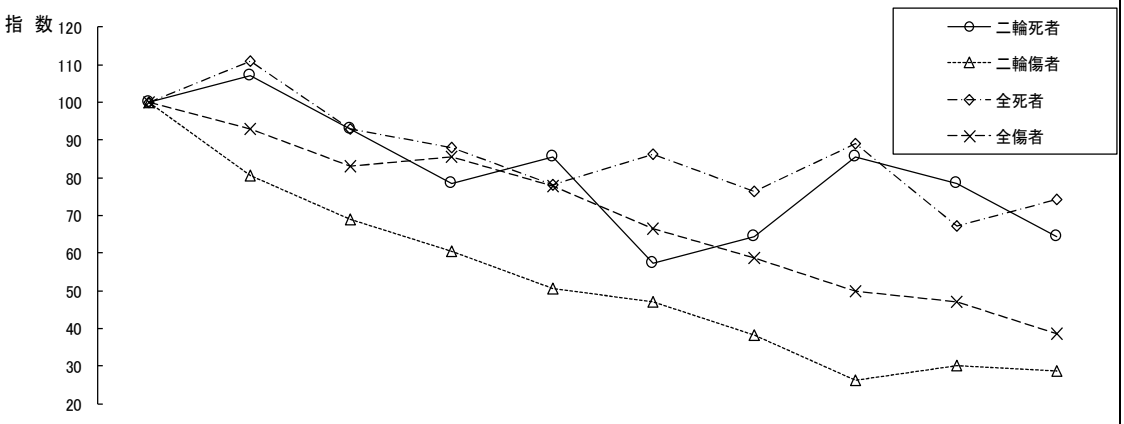
ア　概況

二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数　　９人（前年比　　－２人　　18.2%減）

傷者数　　188人（前年比　　－11人　　5.5%減）

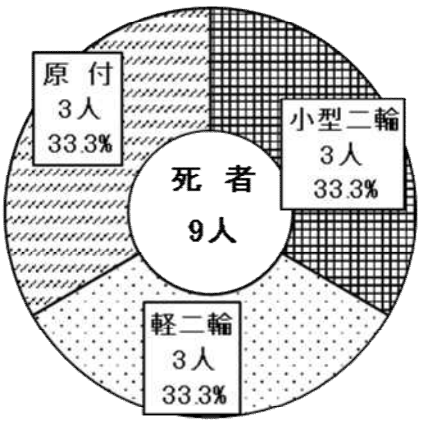
で、死者数、傷者数ともに減少した。　　（単位：人）

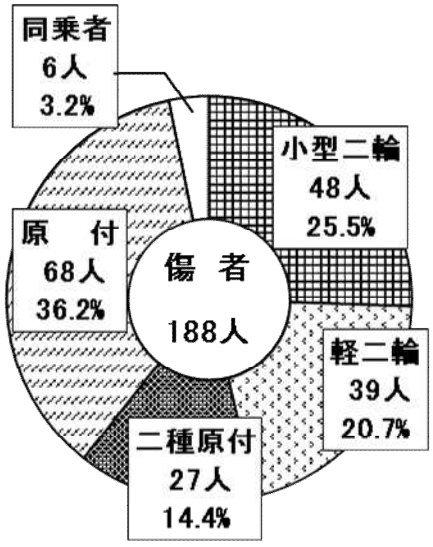


区分＼年			平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
二輪車の事故	死者		14	15	13	11	12	8	9	12	11	9
		指数	100	107	93	79	86	57	64	86	79	64
	傷者		659	532	455	398	334	311	251	172	199	188
		指数	100	81	69	60	51	47	38	26	30	29
全被害	死者		101	112	94	89	79	87	77	90	68	75
		指数	100	111	93	88	78	86	76	89	67	74
	傷者		14,242	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482
		指数	100	93	83	86	78	66	59	50	47	38

イ　車種別

車種別にみると、死者は小型二輪、軽二輪、原付がそれぞれ３人で、傷者は原付が多く36.2パーセントを占めている。





ウ　年齢別

年齢別にみると、死者は高齢者が４人で44.4パーセントを占め、傷者も高齢者が38人で20.2パーセントを占めている。　（単位：人）

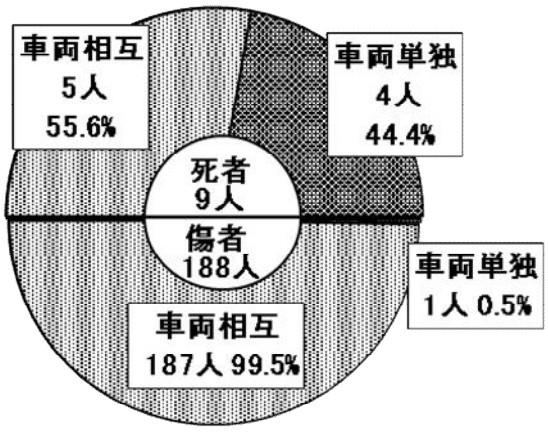
車種＼年齢		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
二輪車計	死者	1	1	0	1	0	1	1	4	9
	構成率(%)	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4	100
	傷者	15	20	14	25	31	33	12	38	188
	構成率(%)	8.0	10.6	7.4	13.3	16.5	17.6	6.4	20.2	100.0
小型二	死者				1			1	1	3
	傷者	5	5	3	7	15	10	2	1	48
軽二輪	死者	1	1				1			3
	傷者	3	8	3	4	8	9	2	2	39
二種原	死者									0
	傷者	1	1	2	6	2	7	6	2	27
原付	死者								3	3
	傷者	2	6	6	7	5	7	2	33	68
同乗者	死者									0
	傷者	4			1	1				6

エ　事故類型別・道路形状別

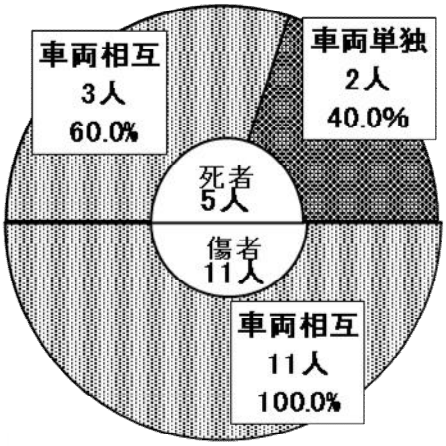
全二輪事故では、死者、傷者ともに車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折でも、死者、傷者ともに車両相互によるものが多い。

全　二　輪



カーブ・屈折



オ　ヘルメット着用状況

自動二輪と原付の着用率はほぼ変わらず、約99パーセントとなっている。　（単位：人）

区分＼車種	死者			傷者			合計		
		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪	6	6	100.0	120	119	99.2	126	125	99.2
原付	3	3	100.0	68	67	98.5	71	70	98.6
合計	9	9	100.0	188	186	98.9	197	195	99.0

13　タクシーの事故

(1)　概況

タクシーが第１当事者となった事故は、

発生件数　　42件（前年比　　－13人　　23.6%減）

死者数　　０人（前年比　　－１人　100.0%減）

傷者数　　51人（前年比　　－10人　　16.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

タクシーが第２当事者になった事故は、

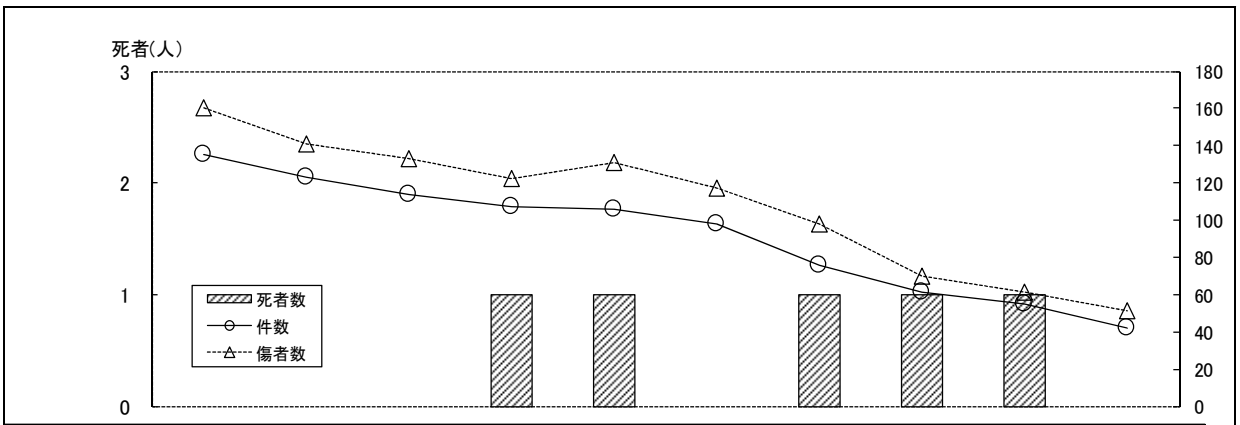
発生件数　　33件（前年比　　－11件　　25.0%減）

死者数　　０人（前年比　　±０人）

傷者数　　39人（前年比　　－６人　　13.3%減）

で、死者数は同数で発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件・人）



区分＼年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数	135	123	114	107	106	98	76	61	55	42
指数	100	91	84	79	79	73	56	45	41	31
死者数	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0
傷者数	160	141	133	122	131	117	98	70	61	51

(2)　月別

１月が８件と最も多く、次いで12月の６件の順となっている。

（単位：件・人）

区分＼年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	8	2	4	3	3	3	4	3	1	3	2	6	42
死者数													0
傷者数	10	2	4	3	3	3	5	4	1	6	2	8	51

(3) 年齢別

高齢者が23件で最も多く、タクシー事故の54.8パーセントを占めている。

(単位：件)

区分＼年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者（65歳以上）	合計
件数	1		2	1	8	7	23	42
構成率(%)	2.4	0.0	4.8	2.4	19.0	16.7	54.8	100.0

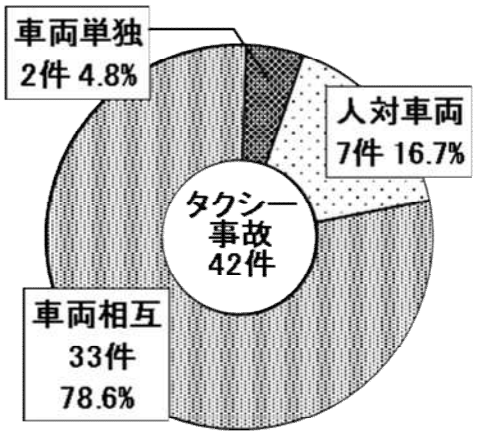
(4) 事故類型別

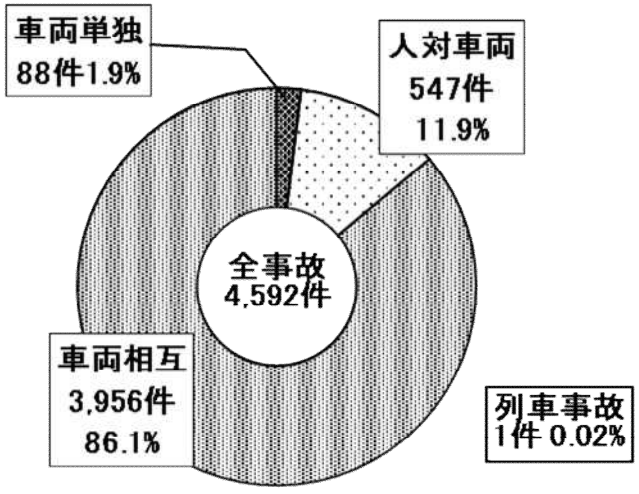
車両相互の事故が33件（78.6%）と最も多く、うち出会い頭が42.9パーセントと高い。

全事故と比較すると、人対車両と車両単独事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

類型＼区分	人対車両				車両相互							車両単独				合計
	通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他	計	
件数		6	1	7	3	8	18	1	3		33			2	2	42
構成率(%)	0.0	14.3	2.4	16.7	7.1	19.0	42.9	2.4	7.1	0.0	78.6	0.0	0.0	4.8	4.8	100





(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が16件と多く、38.1パーセントを占めている。

悪質違反は11件で26.2パーセントを占めている。

(単位：件)

違反＼区分	悪質違反							横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反						その他	合計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転	計						ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他	計		
件数	1		1	4	5		11	2	1	7	3	1	3	5	5	3		16	1	42
構成率(%)	2.4	0.0	2.4	9.5	11.9	0.0	26.2	4.8	2.4	16.7	7.1	2.4	7.1	11.9	11.9	7.1	0.0	38.1	2.4	100

14　バスの事故

(1)　概況

バスが第１当事者となった事故は、

発生件数　　７件（前年比　－３件　　30.0%減）

死者数　　０人（前年比　－１人　100.0%減）

傷者数　　10人（前年比　±０人）

で、傷者数は同数であったが、発生件数、死者数は減少した。

バスが第２当事者となった事故は、

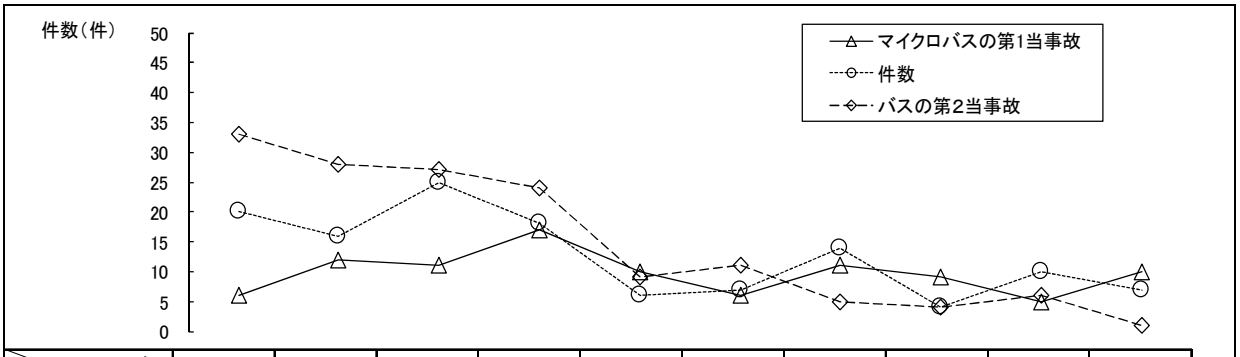
発生件数　　１件（前年比　－５件　　83.3%減）

死者数　　０人（前年比　±０人）

傷者数　　１人（前年比　－７人　　87.5%減）

で、死者数は同数であったが、発生件数、傷者数は減少した。

（単位：件）



区分＼年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数	20	16	25	18	6	7	14	4	10	7
指数	100	80	125	90	30	35	70	20	50	35
バスが第2当事者となった事故	33	28	27	24	9	11	5	4	6	1
マイクロバスが第1当事者となった事故	6	12	11	17	10	6	11	9	5	10

※　バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第１当事者となった事故

発生件数　　10件（前年比　　＋５件　100.0%増）

死者数　　０人（前年比　　±０人）

傷者数　　11人（前年比　　＋４人　　57.1%増）

マイクロバスが第２当事者となった事故

発生件数　　６件（前年比　　＋２件　　50.0%増）

死者数　　０人（前年比　　－１人　100.0%減）

傷者数　　14人（前年比　　－14人　　50.0%減）

(2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、９月の２件が最も多かった。

第２当事者になった事故は４月に１件発生した。

（単位：件・人）

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一当事者	件数		1	1		1				2		1	1	7
	死者数													0
	傷者数		1	1		2				3		1	2	10
第二当事者	件数				1									1
	死者数													0
	傷者数				1									1

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが４件、貸切バスが３件発生し、第２当事者になった事故は、路線バスが１件発生した。

（単位：件・人）

区分＼用途	第１当事者			計	第２当事者			計
	路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数	4	3		7	1			1
死者				0				0
傷者	5	5		10	1			1

(4) 年齢別

50歳代と60～64歳が第1当事者となった事故が各２件で最も多かった。

（単位：件）

区分＼年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者（65歳以上）	合計
第１当事者			1	1	2	2	1	7
第２当事者						1		1

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、国道が３件で最も多く42.9パーセントを占めている。

（単位：件）

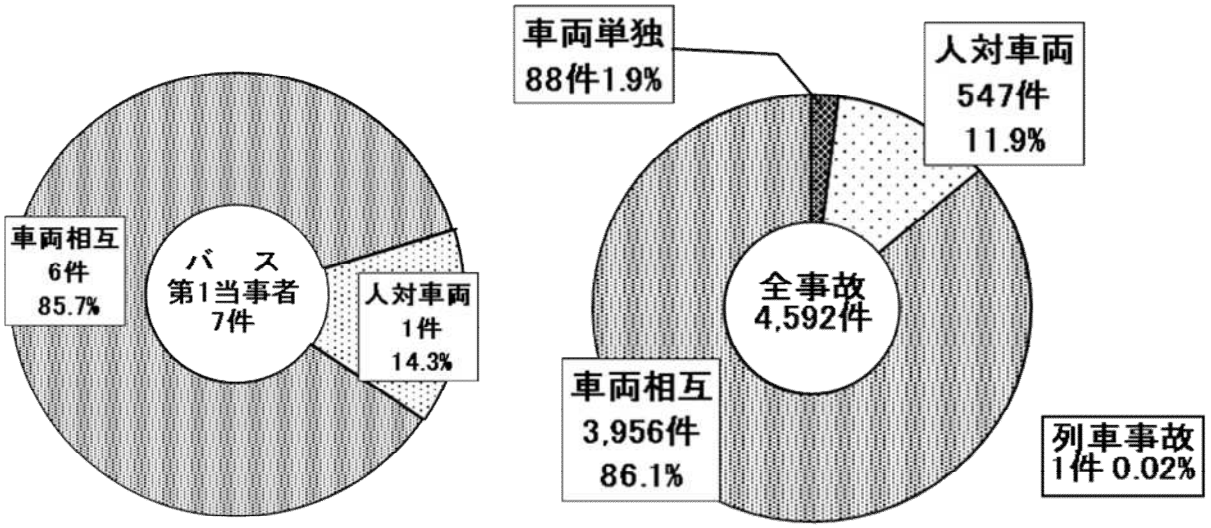
区分＼道路	国道					計	県道		計	市町村道	高速道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般県道					
第１当事者	1	2				3	1	1	2	2			7
第２当事者					1	1			0				1

(6)　事故類型別

全事故と比較すると、人対車両事故の割合が高い。

（単位：件）

区分＼類型	人対車両				車両相互							車両単独				合計
	通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他	計	
件数	1			1		2	2	1	1		6				0	7
構成率(%)	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100



(7)　違反別

安全運転義務違反が４件で57.1パーセントを占めている。

（単位：件）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	1	14.3	交差点安全進行			0.0
	最高速度		0.0	過労運転			0.0
	通区・追越		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		0.0
	歩行者妨害等		0.0		前方不注意	2	28.6
	一時不停止	1	14.3		動静不注視	1	14.3
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	1	14.3
	計	2	28.6		安全速度		0.0
横断禁止等		1	14.3		その他		0.0
車間距離不保持			0.0	反計		4	57.1
進路変更禁止			0.0	その他			0.0
右・左折			0.0	歩行者の違反			0.0
優先通行妨害等			0.0	合計		7	100

15　ダンプカーの事故

(1)　概況

ダンプカーが第１当事者になった事故は、

発生件数　　36件（前年比　　－５件　　12.2%減）

死者数　　０人（前年比　　－３人　　100.0%減）

傷者数　　46人（前年比　　±０人）

で、傷者数は同数であったが、発生件数、死者数は減少した。

ダンプカーが第２当事者になった事故は、

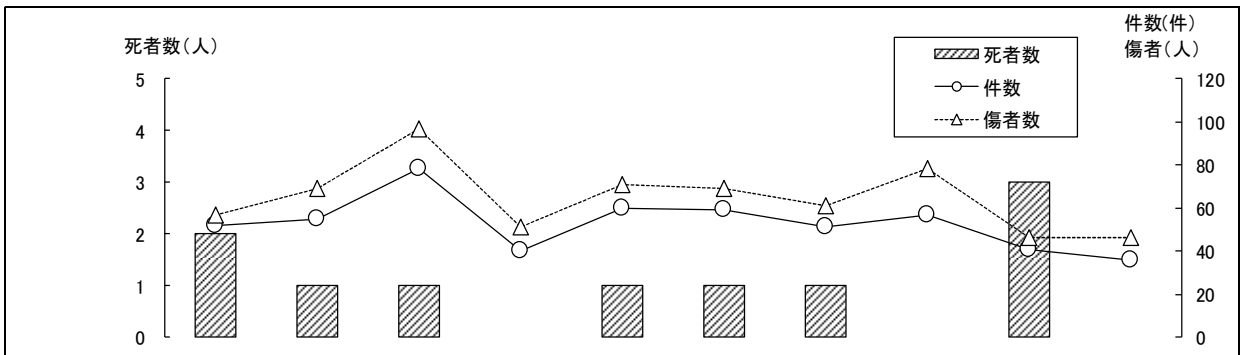
発生件数　　14件（前年比　　－６件　　30.0%減）

死者数　　２人（前年比　　－１人　　33.3%減）

傷者数　　15人（前年比　　－６人　　28.6%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

（単位：件・人）



区分＼年	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数	52	55	78	40	60	59	51	57	41	36
指数	100	106	150	77	115	113	98	110	79	69
死者数	2	1	1	0	1	1	1	0	3	0
傷者数	57	69	97	51	71	69	61	78	46	46

(2)　月別

２月が８件で最も多く、次いで12月の５件の順となっている。

（単位：件・人）

区分＼年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	2	8	2	4	1	3	3	2	4	1	1	5	36
死者数													0
傷者数	2	9	2	5	1	3	3	2	4	2	3	10	46

(3)　年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代が11件で最も多く、次いで60～64歳の７件となっている。また、免許経過年数では、10年以上が31件でダンプ事故の86.1パーセントを占めている。

（単位：件）

区分＼年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者（65歳以上）	合計
1年未満								0
1～2年			1					1
2～3年	1							1
3～4年								0
4～5年			1					1
10年未満		1		1				2
10年以上			2	10	6	7	6	31
無免許								0
合計	1	1	4	11	6	7	6	36

(4)　違反別

動静不注視が10件、前方不注意が６件でダンプ事故の44.4パーセントを占めている。

悪質違反は４件で、内訳は信号無視と歩行者妨害等が各２件となっている。

（単位：件）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	2	5.6	交差点安全進行		1	2.8
	最高速度		0.0	徐行違反			0.0
	通区・追越		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	4	11.1
	歩行者妨害等	2	5.6		前方不注意	6	16.7
	一時不停止		0.0		動静不注視	10	27.8
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	5	13.9
計		4	11.1		安全速度		0.0
横断禁止等			0.0		その他		0.0
車間距離不保持			0.0	反計		25	69.4
進路変更禁止			0.0	その他			0.0
右・左折		2	5.6	歩行者の違反			0.0
優先通行妨害等		4	11.1	合計		36	100.0

(5)　用途別

自家用ダンプの事故が多く、第１当事者では77.8パーセント、第２当事者では78.6パーセントを占めている。

（単位：件・人）

用途＼区分		件数	死者	傷者
第一当事者	事業用	8		10
	自家用	28		36
	合計	36	0	46

（単位：件・人）

用途＼区分		件数	死者	傷者
第二当事者	事業用	3	1	3
	自家用	11	1	12
	合計	14	2	15

16　安全運転管理者選任事業所の事故

(1)　概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

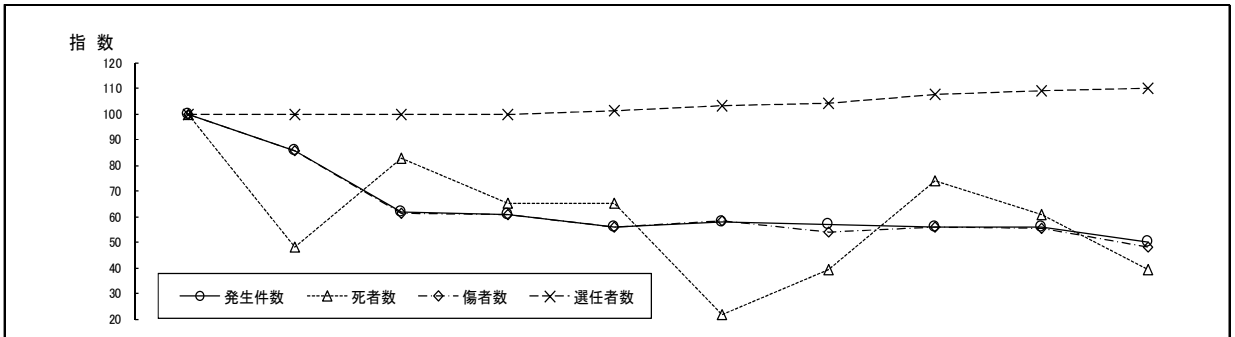
発生件数　　938件（前年比　－117件　　11.1%減）

死者数　　9人（前年比　－5人　　35.7%減）

傷者数　　1,112人（前年比　－160人　　12.6%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

（単位：件・人）



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数		1,885	1,614	1,163	1,149	1,053	1,094	1,072	1,057	1,055	938
	指数	100	86	62	61	56	58	57	56	56	50
死者		23	11	19	15	15	5	9	17	14	9
	指数	100	48	83	65	65	22	39	74	61	39
傷者		2,307	1,975	1,407	1,397	1,291	1,344	1,243	1,285	1,272	1,112
	指数	100	86	61	61	56	58	54	56	55	48
選任者数		8,418	8,416	8,386	8,398	8,501	8,693	8,782	9,052	9,195	9,253
	指数	100	100	100	100	101	103	104	108	109	110

（注）選任数は各年12月末の数値

(2)　県内に所在する安管の事故

業務外の事故が安管事業所事故の74.7パーセントを占めている。

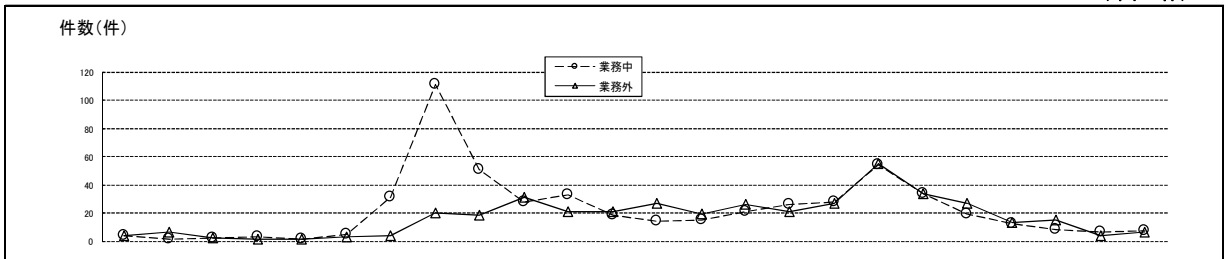
（単位：件・人）

通行目的＼区分		件数	割合（%）	死者	傷者
業務中		237	25.3	1	302
業務外		701	74.7	8	810
	通勤	295	31.4	2	341
	私用中	406	43.3	6	469
調査不能		0	0.0	0	0

ア　時間別

業務中、業務外ともに朝夕の通勤時間帯の発生が多い。

（単位:件）



区分＼時間	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	合計
業務中	4	1	2	3	1	5	31	111	51	28	33	18	14	15	21	26	28	54	34	19	12	8	6	7	532
業務外	4	6	2	1	1	3	4	20	18	31	21	21	27	19	26	21	27	55	34	27	13	15	4	6	406

イ　車種別・用途別

(ｱ) 車種別

業務中では、普通乗用車が253件47.6パーセント、次いで軽乗用車が130件で24.4パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車が247件と最も多く60.8パーセントを占めている。

（単位：件）

区分＼車種	乗用車			計	貨物車			計	特殊車	二輪車				計	合計
	大型中型	普通	軽		大型中型準中型	普通	軽			小型二輪	軽二輪	二種原付	原付		
業務中	3	253	130	386	40	64	40	144		1		1		2	532
構成率(%)	0.6	47.6	24.4	72.6	7.5	12.0	7.5	27.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	100
業務外	1	247	139	387	1	3	14	18		1				1	406
構成率(%)	0.2	60.8	34.2	95.3	0.2	0.7	3.4	4.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	100

(ｲ)　用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が496件で最も多く、業務中事故の93.2パーセントを占めている。

代行運転の事故は14件で、代行車が２件、随伴車（代行会社の車両）が12件となっている。

（単位：件）

区分＼車種	事業用	自家用					計	その他	合計
		レンタカー	スクールバス	代行運転		その他			
				代行	随伴				
業務中	17	5		2	12	496	515		532
構成率(%)	3.2	0.9	0.0	0.4	2.3	93.2	96.8	0.0	100
業務外		4				402	406		406
構成率(%)	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	99.0	100.0	0.0	100

ウ　事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で52.4パーセント、業務外で40.6パーセントを占めている。

（単位：件）

区分＼類型	人対車両			車両相互							車両単独				列車	合計
	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他	計		
業務中	42	9	51	13	279	106	14	42	18	472	6		3	9		532
構成率(%)	7.9	1.7	9.6	2.4	52.4	19.9	2.6	7.9	3.4	88.7	1.1	0.0	0.6	1.7	0.0	100
業務外	27	25	52	10	165	100	26	31	15	347	6			6	1	406
構成率(%)	6.7	6.2	12.8	2.5	40.6	24.6	6.4	7.6	3.7	85.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.2	100

エ　違反別

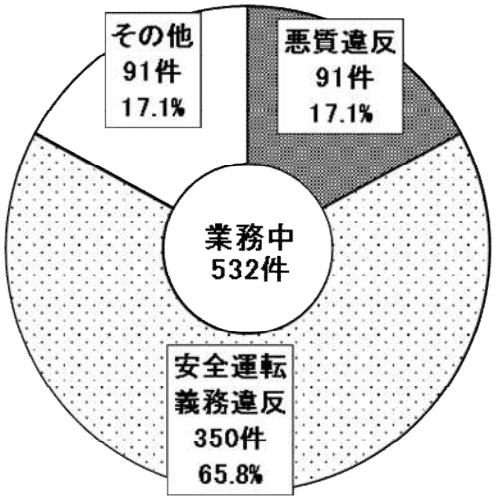
業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で65.8パーセント、業務外で61.8パーセントを占めている。

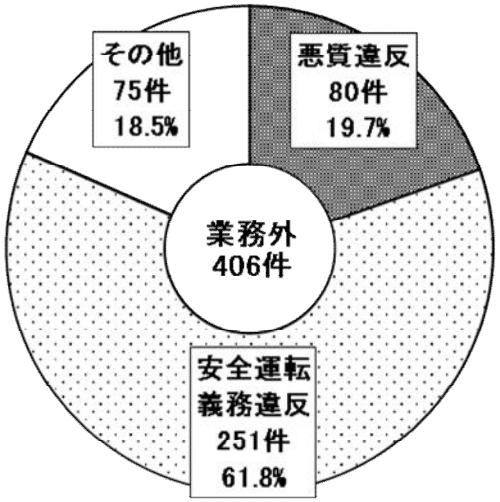
悪質違反では、業務中、業務外とも歩行者妨害等と一時不停止の占める割合が高い。

（単位：件）

違反＼区分		業務中	構成率(%)	業務外	構成率(%)
悪質違反	信号無視	19	3.6	20	4.9
	最高速度	1	0.2	2	0.5
	通区・追越	8	1.5	5	1.2
	歩行者妨害等	40	7.5	26	6.4
	一時不停止	23	4.3	26	6.4
	酒酔い運転		0.0	1	0.2
	計	91	17.1	80	19.7
横断禁止等		10	1.9	9	2.2
車間距離不保持			0.0	2	0.5
進路変更禁止		1	0.2	1	0.2
右・左折		4	0.8	3	0.7
優先通行妨害等		42	7.9	42	10.3
交差点安全進行		25	4.7	16	3.9

違反＼区分		業務中	構成率(%)	業務外	構成率(%)
徐行違反		5	0.9		0.0
過労運転		4	0.8	1	0.2
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	39	7.3	19	4.7
	前方不注意	137	25.8	98	24.1
	動静不注視	117	22.0	60	14.8
	安全不確認	47	8.8	65	16.0
	安全速度	8	1.5	8	2.0
	予測不適	1	0.2		0.0
	その他	1	0.2	1	0.2
	計	350	65.8	251	61.8
安全不確認ドア開放			0.0		0.0
その他			0.0	1	0.2
合計		532	100.0	406	100.0





オ　原因別

（単位：件）

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

原因＼区分	業務中	構成率(%)	業務外	構成率(%)
発見の遅れ	349	65.6	304	74.9
判断の誤り等	143	26.9	77	19.0
操作上の誤り	40	7.5	25	6.2
調査不能		0.0		0.0
合計	532	100	406	100

17　県外居住者の事故

(1)　概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

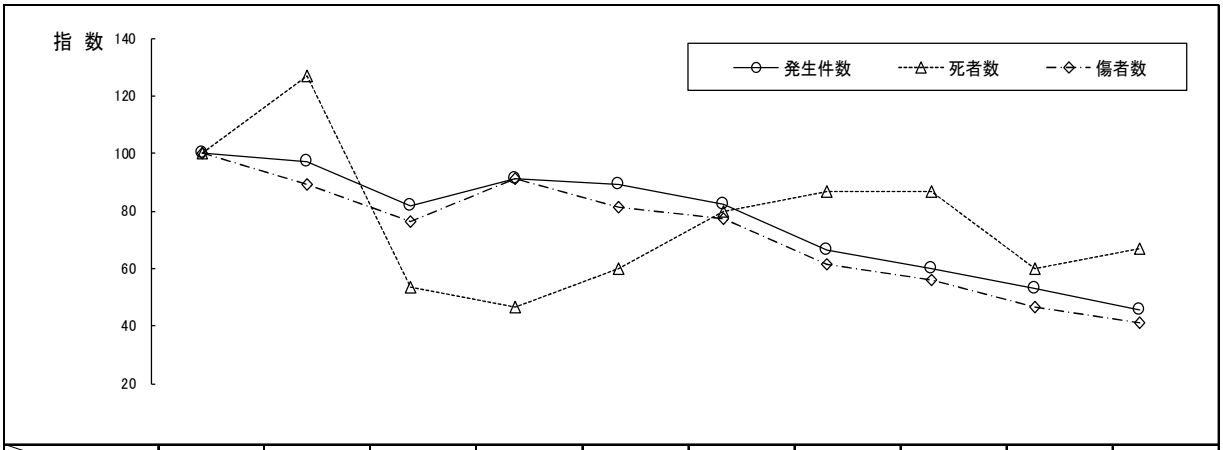
発生件数　　320件（前年比　　－54件　　14.4%減）

死者数　　10人（前年比　　＋１人　　11.1%増）

傷者数　　424人（前年比　　－59人　　12.2%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

（単位：件・人）



区分＼年		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
件数		703	682	574	641	626	579	466	421	374	320
	指数	100	97	82	91	89	82	66	60	53	46
死者		15	19	8	7	9	12	13	13	9	10
	指数	100	127	53	47	60	80	87	87	60	67
傷者		1,033	919	789	940	840	800	636	577	483	424
	指数	100	89	76	91	81	77	62	56	47	41

(2)　月別

１月と５月が34件で最も多く、次いで２月と８月の31件となっている。

全事故に占める割合でみると、８月が8.6パーセントで最も高く、最も低い12月（5.4%）と比較すると3.2ポイントの差となっている。

（単位：件・人・%）

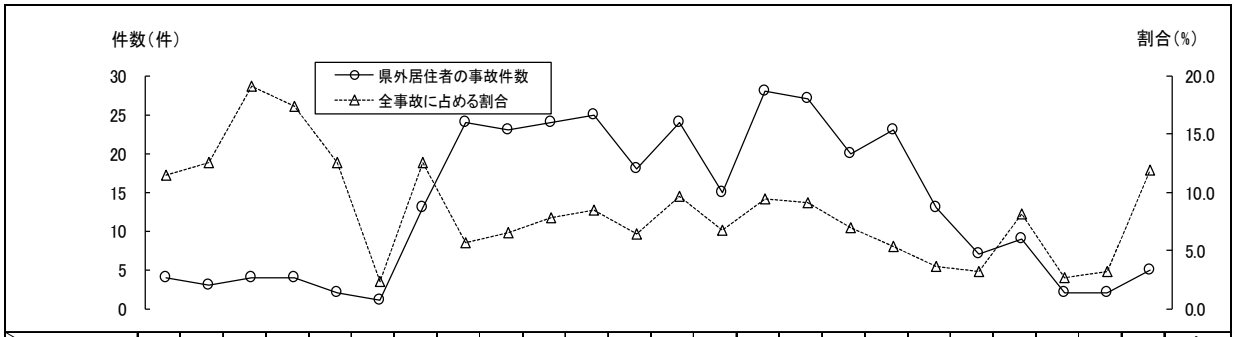
区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全事故		430	392	348	412	400	311	347	362	326	438	365	461	4,592
県外居住者	件数	34	31	23	25	34	21	27	31	20	27	22	25	320
	全事故に占める割合	7.9	7.9	6.6	6.1	8.5	6.8	7.8	8.6	6.1	6.2	6.0	5.4	7.0
	死者	2		1		2		1	1	1		2		10
	傷者	50	36	32	35	42	26	34	44	22	39	28	36	424

(3)　時間別

発生件数が最も多いのは、14～15時の28件、次いで15～16時の27件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、２～３時の19.0パーセントが最も高く、次いで３～４時の17.4パーセントとなっている。

（単位：件・％）



区分＼時間	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	合計
件数	4	3	4	4	2	1	13	24	23	24	25	18	24	15	28	27	20	23	13	7	9	2	2	5	320
構成率(%)	1.3	0.9	1.3	1.3	0.6	0.3	4.1	7.5	7.2	7.5	7.8	5.6	7.5	4.7	8.8	8.4	6.3	7.2	4.1	2.2	2.8	0.6	0.6	1.6	100.0
全事故に占める割合	11.4	12.5	19.0	17.4	12.5	2.3	12.5	5.6	6.5	7.8	8.4	6.4	9.7	6.8	9.4	9.1	6.9	5.3	3.6	3.2	8.1	2.6	3.2	11.9	7.0

(4)　道路別

国道での発生が156件で、県外居住者事故の48.8パーセントを占めている。特に、国道4号と国道6号は各43件で、合計すると国道事故の55.1パーセントを占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が57.0パーセントと最も高く、次いで幹線国道の6号の順となっている。

（単位：件・％）

区分＼道路	国道							県道	市町村道	高速道	その他	合計
	幹線国道					三桁国道	計					
	4号	6号	13号	49号	計							
件数	43	43	5	9	100	56	156	51	46	49	18	320
構成率(%)	13.4	13.4	1.6	2.8	31.3	17.5	48.8	15.9	14.4	15.3	5.6	100.0
全事故に占める割合	14.0	18.2	8.2	5.1	12.8	11.6	12.4	4.3	2.5	57.0	7.3	7.0

(5)　当事者別

普通乗用車が145件で最も多く、県外居住者事故の45.3パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が51.7パーセントと高い割合となっている。

（単位：件・％）

区分＼車種	乗用車					計	貨物車					計	二輪車		計	特殊車	自転車	歩行者
	大型	中型	準中型	普通	軽		大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
件数	0	1	0	145	44	190	46	20	11	30	22	129	1	0	1	0	0	0
構成率(%)	0.0	0.3	0.0	45.3	13.8	59.4	14.4	6.3	3.4	9.4	6.9	40.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
全事故に占める割合	0.0	10.0	-	6.3	3.2	5.1	51.7	31.7	12.9	14.2	6.4	16.3	4.8	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0

(6)　年齢別

高齢者が46件で最も多く、次いで25～29歳が34件となっている。

全事故に占める割合については、50～54歳の10.4パーセントが最も高くなっている。

（単位：件・％）

区分＼年齢		子ども	高校生	その他10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	高齢者	合計
件数				9	32	34	22	30	25	32	33	27	30	46	320
	構成率(%)	0.0	0.0	2.8	10.0	10.6	6.9	9.4	7.8	10.0	10.3	8.4	9.4	14.4	100.0
全体に占める割合		0.0	0.0	5.1	7.1	9.3	6.1	9.1	7.1	8.4	10.4	6.9	8.4	4.3	7.0

(7)　通行目的別

私用中が167件で県外居住者事故の52.2パーセントを占めており、特に、観光が61件で最も多い。

業務中の事故は123件発生し、38.4パーセントを占め死者数は４人となっている。

(8)　違反別

安全運転義務違反の占める割合が72.8パーセントと高く、なかでも前方不注意が98件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が15件と最も多い。

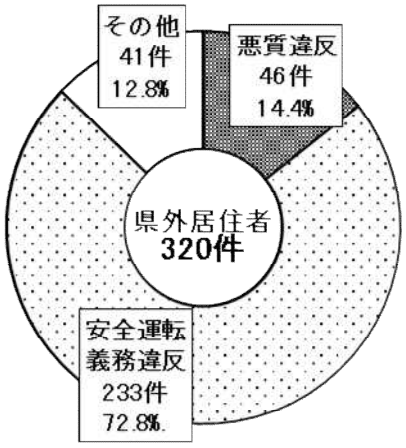
全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、13.0ポイント高くなっている。

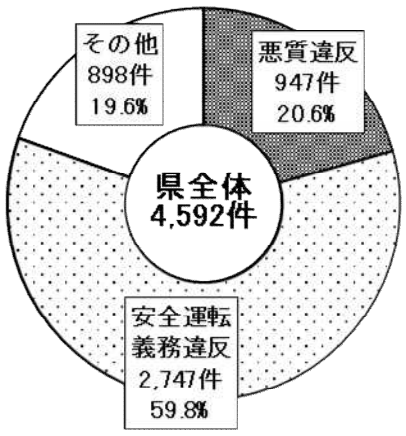
（単位:件・人・%）

通行目的＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
業務		123	38.4	4	149
通勤		28	8.8	1	36
通学		2	0.6		2
私用	観光	61	19.1		85
	ドライブ	6	1.9		8
	散歩		0.0		
	飲食	5	1.6		6
	買物	25	7.8		32
	訪問	17	5.3		24
	帰省	22	6.9	2	39
	その他	31	9.7	3	43
	計	167	52.2	5	237
不明			0.0		
合計		320	100.0	10	424

（単位：件・％）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	15	4.7	交差点安全進行		9	2.8
	最高速度		0.0	徐行違反			0.0
	通区・追越	13	4.1	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	34	10.6
	歩行者妨害等	12	3.8		前方不注意	98	30.6
	一時不停止	6	1.9		動静不注視	56	17.5
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	36	11.3
計		46	14.4		安全速度	6	1.9
過労運転		1	0.3		その他	3	0.9
横断禁止		7	2.2	反計		233	72.8
進路変更禁止		3	0.9	その他		1	0.3
右・左折		2	0.6	歩行者の違反			0.0
優先通行妨害等		18	5.6	合計		320	100.0





(9)　市町村別

（単位：件・%）

順位	市町村	県外者件数	全件数	割合
1	いわき市	68	1183	5.7
2	郡山市	33	1009	3.3
3	福島市	31	660	4.7
4	会津若松市	16	254	6.3
5	相馬市	11	93	11.8
6	白河市	11	101	10.9
7	南相馬市	9	89	10.1
8	二本松市	9	107	8.4
9	南会津町	8	22	36.4
10	猪苗代町	7	32	21.9
11	須賀川市	6	171	3.5
12	喜多方市	5	65	7.7
13	矢祭町	4	9	44.4
14	新地町	4	14	28.6
15	大玉村	4	29	13.8
16	矢吹町	4	34	11.8
17	伊達市	4	87	4.6
18	広野町	3	11	27.3
19	下郷町	3	14	21.4
20	桑折町	3	15	20.0
21	西郷村	3	24	12.5
22	棚倉町	3	34	8.8
23	本宮市	3	86	3.5
24	双葉町	2	4	50.0
25	北塩原村	2	5	40.0
26	磐梯町	2	11	18.2
27	鏡石町	2	25	8.0
28	西会津町	1	5	20.0
28	浅川町	1	5	20.0
30	中島村	1	7	14.3

順位	市町村	県外者件数	全件数	割合
31	国見町	1	9	11.1
32	天栄村	1	10	10.0
33	富岡町	1	11	9.1
34	泉崎村	1	17	5.9
35	三春町	1	19	5.3
35	石川町	1	19	5.3
37	川俣町	1	25	4.0
38	会津坂下町	1	38	2.6
39	田村市		50	0.0
40	会津美里町		28	0.0
41	小野町		11	0.0
42	塙町		9	0.0
43	楢葉町		7	0.0
43	玉川村		7	0.0
43	柳津町		7	0.0
46	湯川村		6	0.0
47	平田村		5	0.0
48	三島町		4	0.0
48	飯舘村		4	0.0
50	大熊町		3	0.0
50	鮫川村		3	0.0
50	古殿町		3	0.0
53	浪江町		2	0.0
54	金山町		1	0.0
54	只見町		1	0.0
54	川内村		1	0.0
54	葛尾村		1	0.0
58	檜枝岐村		0	－
58	昭和村		0	－

（注）高速道路で発生した交通事故を除く。

(10)　居住県別

（単位：件・人）

区分 / 都道府県別	本年 件数	本年 構成率(%)	本年 死者	本年 傷者	前年 件数	前年 構成率(%)	前年 死者	前年 傷者
北海道		0.0			5	1.3		5
青森	2	0.6		2	5	1.3	2	5
岩手	10	3.1		11	12	3.2	1	18
宮城	75	23.4	1	92	106	28.3	3	134
秋田	3	0.9		3	6	1.6		6
山形	18	5.6		21	23	6.1		30
東京	27	8.4	2	44	25	6.7	1	30
茨城	67	20.9	4	83	61	16.3	1	78
栃木	28	8.8	1	36	28	7.5		37
群馬	8	2.5		12	5	1.3		7
埼玉	19	5.9		31	18	4.8		20
千葉	19	5.9	1	26	21	5.6	1	32
神奈川	15	4.7		25	14	3.7		18
新潟	15	4.7	1	20	22	5.9		28
山梨	1	0.3		1		0.0		
長野	2	0.6		3	3	0.8		3
静岡	2	0.6		2	3	0.8		4
富山	2	0.6		2	2	0.5		2
石川	1	0.3		2		0.0		
福井	1	0.3		1	1	0.3		1
岐阜		0.0				0.0		
愛知	1	0.3		1	4	1.1		9
滋賀		0.0				0.0		
三重		0.0				0.0		
京都		0.0			1	0.3		2
大阪	1	0.3		1	2	0.5		6
兵庫	2	0.6		4	1	0.3		1
奈良	1	0.3		1	1	0.3		2
和歌山		0.0			1	0.3		1
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島		0.0				0.0		
山口		0.0			1	0.3		1
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0			1	0.3		1
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0			1	0.3		1
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0			1	0.3		1
合計	320	100	10	424	374	100	9	483

18　道路環境等

(1)　道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、2,565件で全事故の55.9パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が1,035件で最も多く、交差点事故の22.5パーセントを占め、次いで交差点付近が841件となっている。

（単位：件・人）

道路形状＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
交差点	大	279	6.1	6	331
	中	1,035	22.5	13	1,181
	小	410	8.9	2	468
	付近	841	18.3	4	1,026
	計	2,565	55.9	25	3,006
単路	トンネル	20	0.4	2	22
	橋	59	1.3	2	70
	カーブ･屈折	205	4.5	20	265
	その他	1,512	32.9	25	1,861
	計	1,796	39.1	49	2,218
踏切		1	0.0	1	
一般交通の場所		230	5.0		258
合計		4,592	100	75	5,482

（単位：件・人）

交差点第1進入路＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
大（13m以上）	交差路 小	16	0.9	0	20
	交差路 中	68	3.9	1	74
	交差路 大	195	11.3	5	237
	計	279	16.2	6	331
中（5.5m以上13m未満）	交差路 小	88	5.1	3	95
	交差路 中	877	50.9	9	1,007
	交差路 大	70	4.1	1	79
	計	1,035	60.0	13	1,181
小（5.5m未満）	交差路 小	140	8.1	1	156
	交差路 中	230	13.3	1	267
	交差路 大	40	2.3	0	45
	計	410	23.8	2	468
合計		1,724	100	21	1,980

(2)　道路線形別

直線での事故は4,093件で全事故の89.1パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は269件で全事故の5.9パーセントとなっている。

勾配でみると、上り坂は141件（全事故の3.1%）、下り坂は222件（全事故の4.8%）、平坦は3,999件（全事故の87.1%）となっている。

（単位：件・人）

道路線形＼区分			件数	構成率(%)	死者
カーブ・屈折	右	上り	16	0.3	1
		下り	23	0.5	3
		平坦	72	1.6	2
	左	上り	22	0.5	1
		下り	36	0.8	6
		平坦	100	2.2	8
	計		269	5.9	21
直線	上り		103	2.2	2
	下り		163	3.5	3
	平坦		3,827	83.3	49
	計		4,093	89.1	54
一般交通の場所			230	5.0	
合計			4,592	100.0	75

(3)　地形別

（単位：件・人）

市街地での事故が3,334件で、全事故の72.6パーセントを占めている。

死亡事故は非市街地での事故が多い。

地形＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
市街地	人口集中地区	1,659	36.1	11	1,928
	その他	1,675	36.5	21	1,980
	計	3,334	72.6	32	3,908
非市街地		1,258	27.4	43	1,574
合計		4,592	100	75	5,482

（注）　市街地：道路に沿っておおむね５００メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が８０パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4)　道路幅員別

幅員「5.5m以上9.0m未満」の道路での事故が1,275件で最も多く、全事故の27.8パーセントを占めている。

（単位：件・人）

区分＼幅員		3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.0m以上	交差点 小	交差点 中	交差点 大	その他	合計
件数		39	145	1,275	637	455	87	410	1,035	279	230	4,592
	構成率(%)	0.8	3.2	27.8	13.9	9.9	1.9	8.9	22.5	6.1	5.0	100
死者		1	3	28	16	4	2	2	13	6	0	75
傷者		46	172	1,543	798	563	122	468	1,181	331	258	5,482

(5)　道路状態別

乾燥した舗装路での発生が3,708件で最も多く、全事故の80.7パーセントを占めている。

（単位：件・人）

地形＼路面状態		舗装 乾燥	舗装 湿潤	舗装 凍結	舗装 積雪	舗装 計	非舗装	合計
件数		3,708	638	186	54	4,586	6	4,592
	構成率(%)	80.7	13.9	4.1	1.2	99.9	0.1	100.0
死者		63	10	2		75		75
傷者		4,424	757	227	67	5,475	7	5,482

(6)　中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が2,182件で最も多く、全事故の47.5パーセントを占めている。

（単位：件・人）

地形＼施設		中央分離帯	中央線 高輝度標示	中央線 チャッターバー等	中央線 ポストコーン	中央線 ペイント	中央線 計	中央分離帯なし	その他	合計
件数		549	22	32	24	2,182	2,260	1,553	230	4,592
	構成率(%)	12.0	0.5	0.7	0.5	47.5	49.2	33.8	5.0	100.0
死者		9	1		1	46	48	18		75
傷者		718	25	41	42	2,614	2,722	1,784	258	5,482

19　その他

(1)　特殊事故

特殊事故は917件で、全事故の20.0パーセントを占め、約５件に１件の割合で発生している。件数が多いのは次のとおりで

・多重衝突619件
　全事故の　7.4件に１件

・スリップ事故161件
　全事故の　28.5件に１件

・ひき逃げ89件
　全事故の　51.6件に１件

・無申告23件
　全事故の　199.7件に１件

・左折巻き込み５件
　全事故の　918.4件に１件

・ドア開閉４件
　全事故の1,148.0件に１件

の割合で発生している。

（単位：件・人）

区分 / 特殊事故			件数	構成率(%)	死者	傷者
事故内容	共同危険行為			0.0		
	暴走行為		1	0.0		2
	ひき逃げ		89	1.9	1	107
	無申告		23	0.5		29
	多重衝突		619	13.5	12	952
	左折巻込み		5	0.1		5
	荷崩れ			0.0		
	自然発車		1	0.0	1	
	ドア開閉		4	0.1		4
	車両火災		3	0.1		4
	スリップ事故		161	3.5	2	202
当事者内容	薬物影響		1	0.0		1
	発作・急病	てんかん	1	0.0		1
		心臓マヒ	1	0.0		1
		脳血管	2	0.0		4
		その他	3	0.1		6
	身障者		2	0.0		2
	緊急用務自動車		1	0.0		2
合計			917	20.0	16	1,322

（注）１　表中の構成率は全事故に占める割合
　　２　他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2)　天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、2,644件で全事故の57.6パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が1,356件となっており、合わせると全事故の87.1パーセントを占めている。

（単位：件・人）

区分 / 天候		晴	曇	雨	霧	雪	合計
件数		2,644	1,356	429	3	160	4,592
	構成率(%)	57.6	29.5	9.3	0.1	3.5	100.0
死者		43	24	8			75
傷者		3,176	1,601	506	4	195	5,482

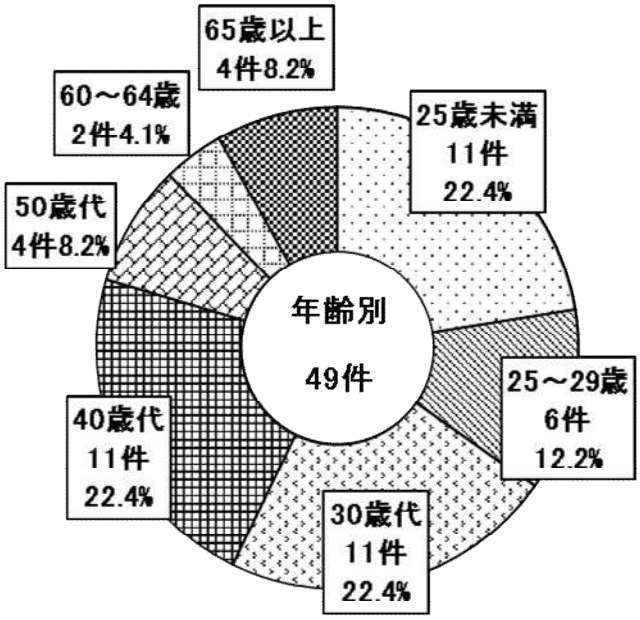
(3)　携帯電話使用中の事故

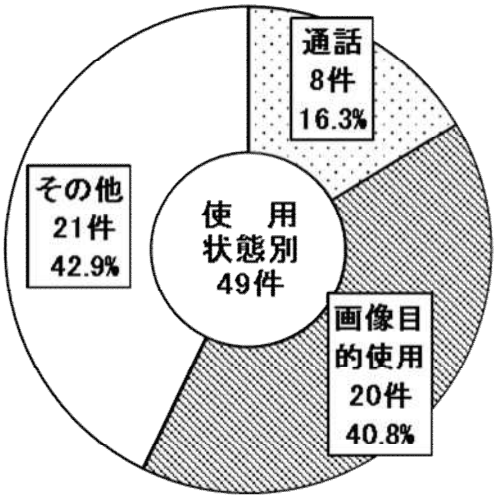
携帯電話使用中の事故は49件発生し、死者は１人、傷者は60人となっている。

事故類型別にみると、追突が34件で最も多く、69.4パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.7倍となっている。

（単位：件）

区分＼態様		携帯電話使用中事故		全事故	
			構成率(%)		構成率(%)
人対車両		7	14.3	547	11.9
車両相互	追突	34	69.4	1,846	40.2
	出会い頭	3	6.1	1,129	24.6
	正面衝突	3	6.1	191	4.2
	その他	2	4.1	790	17.2
車両単独			0.0	88	1.9
列車			0.0	1	0.0
合計		49	100.0	4,592	100.0





年齢別にみると、25歳未満、30歳代、40歳代が各11件でそれぞれ22.4パーセントを占め最も多く、次いで25～29歳が６件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用20件、通話が８件、その他の動作21件となっている。